

目 次

大会日程表	2
大会会場へのアクセス	3
会場案内図	4
参加される方へ	5
講演要旨をお読みにするために	
～デジタル Web プログラムへのアクセス方法	7
発表者・座長・シンポジウムなどのオーガナイザーと講演者、各受賞者へのご案内	8
動物学会本部からのお知らせ	10
大会プログラム	
授賞式・総会・理事会・各種委員会	11
受賞者：2026 年度各賞受賞者	12
本部企画シンポジウム・シンポジウム・関連集会 日程表	16
本部企画シンポジウム・シンポジウム・関連集会 プログラム	18
一般口演発表 日程表	38
一般口演発表 プログラム	40
特別企画	
一般公開シンポジウム	58
動物学ひろば	58
高校生ポスター発表	59
第 97 回大会協賛団体ご芳名	60
日本動物学会第 97 回大会実行委員会	61

大会日程表

(公社) 日本動物学会第97回札幌大会プログラム

	大会前日 9月2日(水)	第1日目 9月3日(木)	第2日目 9月4日(金)	第3日目 9月5日(土)
	企業展示: 9月3日(木)～9月5日(土)(高等教育推進機構 2階 E208・E214 講義室)			
9:00				
10:00		一般口演発表 9:00～12:00 (A～K 会場)	シンポジウム・ 関連集会 9:00～11:30 (A～K 会場)	一般口演発表 9:00～12:00 (A～K 会場)
11:00	記者会見 11:00～12:00 (北海道大学理学部)			高校生 ポスター発表 10:00～12:00 (学術交流会館 ホール)
12:00		若手交流会 12:00～13:00 (H 会場)	男女共同参画 関連集会 12:00～13:00 (H 会場)	受賞者・ 助成採択者の ポスター発表 11:30～12:30 (A・B 会場前ホール)
13:00				中山書店 ランチョン セミナー 12:00-13:00 (B 会場)
14:00	各種委員会 13:15～14:45 (北海道大学理学部)	一般口演発表 13:00～16:00 (A～K 会場)	本部企画シンポジウム 13:00～15:30 (大講堂)	表彰式 13:00～14:00 (学術交流会館 小講堂)
15:00				
16:00	理事会 15:15～17:30 (北海道大学理学部)			一般公開 シンポジウム 14:30～17:00 (学術交流会館 小講堂)
17:00		シンポジウム・ 関連集会 16:00～18:30 (A～K 会場)	各賞授賞式・総会・ 受賞者講演 15:30～18:30 (大講堂)	
18:00				
19:00				
20:00			懇親会 18:30-20:30 北部食堂 (HBA ライラック食堂)	

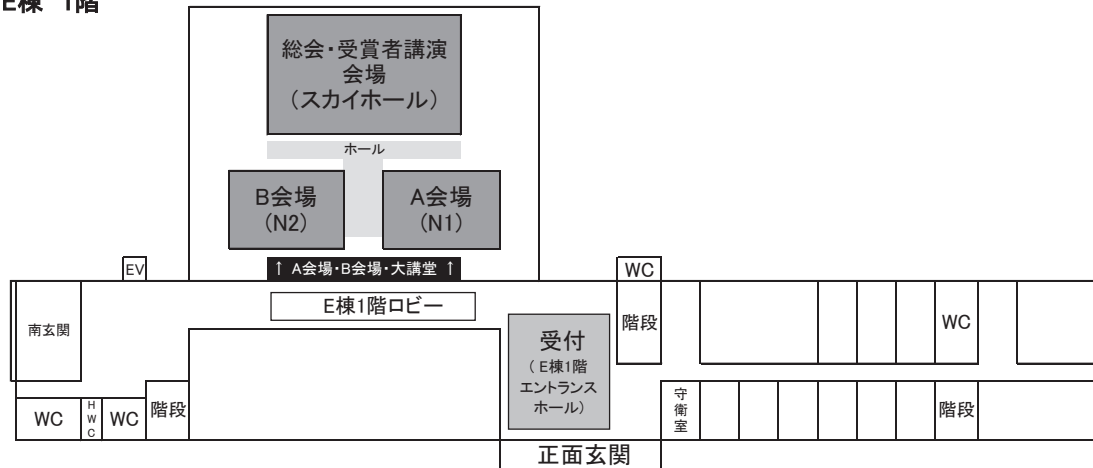
大会会場へのアクセス



会場案内図

高等教育推進機構

E棟 1階



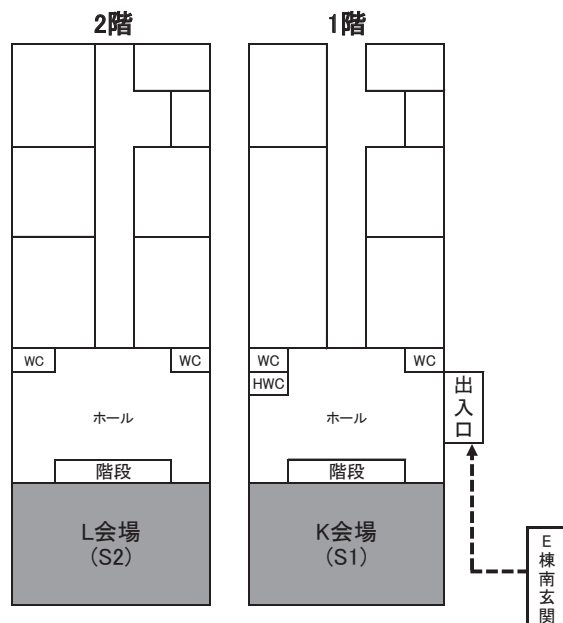
E棟 2階



E棟 3階



S棟



参加される方へ

◆会場

北海道大学 札幌キャンパス

<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目

◆交通

北海道大学 札幌キャンパスへの交通については「大会会場へのアクセス」をご覧ください。キャンパス内の駐車スペースは利用できません。お車でのご来場はご遠慮ください。

◆受付・掲示

高等教育推進機構 E 棟 1 階正面玄関（会場案内図参照）に大会受付（当日参加の受付）を設けます。受付周辺に大会関係、学会関係（委員会の活動を含む）の掲示がありますのでご確認ください。

受付開設時間

9月3日（木）8：30～17：00、9月4日（金）8：30～17：00、9月5日（土）8：30～15：00

◆クローク

高等教育推進機構 2 階（E205 室）のクロークルームを利用できます。開設時間は以下のとおりです。お預けのお荷物は必ず当日の利用時間内にお引き取りください。貴重品はお預かりできません。

9月3日（木）10：00～18：00

9月4日（金） 9：00～18：00

9月5日（土） 9：00～16：30

◆当日参加費

一般会員 12,000 円

非会員 14,000 円

◆参加章（名札）

事前登録の方は送付された参加章を必ず持参し、会場内では常にご着用ください。ケースは各自ご持参ください。受付に若干数用意します。お帰りの際には必ずご返却ください。

◆学生の参加について

発表をしない学生（学部学生と大学院生）の参加費は無料です。大会受付で参加登録をして参加章（名札）を受け取ってください。登録には学生証の提示が必要です。発表をする学生には事前に参加章が郵送されるので、必ず持参してください。お忘れになった方は大会受付で再発行します。参加章は会場内では常時身につけてください。

◆懇親会

9月4日（金）（大会2日目）18：30 から、高等教育推進機構の建物に隣接した北部食堂（HBA ライラック食堂）において懇親会を開催する予定です。

◆企業展示

大会期間中（9月3日（木）～5日（土））、高等教育推進機構2階E208室とE214室において行います。動物学会を支援していただいている企業による展示ですので、積極的に各ブースの展示をご覧ください。また、展示巡りのスタンプラリーを行いますので奮ってご参加ください。

◆食事

9月3日（木）と9月4日（金）は、大学生協の食堂が営業しています（北部食堂11：00～18：00、中央食堂11：00～19：00、クラーク食堂11：00～13：30）。休憩室・各会場は飲食可能です。コンビニエンスストアはセイコーマートとセブン-イレブンが大学構内にあります。また、札幌駅および大学周辺に複数の飲食店があります。

◆インターネット接続

発表会場ではeduroamをご利用ください。eduroamの設定等をご所属機関でお確かめください。

◆託児室

大会期間中に託児室を開設します。事前にお申し込みいただいた方のみご利用いただけます（詳細は、お申し込みをいただいた方に直接ご連絡します）。

◆本部企画シンポジウム・各賞授賞式・総会・受賞者講演

9月4日（金）（大会2日目）に、大講堂で本部企画シンポジウム（13：00～15：30）、および各賞授賞式・総会・受賞者講演（15：30～18：30）を行います。なお、総会には定足数が必要ですので、学生会員の方も必ずご参加ください。

◆高校生によるポスター発表

高校生による研究のポスター発表を9月5日（土）（大会3日目）の10：00～12：00に学術交流会館ホールで行います。多くの会員の方々がポスター発表をご覧になり、ご質問やご助言をしていただければ幸いです。なお、13：00～14：00の間に学術交流会館小講堂で表彰式を行います。熱心に発表してくれた高校生に大きな拍手をお願いします。

◆一般公開シンポジウム

9月5日（土）（大会3日目）の14：30～17：00に学術交流会館小講堂で開催します。公開行事のため、非会員でも無料で参加できます。会員の皆様も奮ってご参加ください。

◆動物学ひろば

9月5日（土）（大会3日目）の10：00～16：00に学術交流会館ホールで開催します。

◆その他

- ・お持ちの手荷物や貴重品などの管理にお気を付けください。
- ・発表会場でのカメラ・ビデオなどによる撮影や音声の録音などは禁止されています。
- ・会場内では携帯電話・スマートフォンなどの呼び出し音やアラームが鳴らないように設定してください。
- ・最新の情報は札幌大会 HP：<https://www.zoology.or.jp/annual-meeting/3/>でご確認ください。

講演要旨をお読みになるために ～デジタル Web プログラムへのアクセス方法～

本大会ではプログラム集のみを冊子として配布します。要旨につきましては下記デジタル Web プログラム（Kcon-navi システム）でご確認ください。

コンピューター：<https://kcon.expcp.jp/zsj97/>

スマートフォン：<https://kcon.expcp.jp/zsj97/sp/>

使用機器からログインするときに認証キーの入力が必要です。今年の認証キーは、学会本部からお送りしますのでメールでご確認ください。ログイン画面で「この認証キーをブラウザに保存する」をチェックしていただくと、2 回目以降その機器から閲覧するときにはアクセスのための認証キー入力はありません。

デジタル Web プログラムの中でご自身独自のユーザー名・パスワードを設定して「ユーザー新規登録」をすると、本大会でのご自身のスケジュール管理ができます。

使用方法の詳細は、Kcon-navi システムの「ご利用案内」を参照ください。

（特徴）

- ・会期中のセッションをタイムテーブル形式で確認することができます。
- ・タイムテーブルから、講演内容（要旨）に簡単にアクセスすることができます。
- ・大会期間中は、現在講演中の演題（全会場分）をチェックすることができます。
- ・セッション、演題を開催日や座長名、タイトルなど様々な条件から検索できます。
- ・見たい講演を選び、スケジュール管理ができます（ユーザー登録が必要）。
- ・ご自分のスケジュールを PDF に出力して利用することができます。

発表者・シンポジウムなどの オーガナイザーと講演者・各賞受賞者へのご案内

◆口演発表者

- ・一般講演は発表 12 分、討論 3 分です。
- ・会場プロジェクター・スクリーンの画面比率は 4 : 3 となります。
- ・本大会の発表は、パソコン・プロジェクターを使った発表に限りです。外部モニター出力端子を備えた PC をご準備ください。
- ・大会本部では HDMI 端子からプロジェクターへ接続するケーブルのみを用意しています。HDMI ケーブルに接続するためのアダプタ類は必ずご持参ください。
- ・PC のバッテリー切れに備え、発表会場に AC アダプターをご持参ください。
- ・不測の事態に備えて、必ず発表用ファイルのコピーを USB メモリなどでお持ちください。
- ・PC のスクリーンセーバーや省電力モードが起動しないように設定してください。また、ネット接続や、ウイルスチェックソフトなどの更新を解除しておいてください。
- ・プレゼンテーションデータに静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は、そのデータも必ず PC に保存して、事前に動作確認を行ってください。
- ・発表者はご自身の口演が含まれるセッションが始まる 15 分前（休憩時間）に発表会場最前列へお越しください。そこで係の指示に従って試写をお願いします。
- ・発表時の PC 操作は発表者自身で行ってください。

◆座長

- ・座長は「休憩時間」で区切られた 5～6 演題で構成されるセッションを単位としてお願いしています。セッション開始 15 分前には各会場へお越しになり、会場におります担当係にお声掛けください。
- ・発表者がプレゼンテーション資料の試写を休憩時間に完了し、セッションを定刻に開始することができるようご配慮をお願いします。
- ・口演に割り当てられている時間（発表時間＋質疑応答時間）を踏まえて、セッションの円滑な運営にご協力ください。各演題の発表開始時刻が守られるよう、また、休憩時間を経て予定時刻通りに次のセッションが開始できるようご配慮ください。

◆シンポジウムなどの講演者、各賞受賞者

口演発表者の案内に準じた対応を原則としますが、大会担当者やオーガナイザーから別途の指示やお願いがあった場合はそれらに従ってください。

◆シンポジウム・関連集会のオーガナイザー

進行を含め運営をオーガナイザーにお任せします。口演発表と異なる方法をとる際はオーガナイザーから各講演者に指示をお願いします。時間厳守をお願いします。

【各賞受賞者、助成採択者のポスター発表】**◆奨励賞・OM 賞・成茂動物科学新興賞受賞者、茗原眞路子研究奨励助成採択者の方へ**

各賞受賞者、助成採択者には、A・B会場前のホールに縦180 cm、横90 cmのポスターボード（1枚）をご用意します。大会1日目（9月3日）の12：00～13：30に指定されたボードにポスターを掲示してください。また、大会3日目（9月5日）13：00までに取り外してください。各受賞者、助成採択者には、大会2日目（9月4日）の11：30～12：30に、ポスターの前でご説明をお願いします。

動物学会本部からのお知らせ

本年は、歴史資料保存委員会展示、書籍販売および学会グッズ等の販売は休止となります。

男女共同参画委員会展示について

日本動物学会男女共同参画委員会

2025 年度男女共同参画学協会連絡会シンポジウム発表、2025 年度名古屋大会で開催された第 25 回男女共同参画懇談会「ワーク・ライフ・バランスを考える」の参加者アンケート結果など、ポスター展示にてご紹介します。また、OM 賞設立 20 周年を記念して発行した小冊子、「日本動物学会 OM 賞の軌跡」を展示にて配布します。どうぞお立ち寄りください。

札幌大会では昨年に引き続き、キャリアパス小委員会と合同で懇談会を実施する予定です。ご参加をお待ちしております。

若手交流会（ランチョン）について

日本動物学会将来計画委員会

本交流会は、学部学生、大学院生、ポスドクをはじめとする若手研究者同士が主体的につながり、学び合い、支え合うコミュニティ形成を目指して開催します。昨年度の参加者アンケートでは、「より具体的なテーマや話題を設けて交流したい」との意見も寄せられました。今年度は自由な交流に加え、研究生活やキャリア形成、異分野交流などをテーマとした対話の場づくりを予定しています。参加者同士がより深く交流し、新たな研究のアイデアや共同研究、将来のキャリア形成につながるきっかけとなることを期待しています。研究分野や所属、学年を問わず歓迎しますので、ぜひお気軽にご参加ください。

（＊9 月 3 日（木）の昼休みに開催します。午後にシンポジウムを予定しているため、交流会はこの時間内で実施します。お弁当は先着 60 名分をご用意していますので、お早めにご参加ください。）

企業展示スタンプラリーについて

今年も企業展示が行われます。企業展示会場のブースを、8 ブース巡り、名札の裏にスタンプが押印できた方は、大会受付へおいでください。参加賞として特製キーホルダーをお渡しします。

また、動物学会員の方は総会時に行う抽選に参加いただけます。北大オリジナルの日本酒など、豪華景品をご用意しております。

皆様、研究発表の合間に、スタンプラリーをお楽しみください。

授賞式・総会・理事会・各種委員会

学会賞等授賞式

日時：9月4日（金）15：30～16：15

場所：高等教育推進機構 大講堂

総会

日時：9月4日（金）16：15～17：05

場所：高等教育推進機構 大講堂

奨励賞、学会賞受賞者講演

日時：9月4日（金）17：05～18：30

場所：高等教育推進機構 大講堂

公益社団法人 日本動物学会理事会

日時：9月2日（水）15：15～17：30

場所：理学部5号館低層棟 2階 201室

各種委員会

日時：9月2日（水）13：15～14：45

場所：理学部5号館低層棟 2階 201室、206室

理学部5号館低層棟 3階 301室、305室

下表を確認してください。

委員会	階	部屋名
将来計画委員会	2階	201室（5-201）
男女共同参画委員会		
IT委員会		
広報委員会		
図書委員会	2階	206室（5-206）
Zoological Science 編集委員会		
教育委員会	3階	301室（5-301）
寄附委員会		
ZDW委員会		
支部庶務会計会合		
Zoological Letters 編集委員会	3階	305室（5-305）
国際交流委員会		

受賞者

【2026 年 日本動物学会賞】

受賞者講演

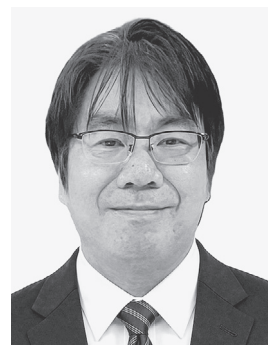
日時：9月4日（金）17：30～18：30

場所：高等教育推進機構 大講堂（スカイホール）

佐竹 炎 公益財団法人サントリー生命科学財団

生物有機科学研究所・主幹研究員

「尾索動物の生殖細胞発育制御機構の解明とその進化的側面の研究」



丹羽隆介 筑波大学生存ダイナミクス研究センター・教授

「液性因子による昆虫の発生と生理の制御機構に関する研究」



【2026 年 日本動物学会奨励賞】

受賞者講演

日時：9月4日（金）17：05～17：30

場所：高等教育推進機構 大講堂（スカイホール）

自見直人 名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所・講師

「海産無脊椎動物（特に環形動物）の系統分類学」



田中良弥 名古屋大学大学院理学研究科・講師
「昆虫が示す行動の多様性とそれを支える神経機構」



和田清二 青山学院大学理工学部化学・生命科学科・助教
「光受容タンパク質パラピノプシンを介した
松果体色検出の分子生理学的研究」



【2026 年 日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞】

瀬口瑛子 東京農工大学農学部生物生産学科 特任助教・日本学術振興会特別研究員 PD
「ウコッケイにおける養育行動の破綻とその緩衝機構：父の育児参加と共同養育の機能解明」

塩井（青木）成留実 帝京大学福岡医療技術学部医療技術学科臨床工学コース 講師（任期制）
「毒蛇と無毒蛇の比較による毒産生機構の分子基盤解明」

【2026 年 成茂動物科学振興賞】

田中正太郎 東京女子医科大学医学部生化学分野・講師
「ちいさなもののたちの硬さをはかる」

【2026 年 動物学教育賞】

ダーウィンが来た！制作チーム
（NHK コンテンツ制作局第2制作センター科学および株式会社 NHK エンタープライズ自然科学部）
「NHK 番組『ダーウィンが来た！』の制作、放送」

【2026 年 国際会議発表支援川口賞】

金谷啓之 東京科学大学国際医工共創研究院、東京大学大学院医学系研究科機能生物学専攻システムズ学教室
紫藤拓巳 琉球大学理学部海洋自然科学科

【2026 年 Zoological Science Award】

Yawning and Its Temperature-Dependent Modulation in Leopard Geckos

Koki T. Kotake, Sho T. Yamaguchi, Yasutaka Mukai, Zhiwen Zhou, Hiroaki Norimoto

Zoological Science 42 (1) : 25-30. <https://doi.org/10.2108/zs230123>

分野 Physiology

Loss of Photoperiodic Control of Juvenile-Hormone Signaling Pathway Underlying the Evolution of Obligate Parthenogenesis in the Pea Aphid

Asano Ishikawa, Hiroki Gotoh, Kota Ogawa, Takashi Kanbe, Shin-ichi Akimoto, Toru Miura

Zoological Science 42 (2) : 186-195. <https://doi.org/10.2108/zs240075>

分野 Physiology

Cross-Modal Object Recognition and Reliability Between Visual and Tactile Senses in Octopus (*Callistoctopus aspilosomatis*)

Sumire Kawashima, Yuzuru Ikeda

Zoological Science 42 (3) : 260-269. <https://doi.org/10.2108/zs240069>

分野 Behavioral Biology

Growth, Feeding, and Age of the Inshore Hagfish, *Eptatretus burgeri*

Yoko Yamaguchi

Zoological Science 42 (3) : 299-308. <https://doi.org/10.2108/zs240097>

分野 Ecology

Successful Maintenance of Chemosynthetic Symbiotic Bacterial Abundance in Hydrothermal Mussels During Long-Term Rearing Experiments Exceeding 1000 days

Tetsuro Ikuta, Makoto Sugimura, Ayu Yuasa, Yuka Amari

Zoological Science 42 (6) : 521-531. <https://doi.org/10.2108/zs250041>

分野 Diversity and Evolution

Lineage-Specific Gene Expansion and Atypical Expression Pattern of Feminizing Gene *transformer* in Stag Beetles

Itsuki Ohtsu, Hayato Kondo, Yasuhiko Chikami, Hideo Dohra, Hiroki Gotoh

Zoological Science 42 (6) : 571-580. <https://doi.org/10.2108/zs250011>

分野 Molecular Biology

Intraspecific Variation in Responsiveness to Juvenile Hormone May Underlie Differences in Diapause Strategy Among *Daphnia* cf. *pulex* Clones

Natsumi Maruoka, Hitoshi Miyakawa

Zoological Science 42 (6) : 587-595. <https://doi.org/10.2108/zs250019>

分野 Physiology

【2026 年 茗原眞路子研究奨励助成金 採択者】

金谷啓之 東京科学大学国際医工共創研究院 GENTEN Research Center・特任助教
「刺胞動物ヒドラの上皮細胞で「眠気」をコードする分子シグナルの解明」

寺崎朝子 千葉大学大学院理学研究院・講師
「真骨魚類独自に分岐した nebulin superfamily の役割」

日暮泰男 山口大学共同獣医学部・助教
「ネコの背骨の柔らかさは跳躍能力を高めるのか？」

【2026 年 感謝状贈呈者】

阿部広和 東北大学総合技術部生物・生命科学群動物施設管理グループ海洋生物管理チーム
(東北大学大学院生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター)・技術専門職員

嶋田大輔 日本大学経済学部・専任講師

本部企画シンポジウム・シンポジウム・ 関連集会 日程表

＜本部企画シンポジウム 日程表＞

第2日目 9月4日(金)			
NS	Zoological Science と Zoological Letters これまでの歩みとこれからの展開	大講堂 (スカイホール)	13:00～15:00

＜シンポジウム 日程表＞

第1日目 9月3日(木)			
S1	受精シンポジウム「受精を通して探る生命の多様性と普遍性」	A会場(N1)	16:00～18:30
S2	第19回色素細胞シンポジウム：動物が纏う色を考える	B会場(N2)	16:00～18:30
S3	モデル生物「群」としての野生ショウジョウバエー “other species” とは言わせないー	C会場(E201)	16:00～18:30
S4	「見る・操る・比べる」水生モデル動物が拓く発生現象研究 後援 NBRP ツメガエル・イモリ/NBRP メダカ/NBRP ゼブラフィッシュ	D会場(E301)	16:00～18:30
S5	第42回胚誘導と形態形成・第32回イモリ・ネットワークー世代を超えて受け継がれる両生類のゲノム情報	F会場(E308)	16:00～18:30
S6	動物が健やかに育つ環境要因を探るー発達研究のフロンティアー	G会場(E310)	16:00～18:30
S7	動物とは何か：初期分岐群から探る生命システムの原型と多様化	H会場(E311)	16:00～18:30
S8	ライフステージに応じた多様な行動とその神経メカニズム	L会場(S2)	16:00～18:30

第2日目 9月4日(金)			
S9	ECO-CLOCK：多様な動物の「時間戦略」を紐解く生理・生態学	A会場(N1)	9:00～11:30
S10	琉球列島で行う自然史研究【国立沖縄自然史博物館関連シンポジウム】	B会場(N2)	9:00～11:30
S11	動物学 × 病気ー多様なモデル動物が拓く疾患研究ー	C会場(E201)	9:00～11:30
S12	海産無脊椎動物ー生命情報の宝の山 Xーオミックス海洋動物学	D会場(E301)	9:00～11:30
S13	生理活性ペプチドが制御する無脊椎動物の多様な生命現象とその進化的洞察	E会場(E302)	9:00～11:30
S14	生物はどのように人間活動に騙されるのか：表現型転換のスイッチ・ゲート・代謝基盤	F会場(E308)	9:00～11:30
S15	光利用システムの普遍性と局所性から捉える生命現象の多元的理解	G会場(E310)	9:00～11:30
S16	コントラリアン生物学：集団から逸脱するあまのじゃくは動物集団の変革と調和をどう駆動するか？	I会場(E319)	9:00～11:30
S17	深海洞窟の生物学ー探査技術・多様性・進化ー	K会場(S1)	9:00～11:30
S18	あなたの体は誰のもの？延長された表現型としての操作と共生	L会場(S2)	9:00～11:30

<関連集会 日程表>

第1日目 9月3日(木)			
K1	若手交流会 将来計画委員会・男女共同参画委員会合同 キャリアパス問題小委員会	H会場(E311)	12:00~13:00
K2	第44回ホヤの生物学談話会	E会場(E302)	16:00~18:30
K3	群体性動物のはなし	I会場(E319)	16:00~18:30
K4	行動を駆動する内部状態：昆虫から学ぶ内部状態の動的制御と人工物設計	K会場(S1)	16:00~18:30

第2日目 9月4日(金)			
K5	動物学的再生研究のリフレーミング	H会場(E311)	9:00~11:30
K6	第26回男女共同参画懇談会 ランチョン企画 ワーク・ライフ・バランスを考える	H会場(E311)	12:00~13:00

<その他 日程表>

第3日目 9月5日(土)			
	中山人間科学振興財団/中山書店 共同開催 中山人間科学振興財団創立35周年記念《動物系統分類学》ランチョンセミナー—なぜ今《動物系統分類学》なのか—	B会場(N2)	12:00~13:00

2026 年度本部企画シンポジウム

Zoological Science と Zoological Letters これまでの歩みとこれからの展開
Zoological Science and Zoological Letters : Past Achievements and Future Perspectives

オーガナイザー：

志賀 向子 Sakiko Shiga（大阪大学）

深津 武馬 Takema Fukatsu（産業技術総合研）

吉田 薫 Kaoru Yoshida（桐蔭横浜大）

佐倉 緑 Midori Sakura（神戸大）

【開催趣旨】

日本動物学会は国際誌 Zoological Science (ZS) と Zoological Letters (ZL) をオフィシャルジャーナルとして出版しています。ZS は動物学の広範な分野を網羅し動物学のスタンダードを支える一方、ZL は分類学からバイオインフォマティクス、古生物学報告も含め進化動物学における新たな視点をも取り入れた雑誌です。ZS、ZL 横断的に系統樹や動物名から文献を探せるという本学会に特徴的かつ魅力的な ZooDiversity Web という検索エンジンを備えています。2026 年はこれら二つの雑誌にインパクトをもたらす年となりました。ZS は BioOne による Subscribe to Open のトライアルに参加し、本年出版論文が即時かつ永続的に OA 公開となりました。また、ZL では本学会による期間限定の APC 補助制度が始まりました。本シンポジウムでは、この機会に ZS、ZL 編集長ならびに ZDW 委員会より各誌、検索エンジンの魅力をお話いただき、さらに各誌からより選りすぐりの最近の論文著者に動物学研究の魅力を語っていただきます。また、NPO 法人 ScholAgora 永井裕子氏に学術情報の現況について語っていただきます。会員の皆様には本シンポで各誌の魅力を感じていただき、投稿につなげていただければ幸いです。

講演者：

兵藤 晋 Susumu Hyodo（Zoological Science・編集主幹/東京大学・大海研）

動物学会における Zoological Science の貢献と今後

Zoological Science (ZS) は動物学雑誌 (1888-1983) と日本動物学彙報 (1897-1983) の統合により 1984 年に発刊され、以来 42 年間にわたって動物学の様々な分野の原著論文・総説を掲載してきました。現在の読者から注目されるインパクトだけでなく、将来にわたって長く引用されるようなしっかりとした堅い論文が Zoological Science のひとつの特徴であり、動物学会とともに歩んできた本誌が最も重視するポイントと言えるかと思います。「ZS はインパクトファクターのわりに査読が厳しい」という評判を聞くこともありますが、高い論文の質が保証されているということでもあり、これも動物学雑誌創刊から 138 年間にわたる伝統がなせるものだと思います。

ZS は BioOne が目指す Subscribe to Open (S2O) トライアルに参加しています。これは、購読モデルを基にしながらも、年間購読収入が十分な額に達すると、その年に刊行される論文がオープンアクセスとなる、というモデルです。2026 年はうれしいことに収入が目標に達成したため、2026 年に出版される全ての ZS 論文について著者が APC を負担すること無しにオープンアクセスとなります。科研費等で補助を受けている場合には即時 OA が求められるようになりましたが、今後も S2O モデルが継続的に達成されれば、ZS は即時 OA にも対応できることになります。また、ZS Award や ZooDiversity Web による検索・ダウンロードサービスなど、動物学会員、特に若手会員・研究者にとってメリットとなるような活動を継続してまいります。ぜひ若手研究者のみならず、あるいは大学院生が筆頭著者となる論文などを投稿していただき、キャリアパス形成の役に立ていただくことも効果的ではないかと思います。

日本動物学会が出版する Zoological Letters との両輪で、双方が発展し、日本の動物学の発展に貢献できるように活動してまいります。多様な動物学を網羅したジャーナルを維持するためにも、様々な分野からの投稿をお待ちしております。

倉谷 滋 Shigeru Kuratani

(理化学研究所・生命機能科学研究センター/東京科学大学・院医歯・分子発生・口腔組織学)

Zoological Letters の 10 年

2015 年、Zoological Science とある種の差異を伴うものとして、Zoological Letters が創刊された。学術的には、基礎科学としての動物学を守り抜くことが第 1 の目標とされる一方、国際的な即戦力・競争力の向上と、ビジネス化する科学の動向に抗うためのフォーラムとしての存在意義も目指されていた。それらを総合して、当初は「これを国際的認知度と IF の高いフラッグシップ誌とすることを中長期的目的とする」ものとして、そして古生物学をも射程に入れた、本来の動物学のあり方を問いかける雑誌として Zoological Letters は始まったのである。以来、Zoological Letters は多くの論文を掲

載し、その当初の目標の一部は達成できたと思う。一方で、10年が経ち、Zoological Lettersの第2期を考える時期にさしかかっていると思う。今後の動物学にとっていま何が求められているのか、そして Zoological Letters に何ができるのか。それを考えてみたいと思う。

柘原 宏 Hiroshi KAJIHARA (北大・理・生物)

ZooDiversity Web (ZDW) のあゆみと嶋田大輔博士の貢献

日本動物学会が運営する ZooDiversity Web (以下 ZDW) は、Zoological Science (ZS: 1984–現在)、動物学雑誌 (Zoological Magazine: 1888–1983) および動物学彙報 (Annotationes Zoologicae Japonenses: 1897–1983) に掲載された全論文を検索し、PDF としてダウンロードできる (一部は学会員限定) サイトである (<https://zdw.zoology.or.jp/>)。本学会のオープンアクセス誌である Zoological Letters (ZL: 2015–現在) の論文も検索対象に含まれており、全ての雑誌を横断的に検索することも可能である。特に、系統樹や動物名からも文献を検索できる点が大きな特徴となっており、雑誌のサイトで単にキーワードやタイトルワードで検索するのとは一線を画した検索が可能である。もちろん、一般的な雑誌のアーカイブと同様に、巻号年から目的の文献を探すことも可能である。現在では、全世界から毎日欠かさず 20~50 件のアクセスが ZDW にあり、ときに数百件のアクセスが集中する日もある。ZDW は本学会が刊行する学術論文の研究情報を発信する一つのツールとして機能し、収録論文の引用機会向上にも寄与している。これにより、ZDW は ZS および ZL の価値を高める役割も果たしていると期待される。

ZDW で動物名 (学名、俗名) による検索を実現する上で、論文ごとの書誌情報と動物名をリンクしたデータベースが必須となる。この構築を一人で引き受け、完成させたのが嶋田大輔会員である。データベースの構築に取り掛かった段階で、ZS は約 4000 論文を刊行しており、その論文 1 編ごとに研究対象としている動物名を抽出してゆくのは膨大かつ専門性の高い作業である。その後、嶋田氏は動物学雑誌約 9500 論文、動物学彙報約 4600 論文についてもデータベースを完成させている。彼の貢献なしに ZDW の実現はあり得なかったのである。一通りのデータベースが完成し、ZDW に実装され、今後は新たな論文データの更新とデータの修正等のメンテナンス中心の業務に移行してゆく段階で、思いがけないことに嶋田氏は急逝してしまう。ZDW に不可欠であった嶋田氏の大きな貢献に感謝するとともに、会員の皆様が ZDW をぜひ活用していただくことをお願いしたい。

永井 裕子 YUKO NAGAI (NPO 法人 ScholAgora)

Open Access は購読料モデルを消滅させるのか—あなたは Open Access が好きですか

2025 年科学研究費補助金採択課題の研究成果は即時 OA にという政府の方針ができました。研究者の皆様はこの方針をどう受け止めておいでしょうか？

潤沢な研究費があるから APC を支払って、OA で論文を出版する、もしくは研究費では高額な APC は支払えないので、「購読料モデルを維持するジャーナル」に投稿し、その後、所属機関の IR に論文データをデポジットする、でしょうか？さて、皆が受理されたいジャーナルの APC はなぜこの金額であるのか？と悩むほど高額となりました。では APC はなんのための対価として支払うのでしょうか？20 年前には、Open Access は学術情報流通を変革し、高価な Big Deal モデル料金を支払わずとも、読みたい論文を皆が読むことができる、と言われてもいました。が、相変わらず、学術情報流通に関わる多くのコストは上がり続けているという状況は変わりません。Zoological Science は BioOne の方針により、S2O で OA に、Zoological Letters はそもそも OA 誌です。動物学会の出版する二誌のジャーナルは、今や OA 出版されているという事実も重要です。ここでは、Open Access を皆様が好きであるかも含めて、Open Access とはなにかをあらためて考えたいと思います。

梶本 麻未 Asami Kajimoto (神奈川大学・理/広島大学・統合生命)

寄生性甲殻類フクロムシ類が宿主ホンヤドカリ類のオス形質に与える影響

自然界では、寄生者による宿主操作現象が広く知られているが、既にオスとして分化した宿主の性形質を再編成させる例は限られている。寄生性甲殻類フサフクロムシおよびナガフクロムシ (蔓脚下綱・根頭上目) は、ホンヤドカリ類に寄生するフジツボの仲間である。フクロムシ類のメスは宿主体内に根状組織 (インテルナ) を張り巡らせて栄養を奪取し、宿主腹部に袋状の繁殖器官 (エキステルナ) を形成する。インテルナは宿主体内へ広く侵入し、生殖機能を抑制することで強い寄生去勢を引き起こす。さらに、フクロムシ類に寄生されたオスヤドカリでは、遺伝的にはオスであるにもかかわらず、メス特有の抱卵用腹肢の形成や鉗脚長の短縮といった顕著な形態的メス化が生じる。これらの変化は、フクロムシ類が自身の卵発生から幼生放出までの繁殖過程を宿主に担わせるための適応的戦略と考えられている。しかし、フクロムシ類による宿主操作研究では、主にカニ宿主-フクロムシ類系を対象として形態的メス化や行動的メス化の現象が報告されてきた一方で、複数の宿主-寄生者組み合わせにおいて、形態的メス化の程度を定量的に評価した研究はほとんど行われてこなかった。そこで本研究では、4 種のホンヤドカリ類 (ケアシホンヤドカリ、ホンヤドカリ、クロシマホンヤドカリ、ヤマトホンヤドカリ) に寄生する 1 種のフサフクロムシ (*Peltogasterella gracilis*) および 3 種のナガフクロムシ (*Peltogaster* sp., *Peltogaster postica*, *Peltogaster aff. ovalis*) を対象に、抱卵用腹肢の形成および鉗脚長の短縮を指標として、宿主の形態改変の程度を比較した。

2018年から2025年にかけて、北海道小樽市、千葉県南房総市、および石川県能登町において採集したヤドカリ類について、未寄生メス、未寄生オス、および寄生オスにおける抱卵用腹肢の有無を確認した。さらに、シールド長および鉗脚長を測定し、シールド長に対する鉗脚長の相対値を比較することで、宿主の形態的雌化の程度を評価した。その結果、フサフクロムシに寄生されたケアシホンヤドカリおよびホンヤドカリ、*Peltogaster* sp. に寄生されたケアシホンヤドカリ、ならびに *P. postica* に寄生されたクロシマホンヤドカリでは、未寄生オスと比較して寄生オスにおける抱卵用腹肢の形成頻度が高かった。また、フサフクロムシあるいは *Peltogaster* sp. に寄生されたケアシホンヤドカリ、および *P. aff. ovalis* に寄生されたヤマトホンヤドカリでは、鉗脚長の顕著な短縮が認められた。さらに効果量解析の結果、これらの寄生オスでは鉗脚長が未寄生メスと同程度を示した。一方、*P. postica* に寄生されたホンヤドカリおよびクロシマホンヤドカリのオス個体では、鉗脚長が未寄生メスと同程度となる傾向は認められなかった。

以上の結果から、フクロムシ類によって改変される宿主の形態部位やその程度は、宿主種—寄生種の組み合わせによって大きく異なることが示された。本研究は、フクロムシ類における宿主操作戦略の多様性を理解する上で重要な知見を提供する。

十川 俊平 Shumpei Sogawa (大阪公立大学・院理・生物学)

個体識別するとはどういうことか？ 動物学研究の過去と未来の方向性

本発表では、魚類における個体識別研究を題材として、現代動物学に残る人間中心主義的フレームワークを見直し、今後の研究の方向性について考えてみたい。

ダーウィンやベルナルド以降、人間と動物の連続性は生物学の基本原則となった。しかし一方で、人間を認知能力の頂点に置く見方は、明示的な形では弱まりながらも、研究上の前提や概念枠組みの中に現在も残っているように思われる。ヘッケルの系統樹やマクリーン仮説のような露骨な階層モデルは支持されなくなったが、「複雑な社会性や高次認知は一部の動物でのみ進化した」という暗黙の前提は、私たちの問いの立て方や解釈に影響を与え続けている。

私はグッピーにおいて顔を用いた個体識別能力を示し、幸運にも Zoological Science Award をいただいた。しかし、魚類における個体識別研究そのものは現在でも決して多くない。これは魚類に能力がないからではなく、そもそもその可能性自体が十分に検討されてこなかった面があるのではないだろうか。例えば生得的解発機構で有名なイトヨは2020年に個体識別ができないという報告がされている。しかし、私はその研究の手法上の問題点を指摘し、2024年にイトヨでも顔による個体識別能力を示した。

さらに興味深いのは、個体識別の内部にも階層が存在することである。現在、個体識別はしばしば Class-level recognition (CLR) と True individual recognition (TIR) に区別される。前者はカテゴリへの反応として連合学習でも説明可能である一方、後者は個体という恒常の対象を扱う抽象的表象を前提とする。しかし、魚類に見られる隣人識別や社会的記憶は、論理的には両方の解釈が可能であるにもかかわらず、しばしばより単純な説明へ回収されてきた。そこには、抽象的表象の利用を一部の動物に限定して考える暗黙の前提が存在するのかもしれない。

近年、この前提を再考させる研究が現れている。ホンソメワケベラの鏡像自己認知研究では、鏡像を自己として扱うだけでなく、鏡像を通して形成した自己情報を新たな状況へ転用する可能性が示されている。もし魚類が抽象的表象を利用できるなら、個体識別、協力、社会行動、繁殖戦略といった現象は、独立したモジュールではなく、より普遍的な「抽象を扱う」という認知原理から理解し直せるかもしれない。そして、生理学・神経科学・分子生物学においても、個別機能の集積としてではなく、抽象的情報処理の実装という観点が新たに重要になるだろう。そして、これはなにも脊椎動物に限った話ではないかもしれない。

Zoological Science, Zoological letters には、こうした既存の分類や境界を越え、単に「どの動物が何をどのようにできるか」ではなく、「フレームワーク」を問う場であり続けてほしい。過去の枠組みを継承するだけでなく、それを更新する議論の中心として、今後の動物学を牽引していくことを期待している。

S1

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：A会場（N1）

受精シンポジウム「受精を通して探る生命の多様性と普遍性」

Fertilization symposium “Exploring the diversity and universality of life through fertilization”

オーガナイザー：

竹 井 元 Gen Takei（獨協医科大学・薬理）

松 崎 芽 衣 Mei Matsuzaki（広島大学・院・統合生命科学）

S1-1 ナナフシを通して探る受精の多様性と「非」普遍性？

Reproductive modes in stick insects : evolutionary origins and consequences

野崎 友成 Tomonari Nozaki^{1,2}, 久延 めい Mei Hisanobu³, 佐藤 隆太 Ryuta Sato³,
末次 健司 Kenji Suetsugu⁴, 兼子 伸吾 Shingo Kaneko³（¹基礎生物学研究所 進化ゲノミクス研究室, ²総合研究大学院大学先端学術院 基礎生物学コース,
³広島大学 共生システム理工学類, ⁴神戸大学 大学院理学研究科）

S1-2 ヒエラルキー型卵巣と貯精のメカニズムからサメ・エイ類の生殖を理解する

Understanding reproductive biology in sharks and rays through the mechanisms of hierarchical ovaries and sperm storage

兵藤 晋 Susumu Hyodo（東京大学・大海研・生理学）

S1-3 排卵および卵子輸送の生体内ダイナミクス

Physiological dynamics of ovulation and oocyte transport

梅津 康平 Kohei Umezumi（Baylor College of Medicine, Department of Integrative Physiology）

S1-4 海産巻貝マガキガイにおける異型精子の機能

Function of parasperm in the marine gastropod *Conomurex luhuanus*

横屋 稜 Ryo Yokoya（筑波大学・下田臨海）

S2

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：B会場（N2）

第19回色素細胞シンポジウム：動物が纏う色を考える
The 19th Pigment Cell Symposium : Creatures and Color

オーガナイザー：

池 田 譲 Yuzuru Ikeda（琉球大学・理・海洋自然）

S2-1 ここにある彩：企画趣旨説明に代えて

This too is color : Opening remarks

池田 譲 Yuzuru Ikeda（琉球大学・理・海洋自然）

S2-2 頭足類色素胞の温度・光・電気制御

Temperature, Light, and Electrical Control of Cephalopod Chromatophores

伊藤 浩史 Hiroshi Ito（九州大学・芸工）

S2-3 トカゲの模倣ロボットを用いて体色によるコミュニケーションの謎に迫る

Using robotic mimicry to understand how lizards communicate with body color

酒井 理 Osamu Sakai（帝京科学大学 生命環境学部 自然環境学科）

S2-4 色盲メダカの行動特性

Behavioral characteristics of colorblind medaka

深町 昌司 Shoji Fukamachi（日本女子大学・理・化学生命科学）

S2-5 鳥類の色鮮やかさの研究未開拓領域：裸出部の信号機能とは？

Frontiers in the studies of the vivid coloration of birds : bare-part signaling

相馬 雅代 Masayo Soma（北海道大学・院理・生物）

S2-6 表情判断における顔色の影響

The effect of face color on facial expression judgment

高橋 文代 Fumiyo Takahashi（札幌大谷大学・芸術学部・美術学科）

モデル生物「群」としての野生ショウジョウバエー “other species” とは言わせない—
Wild species of Drosophilidae as model organisms—They should not be referred to as
“other species” —

オーガナイザー：

加藤 徹 Toru Katoh（北海道大学・院理・生物）

越川 滋行 Shigeyuki Koshikawa（北海道大学・地球環境・生態遺伝）

S3-1 タロイモショウジョウバエとサトイモ科植物の送粉共生

Pollination mutualism between *Colocasiomyia* flies (Diptera: Drosophilidae) and Araceae plants

高野 宏平 Kohei Takano^{1,6}, 森 信之介 Shinnosuke Mori², 甲山 哲生 Tetsuo Kohyama⁸,
志垣 俊介 Shunsuke Shigaki³, 三宅 崇 Takashi Miyake⁴, 岩崎 公典 Hironori Iwasaki⁵,
平良 渉 Wataru Taira⁶, 武方 宏樹 Hiroki Takekata⁷, ヴァルチャノヴァ アンナ
Anna Valchanova⁹, 佐藤 柊介 Shusuke Sato¹⁰, 高濱 謙太朗 Kentaro Takahama¹¹, 小川 直也
Naoya Ogawa¹¹, 佐藤 光彦 Mitsuhiko Sato¹⁵, 武田 和也 Kazuya Takeda¹², 碓間 太雅
Taiga Hazama¹⁰, 小澤 理香 Rika Ozawa¹³, 本庄 三恵 Mie Honjo¹³, 山尾 僚 Akira Yamawo¹³,
工藤 洋 Hiroshi Kudoh¹³, 戸田 正憲 Masanori Toda¹⁴ (¹長野県環境保全研究所, ²慶應大・理工,
³国立情報学研究所, ⁴岐阜大・教育, ⁵琉大・熱生研, ⁶琉大博物館（風樹館）, ⁷琉大・研共, ⁸東大・農,
⁹東大・院・理, ¹⁰北大・院・理, ¹¹名大・全技セ, ¹²山梨富士山研, ¹³京大・生態研, ¹⁴北大,
¹⁵かずさDNA研究所)

S3-2 ホンウスグロショウジョウバエにおける性比異常現象とその原因因子

Sex ratio distortion in *Drosophila obscura*

加藤 雄大 Takehiro Katoh^{1,2}, 野澤 昌文 Masafumi Nozawa^{2,3}, 高鳥 直士 Naohito Takatori²,
柳町 悠斗 Yuto Yanagimachi², 永野 圭奈海 Kanami Nagano², 堀井 翔 Kakeru Horii²
(¹農研機構・生物機能・昆虫微生物, ²都立大・院理・生命科学, ³都立大・生命情報セ)

S3-3 マメショウジョウバエ幼虫における姿勢依存的な表面張力を利用したメニスカス移動

meniscus-guided movement in *Scaptodrosophila* larvae through posture-dependent capillary forces

松永 光幸 Teruyuki Matsunaga, 能瀬 聡直 Akinao Nose（東京大学・新領域・複雑理工）

S3-4 ショウジョウバエの求愛行動の多様性とそれを支える神経機構

Diversified courtship behaviors in *Drosophila* and the underlying neural mechanisms

田中 良弥 RYOYA TANAKA（名古屋大学・院理・生命理学）

S3-5 カザリショウジョウバエから昆虫の訪花行動の進化の神経機構を探る

Neural basis of the evolution of flower-visiting behavior in *Drosophila elegans*

石川 由希 Yuki Ishikawa（筑波大学・生命環境）

S3-6 分類学のいまとこれから：ホクダイショウジョウバエの統合分類学

Present and future of taxonomy: Integrative taxonomy of *Lordiphosa yuktopakina*

戸田 正憲 Masanori, J. Toda（北海道大学・総合博物館）

S4

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：D会場（E301）

「見る・操る・比べる」水生モデル動物が拓く発生現象研究 後援 NBRP ツメガエル・イモリ/NBRP
メダカ/NBRP ゼブラフィッシュ

Cool Observation and Hot Manipulation : Aquatic Model Animals in Developmental Biology Supported by NBRP Clawed frog/Newts, Medaka and Zebrafish

オーガナイザー：

越 智 陽 城 Haruki Ochi（神戸大学・理）

平 田 普 三 Hiromi Hirata（青山学院大学・理工）

S4-1 NBRP ツメガエル・イモリのリソースと種間比較研究

Current resources of NBRP Clawed frogs/Newts and interspecies comparative research

荻野 肇 Hajime Ogino^{1,2}, 林 利憲 Toshinori Hayashi^{1,2}, 鈴木 誠 Makoto Suzuki^{1,2}, 井川 武

Takeshi Igawa^{1,2}, 鈴木 菜花 Nanoka Suzuki¹, 田澤 一朗 Ichiro Tazawa^{1,2}, 中島 圭介

Keisuke Nakajima^{1,2}, 越智 陽城 Haruki Ochi³, 加藤 尚志 Takashi Kato^{4,5}, 鈴木 賢一

Ken-Ichi Suzuki⁶, 大林 徹也 Tetsuya Ohbayashi⁷, 松原 遼 Haruka Matsubara⁸

(¹広島大学・両生研, ²広島大学・院統合生命, ³神戸大学・院理, ⁴早稲田大学・院先進理工・生命理工,

⁵早稲田大学・教育・生物, ⁶基礎生物学研究所・TSB・新規モデル開発室, ⁷鳥取大学・研推・動物実験,

⁸鳥取大学・医・生命科学)

S4-2 ツメガエル胚での観察・操作と in vitro での再構成から理解する平面内細胞極性（PCP）

Understanding planar cell polarity through observation and manipulation of *Xenopus* embryos and in vitro reconstitution.

三井 優輔 Yusuke Mii（京都大学・医生研）

S4-3 メダカ多様性リソースで探る性染色体と生殖システムの進化

Exploring the Evolution of Sex Chromosomes and Reproductive Systems Using Medaka Diversity Resources

竹花 佑介 Yusuke Takehana^{1,2} (¹熊本大学・院・先端科学, ²長浜バイオ大学・院・バイオサイエンス)

S4-4 真骨魚類胚を用いて明らかにする左右軸形成と低温応答のメカニズム

Elucidating the mechanisms of left-right asymmetry formation and cold responses using teleost embryos

池田 貴史 Takafumi IKEDA（京都産業大学・タンパク質動態研究所）

S4-5 ゼブラフィッシュを用いた、進化的に保存された脳の基本構造とところの探求

Quest for the evolutionarily conserved basic scaffolds of brain and mind using zebrafish

岡本 仁 Hitoshi Okamoto^{1,2} (¹理化学研究所脳神経科学研究センター, ²早稲田大学理工学術院)

S4-6 母体ストレスが脳発生に及ぼす影響

Effects of Maternal Stress on Brain Development

樋口 麻衣子 Maiko Higuchi（立教大学・理・生命理学）

S5

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：F会場（E308）

第42回胚誘導と形態形成・第32回イモリ・ネットワークー世代を超えて受け継がれる両生類のゲノム情報

Amphibian genomic information passed down through generations

オーガナイザー：

渡 邊 明 彦 AKIHIKO WATANABE（山形大学・理・生物）

福 井 彰 雅 AKIMASA FUKUI（中央大・理工・生命）

S5-1 生体内に存在するヒストン H3-H4 に富むクロマチンの構造機能解析

Structural and functional analysis of histone H3-H4-rich chromatin present in vivo

野澤 佳世 Kayo Nozawa（科学大・生命）

- S5-2 精子由来ヒストン修飾による父性クロマチン再編成と初期胚発生制御**
Sperm-derived histone modifications regulate paternal chromatin remodeling and early embryonic development
及川 真実 Mami Oikawa (東京薬科大学・生命・再生医科学)
- S5-3 染色体スケールのイベリアトゲイモリゲノムの復元とそれを用いた進化学解析**
Chromosome-scale genome assembly of the Iberian ribbed newt and its application to evolutionary analyses
松波 雅俊 Masatoshi Matsunami (琉球大学・院医・検査医学)

S6

第1日目：9月3日(木) 16:00~18:30 会場：G会場 (E310)

動物が健やかに育つ環境要因を探る—発達研究のフロンティア—
Uncovering Environmental Determinants of Healthy Animal Development : Frontiers in Developmental Research

オーガナイザー：

前 川 文 彦 Fumihiko MAEKAWA (国立環境研究所 環境リスク・健康領域)
柳 原 真 Shin Yanagihara (帝京大学 先端総合研究機構)

- S6-1 社会的相互作用が育む発達期聴覚可塑性：鳥類の歌学習におけるドーパミン作動性機構**
Social interaction shapes developmental auditory plasticity : Dopaminergic mechanisms in avian song learning
柳原 真 Shin Yanagihara¹, 池淵 万季 Maki Ikebuchi¹, 橋 亮輔 Ryosuke Tachibana²,
森 千紘 Chihiro Mori³, 本間 光一 Koichi Homma³, 岡ノ谷 一夫 Kazuo Okanoya¹
(¹帝京大学・先端総合研究機構, ²産業技術総合研究所・人間情報, ³帝京大学・薬学部)
- S6-2 社会的隔離ストレスによる雄マウスの攻撃行動の過剰化と攻撃報酬性**
Social isolation stress escalates aggressive behavior and aggression reward in male mice
高橋 阿貴 Aki Takahashi (筑波大学・人間)
- S6-3 幼少期の孤立環境がつくる脅威に敏感な脳**
Neural mechanisms underlying threat sensitivity induced by early-life social isolation
植松 朗 Akira Uematsu^{1,2} (¹産業技術総合研究所・人間情報インタラクション研究部門,
²東京大学・院農・応用動物科学)
- S6-4 海洋生物によるプラスチック摂食と有害化学物質曝露の可能性**
Plastic Ingestion and Associated Chemical Exposure in Marine Organisms
田中 厚資 Kosuke Tanaka (国立環境研究所 資源循環領域)
- S6-5 ナノプラスチックというリスク概念へのアプローチ：環境化学物質が脳発達に及ぼす影響**
Nanoplastics as a novel risk concept : Environmental chemical influences on brain development
前川 文彦 Fumihiko Maekawa, Yang Mi (国立環境研究所 環境リスク・健康領域)

S7

第1日目：9月3日(木) 16:00~18:30 会場：H会場 (E311)

動物とは何か：初期分岐群から探る生命システムの原型と多様化
What is an animal? Prototypes and diversification of biological systems in early-branching metazoans

オーガナイザー：

中 嶋 悠一郎 Yuichiro Nakajima (東京大学・院薬・遺伝学)
今 鉄 男 Tetsuo Kon (ウィーン大・神経・発生)

- S7-1 ヒドラにおけるトランスポゾンを経たゲノム進化と幹細胞制御ネットワーク**
Transposable element-mediated genome evolution and stem cell regulatory networks in Hydra
今 鉄男 Tetsuo Kon, 今 琴 Koto Kon-Nanjo, Simakov Oleg (Department of Neurosciences and Developmental Biology, University of Vienna)

- S7-2 有櫛動物（クシクラゲ）の解析からせまる多細胞動物筋肉の原型と多様化**
 Insights into the origin and diversification of metazoan muscles from ctenophore studies
 毛利 蔵人 Kurato Mohri（沖縄科学技術大学院大学）
- S7-3 カイメン動物研究から示唆される起源的な多細胞動物システムと進化**
 Perspectives from Sponge Research into Ancestral Multicellular Systems and Their Evolution in Animals
 船山 典子 Noriko FUNAYAMA（京都大学・院理・生物科学専攻）
- S7-4 平板動物とは何か**
 What is Placozoa?
 中野 裕昭 Hiroaki Nakano¹, 西 源一朗 Genichiro Nishi², 埴 宗継 Munetsugu Bam³,
 宮澤 秀幸 Hideyuki Miyazawa³（¹筑波大学・生命環境系・下田臨海実験センター,
²筑波大学大学院・理工情報生命学術院・生命地球科学研究群・生物学学位プログラム・下田臨海実験
 センター, ³山梨大学・医・解剖）
- S7-5 初期分岐動物における個体再編成戦略：エダアシクラゲの損傷応答に伴うシスト形成と幹細胞誘導**
 Organism-level reorganization strategy in early-branching metazoans : injury-induced cyst formation and stem cell induction in the hydrozoan *Cladonema pacificum*
 中島 暲 Ryo Nakajima¹, 中谷 容子 Hiroko Nakatani¹, 三浦 正幸 Masayuki Miura^{1,2},
 中嶋 悠一朗 Yuichiro Nakajima¹（¹東京大学・院薬・遺伝学, ²基礎生物学研究所）
- S7-6 クラゲのペプチドーム解析から紐解く神経修飾の多様化**
 Jellyfish peptidomics reveals functional diversification of neuromodulation
 Vladimiro Thoma¹, 竹中 悠晴 Yusei Takenaka¹, 刘 明鑫 Mingxin Liu¹, 吉田 拓也
 Takuya Yoshida², 牧野 由美子 Yumiko Makino², 重信 秀治 Shuji Shigenobu², Swapnil Abedin³,
 丸山 真一朗 Shinichiro Maryuyama³, 谷本 拓 Hiromu Tanimoto¹（¹Graduate School of Life Sci-
 ences, Tohoku University, ²Trans-Omics Facility, National Institute for Basic Biology, ³Department of In-
 tegrated Biosciences, Graduate School of Frontier Sciences, the University of Tokyo）
- S7-7 珍無腸動物 *Praesagittifera naikaiensis* にみる中枢神経系進化—分子・細胞・酵素活性からの統合的理解**
 Cell atlas and enzyme evolution analyses in a *Xenacoelomophora* (*Praesagittifera naikaiensis*)
 中村 遼 Ryo Nakamura（岡山大学・理・牛窓臨海実験所）
- S7-8 ホヤが脊索動物としての基本体制を捨てる時、何が生じるのか？～変態を司る中核的機構～**
 Core mechanism of ascidian metamorphosis
 笹倉 靖徳 Yasunori Sasakura¹, Yanbin Wang¹, 保住 暁子 Akiko Hozumi¹, 白石 慧
 Akira Shiraishi², 西野 敦雄 Atsuo Nishino³, 佐竹 炎 Honoo Satake²（¹筑波大・生命・下田臨海,
²サントリー・生命科学・生物有機科学, ³弘前大・農学生命）

S8

第1日目：9月3日（木） 16:00～18:30 会場：L会場（S2）

ライフステージに応じた多様な行動とその神経メカニズム

Diverse behaviors across life stages and underlying neural mechanisms

オーガナイザー：

馬 谷 千 恵 Chie Umatani（東京農工大学・院農・応用生命化学）
 荻 郷 友 美 Tomomi Karigo（ジョンズホプキンス大・医・ケネディークリーガー研究所）

- S8-1 キンカチョウの発達歌学習期により異なる社会相互作用の影響**
 Altering the impacts of social interactions across developmental song learning
 杉山（矢崎） 陽子 Yoko Yazaki-Sugiyama（沖縄科学技術大学院大学）
- S8-2 メダカ科魚類を用いたメスの性的受容性を制御する神経内分泌システムとその進化に関する研究**
 Exploring the neuroendocrine systems and their evolution that facilitate female sexual receptivity using medaka relatives
 富原 壮真 Soma Tomihara（広島大学・院統合生命科学）

- S8-3 ショウジョウバエにおける歌の好みの可塑性を制御する神経修飾機構**
 Neuromodulatory Control of Song Preference Plasticity in *Drosophila*
 上川内 あづさ Azusa Kamikouchi^{1,2} (¹名古屋大学・院理・生命理学, ²名古屋大学・ITbM)
- S8-4 母性行動を柔軟に制御する神経回路機構**
 Neural circuit mechanisms underlying flexible regulation of maternal behaviors
 苅郷 友美 Tomomi Karigo^{1,2} (¹Johns Hopkins University School of Medicine, Department of Neuroscience, ²Kennedy Krieger Institute)
- S8-5 老齢線虫におけるエサ探索行動と生殖能力のカップリング**
 Coupling of food-searching behavior and reproductive capacity in aged *Caenorhabditis elegans*
 Mariko Tsuji^{1,2}, 石川 雅子 Masako Ishikawa¹, 野間 健太郎 Kentaro Noma¹
 (¹名古屋大学・院理・生命理学, ²Brandeis University, Dept. of Biology)

S9

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：A会場（N1）

ECO-CLOCK：多様な動物の「時間戦略」を紐解く生理・生態学
ECO-CLOCK：Physiology and Ecology of “Temporal Strategies” in Diverse Animals

オーガナイザー：

吉 井 大 志 Taishi Yoshii (岡山大学・院環境生命・生物科学)
 志 賀 向 子 Sakiko Shiga (大阪大学・院理・生物科学)

- S9-1 概日時計の周期変異がキイロショウジョウバエの生存競争と適応度に及ぼす影響**
 Effects of circadian period alterations on the survival competition and fitness of *Drosophila melanogaster*
 相川 紗英 Sae Aikawa (岡山大学・院環境生命・生物科学)
- S9-2 野外ミジンコ集団における休眠戦略の違いを生み出す分子機構**
 Molecular mechanisms underlying differences in diapause strategies among natural populations of *Daphnia cf. pulex*
 丸岡 奈津美 Natsumi Maruoka¹, 大原 裕也 Yuya Ohhara², 宮川 一志 Hitoshi Miyakawa³
 (¹東北大学・生命科学, ²静岡県立大学・食品栄養科学, ³宇都宮大学・バイオ)
- S9-3 潮間帯に生息するミナミコメツキガニにおける活動時間帯の季節的变化**
 Seasonal changes in diurnal active phases of the intertidal crab *Mictyris guinotae*
 武方 宏樹 Hiroki Takekata¹, 平良 渉 Wataru Taira², 竹村 明洋 Akihiro Takemura¹
 (¹琉球大学・研共, ²琉球大学・風樹館)
- S9-4 概日リズムと光周性を支える時計機構の機能的分化**
 Functional differentiation of the clock machineries underlying the circadian rhythm and the photoperiodic response
 向井 歩 Ayumu Mukai (長浜バイオ大学)
- S9-5 ウナギにおける初期生活史スケジュール**
 Early life-history timing in eels
 黒木 真理 Mari Kuroki (東京大学・院農・水圏生物)
- S9-6 冬眠に伴う哺乳類昼夜リズム同調の再編成**
 Reorganization of mammalian day-night rhythms through hibernation
 中川 哲 Satoshi Nakagawa¹, 山口 良文 Yoshifumi Yamaguchi^{1,2,3} (¹北海道大学・低温研, ²北海道大学・環境科学院, ³稲盛科学研究機構)

S10

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：B会場（N2）

琉球列島で行う自然史研究【国立沖縄自然史博物館関連シンポジウム】

Natural History Research in the Ryukyu Islands : Biodiversity, Evolution, and Prospects for a National Museum of Natural History, Okinawa

オーガナイザー：

- 山崎 博史 Hiroshi Yamasaki（九州大・基幹）
 岡西 政典 Masanori Okanishi（広島修道大・人間環境）
 千徳 明日香 Asuka Sentoku（琉球大・理・物質地球）

S10-1 黒潮が織りなす琉球列島の魚類多様性

Fish diversity of the Ryukyu Archipelago influenced by the Kuroshio Current
 小枝 圭太 Keita Koeda（琉球大学・理学部・生物系）

S10-2 琉球列島の地史

Geological history of the Ryukyu islands
 新城 竜一 Ryuichi Shinjo（琉球大学・理・地球環境系）

S10-3 琉球列島の古生物・古環境と旧石器人の暮らし

Paleofauna, paleoenvironment, and Pleistocene human life in the Ryukyu Islands
 藤田 祐樹 Masaki Fujita（国立科学博物館・生命史研究部）

S10-4 島嶼生態系における哺乳類：飛ぶオオコウモリが島々をつなぐ？

The role of fruit bats as ecological connectors in island ecosystems
 中本 敦 Atsushi Nakamoto（岡山理科大・理）

S10-5 琉球列島周辺海域における無藻性イシサンゴ類の適応と進化

Adaptation and Evolution of Azooxanthellate Scleractinian Corals in the Ryukyu Islands Region
 千徳 明日香 Asuka Sentoku（琉球大学・理学部・地球環境系）

S10-6 国立沖縄自然史博物館設立活動の現況 2026：誘致県民会議の結成

Progressive report 2026 of initiatives to establish the National Museum of Natural History, Okinawa : The Launch of the Prefectural Citizens' Council
 岸本 健雄 Takeo Kishimoto^{1,2}（¹（一社）国立沖縄自然史博物館設立準備委員会，²お茶大・ISE）

S11

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：C会場（E201）

動物学 × 病気—多様なモデル動物が拓く疾患研究—

Zoology × Disease : New Perspectives on Disease through the Lens of Diverse Model Organisms

オーガナイザー：

- 岡田 守弘 Morihiro Okada（県立広島大学・生物資源科学）
 谷崎 裕太 Yuta Tanizaki（東京大学・総文・生命環境）

S11-1 Eel-to-Bedside：ウナギ血清毒から未来の薬へ

Eel-to-Bedside : Bridging Zoology and Medicine
 塚田 岳大 Takehiro Tsukada（東邦大学・理・生物分子）

S11-2 血液学研究における小型魚類メダカモデルの有用性—POLE1 変異によるヒト先天性疾患の病態解析—

The Utility of the Medaka Model in Hematological Research : Pathogenesis Analysis of Human Diseases Caused by Congenital POLE1 Mutations
 小川 斐女 Ayame Ogawa^{1,2}, 加藤 尚志 Takashi Kato^{1,3}（¹早稲田大学・院先進理工・生命理工，²株式会社ミルボン・開発本部・先端技術研究部，³早稲田大学・教育・理・生物）

S11-3 げっ歯類・有袋類比較による新生仔期の心臓再生能を支える分子機構

Rodent vs marsupial comparison identifies molecular basis for neonatal heart regeneration
 木村 航 Wataru Kimura^{1,2}（¹理研BDR，²信州大学医学部）

S11-4 吸血・生殖・生存をつなぐ蚊の生理学—極端な栄養流入への適応戦略を探る—

Physiology Linking Blood Feeding, Reproduction, and Survival in Mosquitoes : Adaptations to Repeated Nutrient Surges

佐久間 知佐子 Chisako Sakuma^{1,2} (理研・生命機能科学研究センター, ²理研・開拓研究所)

S11-5 ショウジョウバエが加速するがん研究

Drosophila unveiling new frontiers in cancer research

園下 将大 Masahiro Sonoshita (北大・遺制研)

S12

第2日目: 9月4日(金) 9:00~11:30

会場: D会場 (E301)

海産無脊椎動物—生命情報の宝の山 X—オミックス海洋動物学

Marine Invertebrates-Gold Mine of the Information on Life Sciences X-Omics for Marine Biology

オーガナイザー:

谷口 俊介 Shunsuke Yaguchi (筑波大学・生命環境・下田臨海)

渡邊 寛 Hiroshi Watanabe (OIST・進化神経生物学)

S12-1 非モデル生物ゲノム解析の現在地と展望: 海産無脊椎動物オミックスへの展開

Current Status and Future Perspectives of Genome Analysis in Non-model Organisms : Applications to Marine Invertebrate Omics

重信 秀治 Shuji Shigenobu^{1,2,3} (¹基生研・超階層, ²筑波大・TARA, ³総研大・基礎生物)

S12-2 全ゲノム時代の海産動物ゲノムの実際と展望—タコゲノムの実例から—

Current Status and Future of Marine Genomics in the EBG Era : Case Studies of the Octopus Genome

吉田 真明 Masa-aki Yoshida (島根大学・生資・隠岐臨海)

S12-3 ウニ細胞アトラスプロジェクトを支える情報解析技術

Bioinformatics Technologies Supporting the Sea Urchin Cell Atlas Project

露崎 弘毅 Koki Tsuyuzaki (千葉大学・データサイエンスコア)

S12-4 海産無脊椎動物オミックスの共通基盤へ: バフンウニ発生 scRNA-seq データベースの構築

Toward a shared omics infrastructure for marine invertebrates : a developmental scRNA-seq database for Hemichordatus pulcherrimus

谷口 順子 Junko Yaguchi, 谷口 俊介 Shunsuke Yaguchi (筑波大学・生命環境・下田臨海)

S12-5 オミックス生物学時代の宝探し: シグナル分子・代謝・タンパク質複合体

Treasure Hunting in the Era of Omics Biology : Signaling Molecules, Metabolism, and Protein Complexes

渡邊 寛 Hiroshi Watanabe, グズマン クリスティーン Christine Guzman, 本郷 やよい

Yayoi Hongo (沖縄科学技術大学院大学・進化神経生物学ユニット)

S13

第2日目: 9月4日(金) 9:00~11:30

会場: E会場 (E302)

生理活性ペプチドが制御する無脊椎動物の多様な生命現象とその進化的洞察

Bioactive peptide signaling in invertebrates : diverse biological functions and evolutionary insights

オーガナイザー:

松原 伸 Shin Matsubara (サントリー生科財団・生有研)

竹田 典代 Noriyo Takeda (広島大学・院統合生命)

S13-1 クラゲ MIH 放出タイミングの多様化と光受容オプシンの多様性

Diversification of MIH release timing and photoreceptive opsins in jellyfish

竹田 典代 Noriyo Takeda¹, 橘井 瑠伽 Ruka Kitsui^{2,3}, 出口 竜作 Ryusaku Deguchi²(¹広島大学・院統合生命・統合生命, ²宮城教育大学・生物, ³東北大学・院農・水圏動物生理)

S13-2 ネマトステラ神経ペプチドの包括的同定と機能解析：刺胞動物におけるペプチド性応答機構の理解と起源の理解に向けて

Large-scale Identification and Functional Analysis of Nematostella Neuropeptides : Insights into the Origin and Roles of Peptidergic Response Mechanisms in Cnidarians

中村 亮太郎 Ryotaro Nakamura, 河野 ちひろ Chihiro Kawano, 渡邉 寛 Hiroshi Watanabe
(沖縄科学技術大学院大学・進化神経生物学ユニット)

S13-3 二枚貝のタイラギ神経節由来の新規ペプチドは卵成熟、精子運動の活性化および放卵・放精を誘起する

A novel peptide identified from visceral ganglia induces oocyte maturation, spermatozoa active motility, and spawning in the pen shell (*Atrina pectinata*)

船山 翔平 Shohei Funayama¹, 前田 雪 Yuki Hirano-maeda², 松本 才絵 Toshie Matsumoto¹,
小寺 義男 Yoshio Koder³ (¹水産研究・教育機構 水産技術研究所,
²水産研究・教育機構 水産資源研究所, ³北里大学 理学部物理学科 生命物理学講座)

S13-4 ホヤの種特異的ペプチド CiDR1 から生殖・発生制御の多様化を考える

Functional diversification of bioactive peptides in invertebrates : insights from the species-specific peptide CiDR1 in *Ciona robusta*

松原 伸 Shin Matsubara¹, 白石 慧 Akira Shiraishi¹, 大杉 知裕 Tomohiro Osugi¹, 笹倉 靖徳 Yasunori Sasakura², 川田 剛士 Tsuyoshi Kawada¹, 佐竹 炎 Honoo Satake¹
(¹サントリー生科財団・生有研, ²筑波大学・生命・下田臨海)

S13-5 甲殻類の眼柄ホルモン

Eyestalk hormones in crustacean

大平 剛 TSUYOSHI OHIRA (神奈川大・理)

S14

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：F会場（E308）

**生物はどのように人間活動に騙されるのか：表現型転換のスイッチ・ゲート・代謝基盤
How do organisms get fooled by human activities? : switches, gates, and metabolic foundations of phenotypic switching**

オーガナイザー：

宮 川 一 志 Hitoshi Miyakawa (宇都宮大学・バイオ)

S14-1 クサガメとミシシッピワニの比較解析から迫る温度依存型性決定の分子基盤

Molecular Basis of Temperature-Dependent Sex Determination : Insights from a Comparative Analysis of the Reeves' Turtle and the American Alligator

赤司 寛志 Hiroshi Akashi^{1,2}, 豊田 賢治 Kenji Toyota^{2,3}, 羽村 太雅 Taiga Hamura^{4,5},
宮川 信一 Shinichi Miyagawa² (¹駒澤大学・総合教育・自然科学,
²東京理科大学・先進工・生命システム, ³広島大学・院統合生命・生物資源, ⁴手作り科学館 Exedra,
⁵江戸川大学・情報教育研究所)

S14-2 ミジンコはどのように昆虫成長制御剤に騙されるのか：性決定ゲート機構のかく乱

How insect growth regulators deceive Daphnia : disruption of the sex-determination gate mechanism

宮川 一志 Hitoshi Miyakawa (宇都宮大学・バイオ)

S14-3 陸域 LC-PUFA 供給ノードとしてのトビムシ類：トビムシ LC-PUFA 合成経路の進化的変遷と温度応答性

Springtails as terrestrial sources of LC-PUFAs : Evolutionary transitions and temperature responsiveness of their LC-PUFA biosynthetic pathway

大原 裕也 Yuya Ohhara (静岡県立大学・食品栄養科学)

S14-4 PFAS 曝露による甲状腺ホルモン変換系のかく乱と神経発達への影響

Disruption of Thyroid Hormone Conversion by PFAS Exposure and Its Effects on Neurodevelopment

藤原 悠基 Yuki Fujiwara (群馬大学・院医・応用生理学)

S14-5 最長寿命齧歯類ハダカデバネズミが示す攪乱への頑健性

Robustness of the longest-lived rodent, the naked mole-rat, against biological perturbations

岡 香織 Kaori Oka, 三浦 恭子 Kyouko Miura (九州大学・院医・応用幹細胞)

S15

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：G会場（E310）

光利用システムの普遍性と局所性から捉える生命現象の多元的理解
Glocal Photobiology Illuminates the Multidimensional Nature of Life

オーガナイザー：

佐藤 恵太 Keita Sato（岡大・院医歯薬）
塚本 寿夫 Hisao Tsukamoto（神戸大・理）

S15-1 メダカの内分泌系から見つかった非視覚性光受容体の機能解析・応用利用とその他光受容体の解析への展望

Analyses of non-visual photoreceptors in medaka ; functional analysis and their possible applications

神田 真司 Shinji Kanda¹, 福田 彩華 Ayaka Fukuda², Rahmad Muhammad Royan^{1,3}, 佐藤 恵太 Keita Sato⁴（¹東京大学・大気海洋研究所, ²基礎生物学研究所・神経行動学研究部門, ³Norwegian University of Life Sciences, ⁴岡山大学・医歯薬学総合研究科）

S15-2 光による脊椎動物の季節認識システムの分子機構

Molecular mechanisms of the photoperiodic seasonal recognition system in vertebrates

中山 友哉 Tomoya Nakayama（名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所）

S15-3 発生期の光環境による線虫の口腔形態制御

Developmental light environment modulates mouth-form polyphenism in the nematode *Pristionchus pacificus*

平賀 裕邦 Hirokuni Hiraga^{1,5}, 小野寺 揚羽 Ageha Onodera¹, 甲斐 千夏 Chinatsu Kai², 中山 賢一 Kenichi Nakayama^{1,3}, 千原 崇裕 Takahiro Chihara^{1,4}, 奥村 美紗子 Misako Okumura^{1,4,5}（¹広島大学・院統合生命・生命医科, ²広島大学・理・生物, ³Johns Hopkins Univ., Sch. of Med., Dept. of Cell Biology, ⁴広島大学・院統合生命・基礎生物, ⁵東北大学・院生命・環境遺伝）

S15-4 光共生性無腸動物における行動と生理の適応戦略

Behavioral and Physiological Adaptation Strategies in Photosymbiotic Acoels

濱田 麻友子 Mayuko Hamada（岡山大学・臨海）

S15-5 脊椎動物の相同な視細胞タイプに共通するシス制御コード

Shared cis-regulatory codes in homologous vertebrate photoreceptor cell types

小川 洋平 Yohei Ogawa¹, Joseph, C. Corbo²（¹国立遺伝学研究所, ²ワシントン大学・医学部）

S15-6 光駆動 H⁺ポンプロドプシンを用いた細胞死誘導法の開発とがん治療への応用

Development of a cell death induction method using light-driven H⁺ pump rhodopsin and its application to cancer therapy

須藤 雄気 Yuki Sudo（岡山大学・院医歯薬）

S16

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：I会場（E319）

コントラリアン生物学：集団から逸脱するあまのじゃくは動物集団の変革と調和をどう駆動するか？
Contrarian Biology : How Do Individuals That Deviate from the Group Drive Collective Transformation and Stability?

オーガナイザー：

横井 佐織 Saori Yokoi（北大・院薬）

S16-1 情報的な優位さがもたらす集団内の個体のイレギュラーな振る舞いとその戦略性

Strategic Deviation within the Group : Individual Behavior Driven by Informational Advantage

西海 望 Nozomi Nishiumi（新潟大学・総合学術研究科・自然科学専攻）

S16-2 多様な個体間の相互作用が集団に及ぼす影響とその分子基盤

Molecular basis of collective antipredator performance emerging from diverse individuals

佐藤 大気 Daiki Sato^{1,2}（¹千葉大・国際高等, ²千葉大・院理）

S16-3 アリ社会における寿命の個体差から探る逸脱個体の存在と意義

Lifespan variation reveals contrarian individuals in ant societies

古藤 日子 Akiko Koto (産業技術総合研究所)

S16-4 メダカを用いた仲間意識を生み出す脳の機構を探る

Exploring the neural mechanisms underlying in-group preference in medaka

竹内 秀明 HIDEAKI TAKEUCHI (東北大学・院理・生命科学)

S16-5 ラットにおけるコントラフリーローディング現象の神経基盤の解明

Neural basis of contrafreeloading in rats

飯島 星南 Sena Iijima¹, 池谷 裕二 Yuji Ikegaya^{1,2}, 松本 信圭 Nobuyoshi Matsumoto^{1,2}(¹東京大学・院薬・薬品作用学, ²東京大学Beyond AI研究推進機構)

S16-6 未来予期最大化原理を用いたコントラリアン個体の起源

The Emergence of Contrarian Agents through Future Anticipation Maximization

新里 高行 Takayuki Niizato (筑波大学・システム情報系・知能機能システム専攻)

S17

第2日目: 9月4日(金) 9:00~11:30 会場: K会場 (S1)

深海洞窟の生物学～探査技術・多様性・進化～

Biology of Deep-Sea Caves: Exploration Technology, Biodiversity, and Evolution

オーガナイザー:

藤原 義弘 Yoshihiro Fujiwara (海洋研究開発機構・技術研究開発部門・海洋技術研究センター)

小枝 圭太 Keita Koeda (琉球大学・理学部・生物系)

千徳 明日香 Asuka Sentoku (琉球大学・理学部・地球環境系)

S17-1 深海洞窟—探査技術が切り拓く新しい生物学—

Deep-Sea Caves: Exploration Technologies Opening a New Frontier in Biology

藤原 義弘 Yoshihiro Fujiwara (海洋研究開発機構・技術研究開発部門)

S17-2 深海カルスト洞窟はイシサンゴ類の“箱舟”となるか?—大東諸島周辺海域における無藻性イシサンゴ類—

Are Deep-Sea Karst Caves an “Ark” for Scleractinian Corals? Azooxanthellate Scleractinian Corals from the Daito Islands Region

千徳 明日香 Asuka Sentoku, 白水 菜南子 Nanako Shiromizu (琉球大学・理学部・地球環境系)

S17-3 深海洞窟の内部を覗く～深海内視鏡と海中洞窟内設置カメラの開発～

Eyes into the Abyss: A Deep-Sea Endoscope and a Cave-Deployed Camera

大野 敦生 Atsuo Oono, 増田 殊大 Kotohiro Masuda, 横岡 博之 Hiroyuki Yokooka

(いであ株式会社・外洋調査部)

S17-4 深海洞窟探査を目的とした小型 ROV「DroSea (ドロシー)」の開発と実海域運用

Development and Field Operation of the mini ROV “DroSea” for Deep-Sea Cave Exploration

伊藤 昌平 Shohei Ito (株式会社FullDepth)

S17-5 D-ARK プロジェクトで発見された深海性小型マクロベントスの多様性と新奇生態

Hidden diversity and novel ecology of deep-sea small macrobenthos from the D-ARK Project

波々伯部 夏美 Natsumi Hookabe¹, 下岡 敏士 Satoshi Shimooka², 白木 祥貴 Shoki Shiraki³,横岡 博之 Hiroyuki Yokooka⁴, 自見 直人 Naoto Jimi² (¹海洋研究開発機構・生命地球科学,²名古屋大学・菅島臨海, ³北海道大学・理, ⁴いであ株式会社)

S17-6 ダメサンゴに共生するウファガリアアカサンゴスナギンチャクとその生物発光について

Glow in the D-ARK: a bioluminescent species of Corallizoanthus from southern Japan

喜瀬 浩輝 HIROKI KISE¹, 別所一上原 学 Manabu Bessho-Uehara², 近藤 拳太 Kenta Kondo³,下地 紀子 Kiko Shimoji³, 伊藤 昌平 Shohei Ito⁴, 土田 真二 Shinji Tsuchida⁵, 藤原 義弘Yoshihiro Fujiwara⁵, James D Reimer³ (¹産業技術総合研究所, ²東北大学, ³琉球大学,⁴株式会社FullDepth, ⁵海洋研究開発機構)

S17-7 深海洞窟でみられた魚類の多様性—魚類相が示す海洋島生物地理のつながり

Diversity of fishes observed in deep-sea caves : fish fauna reveals biogeographic connections among oceanic islands

小枝 圭太 Keita Koeda, 佐藤 真央 Mao Sato (琉球大学・理学部・生物系)

S17-8 深海洞窟から環境 DNA をうまく採るには？

Environmental DNA collection from deep-sea caves

河戸 勝 Masaru Kawato¹, 吉田 尊雄 Takao Yoshida²

(¹国立研究開発法人海洋研究開発機構・技術研究開発部門・海洋技術研究センター・観測技術研究グループ, ²国立研究開発法人海洋研究開発機構・生命地球科学研究部門・海洋生命圏研究プログラム)

S17-9 深海洞窟探査プロジェクト「D-ARK」のアウトリーチと水族館における飼育展示の一例

Public outreach and Live Exhibition for a Deep-Sea Cave Exploration Project D-ARK : A Case Study

八巻 鮎太 Ayuta Yamaki¹, 鳴島 ひかり Hikari Narushima² (¹新江ノ島水族館, ²海洋研究開発機構・海洋技術研究センター・観測技術研究グループ)

S18

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：L会場（S2）

あなたの体は誰のもの？延長された表現型としての操作と共生

Who Owns Your Body? Extended Phenotypes in Parasitism and Symbiosis

オーガナイザー：

豊田 賢治 Kenji Toyota (広島大・統合生命)

木矢 剛智 Taketoshi Kiya (金沢大・理工・生命)

高田 悠太 Yuta Takada (産総研)

S18-1 「宿」を作るイソギンチャクとの共生により大型化したヤドカリ

Body Size of Hermit Crabs in Association with Shell-Producing Sea Anemones

吉川 晟弘 Akihiro Yoshikawa

(熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 沿岸環境部門 (合津マリンステーション))

S18-2 フクロムシによる寄生で変化するイワフジツボの繁殖戦略：雌雄同体宿主における寄生の影響

Rhizocephalan parasitism alters the reproductive strategy of the hermaphroditic barnacle Chthamalus challenger

為近 昌美 Masami Tamechika¹, 關野 正志 Masashi Sekino², 遊佐 陽一 Yoichi Yusa³

(¹北海道大学・院水産, ²国立研究開発法人・水産研究・教育機構, ³奈良女子大学・理)

S18-3 大規模自切を引き起こす？囊舌類ウミウシにおけるカイアシ類の寄生

Parasitism of copepods in sacoglossan sea slugs that is suspected to induce extreme autotomy

三藤 清香 Sayaka Mitoh (奈良女子大学・STEAM・融合教育開発機構)

S18-4 相利共生がもたらす新奇な行動：カメムシの後脚を用いた細菌垂直伝達

Novel behavior underlying mutualistic symbiosis : vertical transmission of bacteria via stinkbug hindlegs

森山 実 Minoru Moriyama (産総研・MolBis)

S18-5 土壌微生物はいかにして昆虫を変えるか

How do soil microbes transform insects?

菊池 義智 Yoshitomo Kikuchi (産総研・BPRC・生物共創制御)

S18-6 寄生蜂ニホンアソバラコマユバチの生存戦略と宿主ショウジョウバエの応答機構

Hijacking strategies of the parasitoid wasp Asobara japonica and host responses in Drosophila melanogaster

島田 裕子 Yuko Shimada (筑波大学・生存ダイナミクス研究センター)

K1

第1日目：9月3日（木） 12：00～13：00 会場：H会場（E311）

若手交流会 将来計画委員会・男女共同参画委員会合同 キャリアパス問題小委員会 Rising Scholars' Gathering

オーガナイザー：

守田 昌哉 Masaya Morita（琉球大・熱生研）

若手研究者同士が主体的につながり、学び合い、支え合うコミュニティ形成を目指した交流会を開催します。学部学生から大学院生、ポスドクまで、研究分野や所属を越えて交流し、研究の魅力や悩み、キャリアに関する経験を共有する機会です。若手研究者が自らネットワークを広げ、新たな共同研究や挑戦につながるきっかけとなることを期待しています。

皆さまのご参加をお待ちしています。

K2

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：E会場（E302）

第44回ホヤの生物学談話会 44th the biology of ascidian

オーガナイザー：

中村 啓哉 Hiroya Nakamura（岩手医科大学・医・病理）

K2-1 ホヤにおける卵黄膜動態と自家不和合性の種間比較

Interspecies comparison of vitelline coat dynamics and self-incompatibility in ascidians

花崎 可奈 Kana Hanazaki¹, 金城 敬太 Keita Kinjo², 佐野 まどか Madoka Sano², 岡地 凜 Rin Okaji³, 社家間 太郎 Taro Shakema⁴, 泉水 奏 Noburu Sensui⁵, 齋藤 貴子 Takako Saito^{1,2}
 (¹岐阜大学・院連合農学・生物生産科学, ²静岡大学・院総合科学技術・農,
³琉球大学・院理工・海洋自然科学, ⁴東海アクアノーツ, ⁵琉球大学・医・人体解剖学)

K2-2 ナツメボヤ科ホヤは日本のモデル生物となりうるか？

Can ascidians of the family Ascidiidae serve as model organisms in Japan?

Risa Aoki¹, 高田 晨生 Akio Takada¹, 紫藤 拓巳 Takumi Shito², 堀田 耕司 Kohji Hotta¹
 (¹慶應大・理工・生命情報, ²琉球大・理学部)

K2-3 浅虫におけるマボヤ (*Halocynthia roretzi*) を主とした尾索動物の比較発生学的研究への利用：尾索動物胚における生殖細胞系列の転写抑制機構の多様化

Use of *Halocynthia roretzi* and Other Tunicates in Comparative Developmental Biology at Asamushi : Diversification of Germline-Specific Transcriptional Repression Mechanisms in Tunicate Embryos

宮澤 由真 Yuma Miyazawa^{1,2}, 齋藤 貴子 Takako Saito⁴, 森田 俊平 Shumpei Morita^{1,2,3},
 熊野 岳 Gaku Kumano^{1,2} (¹東北大学大学院生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター,
²東北大学変動海洋エコシステム高等研究 (WPI-AIMEC), ³お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所,
⁴静岡大学農学部応用生命科学科)

K2-4 イタボヤ類の芽体形成と配偶子形成

Budding and Gametogenesis in Botryllid Ascidians

砂長 毅 Takeshi Sunanaga（高知大学・理工・化学生命理工）

K2-5 様々な棘皮動物から五放射性の発生機構を探る

Investigating the developmental mechanisms of pentameric symmetry using various echinoderms

宇田川 澄生 Sumio Udagawa（お茶大・湾岸）

K3

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：I会場（E319）

群体性動物のはなし
The Story of Colonial Animals

オーガナイザー：

山口 悠 Haruka Yamaguchi（お茶の水大・臨海）
小口 晃平 Kohei Oguchi（東大・院理・臨海）
広瀬 雅人 Masato Hirose（沖縄美ら島財団・総合研究所）

- K3-1 群体とは何か：イシサンゴ類にみる個体と群体のあいだ
What Is a Colony? Between Solitary and Colonial Forms in Scleractinian Corals
千徳 明日香 Asuka Sentoku（琉球大学・理学部・地球環境系）
- K3-2 ウミエラ上科における統合的な多様性研究
Integrative studies on diversity in pennatuloids
櫛田 優花 Yuka Kushida^{1,2}（¹鹿児島大学・院理，²産業技術総合研究所）
- K3-3 群体は眠らずに働き続けられるのか？—コケムシの群体内での同調性を例として—
Can a colony remain active without sleep? Insights from synchronization in bryozoan colonies
広瀬 雅人 Masato Hirose（沖縄美ら島財団・総合研究所）
- K3-4 苔虫動物における防衛個虫「鳥頭体」の形成に関わる遺伝子の同定と、その進化的考察
Identification and evolutionary implications of avicularium formation genes in bryozoans
山口 悠 Haruka Yamaguchi¹，宇田川 澄生 Sumio Udagawa¹，小口 晃平 Kohei Oguchi²，
林 良信 Yoshinobu Hayashi³，福田 和也 Kazuya Fukuda⁴，広瀬 雅人 Masato Hirose⁵，
三浦 徹 Toru Miura²（¹お茶大・湾岸，²東大・院理・臨海，³慶應大・法・生物学教室，
⁴北里大・海洋生命科学部，⁵沖縄美ら島財団・総合研究所）
- K3-5 群体特異性
Colony specificity
広瀬 裕一 Eiichi Hirose（琉球大・理・海洋自然）

K4

第1日目：9月3日（木） 16：00～18：30 会場：K会場（S1）

行動を駆動する内部状態：昆虫から学ぶ内部状態の動的制御と人工物設計
Dynamic control of internal states : Bridging the gap between biology and engineering

オーガナイザー：

青沼 仁志 Hitoshi Aonuma（神戸大学・院理・生物学専攻）

- K4-1 行動を駆動する内部状態：昆虫の内部状態の変容と脅威応答
Dynamic control of internal states : Internal state of insects and threat response
青沼 仁志 Hitoshi Aonuma（神戸大学・院理・生物学専攻）
- K4-2 花との相互作用が駆動する小さなショウジョウバエの資源獲得戦略
Resource acquisition strategies of a small fly mediated by flower interactions
山崎 遥 Haruka Yamazaki¹，林 優人 Yuto Hayashi²，桂 宗広 Munehiro Katsura²，
佐々木 悠真 Yuma Sasaki³，青沼 仁志 Hitoshi Aonuma⁴，白武 勝裕 Katsuhiko Shiratake³，
石川 由希 Yuki Ishikawa¹（¹筑波大学・生命環境系，²名古屋大学・生命理学，
³名古屋大学・生命農学，⁴神戸大学・理学）
- K4-3 内部状態が駆動するナナフシのナビゲーションと歩行制御戦略を探る多感覚 VR プラットフォーム
A Multisensory VR Platform for Exploring Internal-State-Driven Navigation and Locomotor Control in Stick Insects
大脇 大 Dai Owaki¹，志垣 俊介 Shunsuke Shigaki²，青沼 仁志 Hitoshi Aonuma³
（¹東北大学・工学研究科・ロボティクス専攻，²国立情報学研究所・情報学原理研究系，
³神戸大学・理学研究科）

- K4-4 身体状態変化に応じた昆虫の匂い源定位戦略の再構成
Body-State-Dependent Reconfiguration of Odor Source Localization Strategies in an Insect
志垣 俊介 Shunsuke Shigaki (国立情報学研究所・情報学プリンシプル研究系)

- K4-5 内部状態制御最適化に基づく人工モデル生物の構成可能性
Toward artificial model animals through internal state control
吉田 尚人 Naoto Yoshida (京都大学・情報学研究科)

K5

第2日目：9月4日（金） 9：00～11：30 会場：H会場（E311）

動物学的再生研究のリフレーミング Reframing of Regeneration Biology in Japan

オーガナイザー：

佐 藤 伸 AKIRA SATOH (岡山大学・環境生命自然)

- K5-1 皮膚真皮I型コラーゲン再生機構の解明
Regenerative Mechanisms of Dermal Type I Collagen Structure
大蘆 彩夏 Ayaka Ohashi (岡山大学・院環境生命自然科学)

- K5-2 イモリの精巣再生機構
testicular regeneration in newts
竹原 舞 Mai Takehara^{1,2}, 客野 瑞月 Mitsuki Kyakuno³, 本田 瑞季 Mizuki Honda¹,
佐藤 幸夫 Yukio Sato⁵, 竹内 隆 Takashi Takeuchi⁵, 大川 恭行 Yasuyuki Okawa⁶, 沖 真弥
Shinya Oki⁴, 今村 拓也 Takuya Imamura¹, 林 利憲 Toshinori Hayashi^{1,2}
(¹広島大学・統合生命・生命医科学, ²広島大学・両生類研究センター, ³島根大学・生物資源科学,
⁴熊本大学・生命資源研究・支援センター, ⁵鳥取大学・医学部・生命科学科,
⁶九州大学・生体防御医学研究所)

- K5-3 ゼブラフィッシュ胸鰭内骨格における発生段階依存的な再生能力低下のエピジェネティック
制御要因の解析
Epigenetic Regulatory Mechanisms Underlying the Decline in Regenerative Capacity of the Zebrafish Pectoral Fin
Endoskeleton
村上 天悠 Takaya Murakami, 上坂 将弘 Masahiro Uesaka, 田村 宏治 Koji Tamura
(東北大学大学院・生命科学研究所)

- K5-4 ライブイメージングから探るプラナリアの傷口閉鎖動態と再生芽形成メカニズム
Live imaging of wound-closure dynamics : Implications for the planarian blastema formation mechanism
鹿谷 有由希 Yuuki Shikya, 林 隆翔 Takato Hayashi, 木村 成貴 Shigeki Kimura, 越坂 陽彩
Hero Ossaka, 梅園 良彦 Yoshihiko Umesono (兵庫県立大学・院理・生命科学)

- K5-5 アホートルの再生能力を制御するエピゲノム・クロマチンの制御システムの研究
Deciphering chromatin regulatory mechanisms underlying axolotl regeneration
川口 茜 Akane Kawaguchi (国立遺伝学研究所 分子生命史研究室)

- K5-6 指の形態形成とその多様性を司る細胞プログラムの解明
Cellular programs underlying digit tissue morphogenesis and its divergence
堤 璃水 Rio Tsutsumi^{1,2}, Antoine Diez³, Steffen Plunder¹, 濱寄 裕介 Yusuke Hamazaki^{1,2},
永樂 元次 Mototsugu Eiraku² (¹京都大学・高等研究院・ヒト生物学高等研究拠点,
²京都大学・医生物学研究所, ³理研・iTHEMS)

第26回男女共同参画懇談会 ランチョン企画 ワーク・ライフ・バランスを考える The 26th ZSJ Meeting on Equal Participation of Men and Women in Science : "Thinking about Work-Life Balance"

オーガナイザー：

廣 瀬 慎美子 Mamiko Hirose（国立科学博物館・動物）

渡 辺 明 彦 Akihiko Watanabe（山形大・理）

中 内 祐 二 Yuni Nakauchi（山形大・理）

日本動物学会男女共同参画委員会は2001年に事業を開始し、これまで男女共同参画学協会連絡会への参加や大規模アンケートの解析を行ってきました。動物学会年次大会においてはランチョンセミナー（懇談会）を毎年開催し、札幌大会では26回目を迎えます。第14回（2014年仙台大会）からはグループディスカッション取り入れ、性別や分野、また職位や学年を問わず特定のテーマに小グループに分かれて語り合う形式を続けてきました。様々な制度が施行され、オンラインとオフラインの併用など、働き方も変わってきました。初期の頃から参加されている方は置かれている状況や直面する問題も変わってきたと思います。一方、これからのキャリアについて生の声の情報があればいいと思っている方もおられるでしょう。同じ悩みを抱えている人や、それを乗り越えてきた先輩方と意見を交換することで新たな解決の糸口を見つけられるようになるかもしれません。現在私たちが置かれている状況を把握し、課題に向けて新たな解決策を考えていきたいと思います。

手短な話題提供の後、前回のディスカッションの様子について紹介します。キャリアパス小委員会と連携し、「勤務地（キャリアパス）と日々の生活（キーワード：キャリアパス、単身赴任/共働き）」、「働き方と日々の生活（キーワード：テレワーク、育児、介護）」、「研究と日々の生活（キーワード：研究、授業、学務、アルバイト）」など横断的なキーワードをヒントに少人数でグループディスカッションを展開したと思います。

会員の皆様がより良いワーク・ライフ・バランスを実現するためにどのように工夫しているのか、年齢や職種、性別に関わらずざっくばらんに意見を出し合えたらと考えております。お子様連れで参加できます。学生の方の参加も多いに歓迎いたします。

プログラム

1. キャリアパスとワークライフバランス
2. 前回のグループディスカッションの報告
3. グループディスカッション：ワーク・ライフ・バランスを考える～研究を無理なく続けるためのコツ～

第3日目：9月5日（土） 12：00～13：00 会場：B会場（N2）

中山人間科学振興財団/中山書店 共同開催
中山人間科学振興財団創立 35 周年記念
《動物系統分類学》ランチョンセミナー
—なぜ今《動物系統分類学》なのか—

総合司会：

児島 誠（中山書店 Director）

1999 年完結の母巻（全 10 巻 24 冊 + 追補版）から四半世紀の時を経て、今般《動物系統分類学 Systematic Zoology（全 1 巻）》を上梓いたしました。このたび「日本動物学会第 97 回札幌大会 2026」が北大キャンパスにて開催されます機会に、全 1 巻の《動物系統分類学》の紹介を兼ねたランチョンセミナーを開催いたします。いうまでもなく、北大は《動物系統分類学》監修者の内田亨先生、山田真弓先生の両碩学のお二方に大変なご指導を賜ったそのお膝元でもあります。絶妙な引合せの因縁を感じさせられます。

なお、演者には、生物学の泰斗である池田清彦先生ならびに新刊の編集を代表して伝統ある北海道大学大学院生物科学部門教授の柁原宏先生が、新旧に互る《動物系統分類学》にまつわるエピソードや研究内容を講演されます。

演者：

主催者を代表して平田 直（中山書店代表取締役社長）がご挨拶

1961 年から約 40 年をかけて全 10 巻 24 冊を完成した《動物系統分類学》出版の経緯やエピソードを紹介。

池田 清彦（早稲田大学名誉教授/山梨大学名誉教授）

1999 年に完結した母巻出版の意義を「今なお学問的価値・輝きを損なわない理由」で講演。

柁原 宏（北海道大学大学院理学研究院教授）《動物系統分類学》編集代表

新刊『動物系統分類学』を鳥観図風に紹介。母巻完結からおおよそ四半世紀の間の研究成果を進化生物学(Evo-Devo)、古生物学などを含めて、いかに新たな動物系統分類学の体系を構築したかを編集の苦労話や舞台裏を織り交ぜて披露。

一般口演発表 日程表

一般口演 発表会場	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場
部屋番号	N1	N2	E201	E301	E302	E308
9月3日(木) 1日目午前 9:00 } 12:00	行動 1A0900 } 1A1145	行動 1B0900 } 1B1145	生理 1C0900 } 1C1145	生理 1D0900 } 1D1145	内分泌 1E0900 } 1E1145	形態 1F0900 } 1F1145
9月3日(木) 1日目午後 13:00 } 16:00	行動 1A1300 } 1A1530	行動/ 発生 1B1300 } 1B1530	生理 1C1300 } 1C1530	生理 1D1300 } 1D1530	内分泌 1E1300 } 1E1530	形態 1F1300 } 1F1530
9月5日(土) 3日目午前 9:00 } 12:00	行動 3A0900 } 3A1145	発生 3B0900 } 3B1130	生理 3C0900 } 3C1145	生理 3D0900 } 3D1145	内分泌 3E0900 } 3E1130	形態 3F0900 } 3F1145
9月5日(土) 3日目午後 13:00 } 16:00	行動 3A1300 } 3A1545	発生/ 新興・複合 3B1315 } 3B1545	生理 3C1300 } 3C1515	生理 3D1300 } 3D1515	分類・系統 3E1300 } 3E1500	形態/ 分類・系統 3F1300 } 3F1545

G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	K 会場	L 会場
E310	E311	E319	E315	S1	S2
発生 1G0900 } 1G1145	遺伝 1H0900 } 1H1145	細胞 1I0900 } 1I1145	生態 1J0900 } 1J1145	発生 1K0900 } 1K1145	発生 1L0900 } 1L1145
発生 1G1300 } 1G1530	分類・系統 1H1300 } 1H1530	その他 1I1300 } 1I1515	生化学 1J1300 } 1J1530	発生 1K1300 } 1K1530	発生 1L1300 } 1L1530

発生 3G0900 } 3G1145	遺伝 3H0900 } 3H1145	細胞 3I0900 } 3I1145	生態 3J0900 } 3J1145	発生 3K0900 } 3K1145	発生 3L0900 } 3L1145
発生 3G1300 } 3G1545	遺伝 3H1300 } 3H1545	細胞 3I1300 } 3I1545	生態/ 生化学 3J1300 } 3J1530	発生 3K1300 } 3K1545	発生 3L1300 } 3L1545

一般口演発表◇第1日目 9月3日(木)

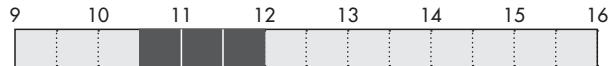
	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
9:00	1A0900 ほ乳類 行動 マウスにおけるシスプラチン誘発性吐き気様状態の多面的行動評価モデルの確立 ○藤居 怜那, 近藤 誠 (大阪公立大学・医学研究科・脳神経機能学)	1B0900 昆虫類 行動 カマキリの餌持ち替え行動では前肢への荷重が重要か?~両前肢運動の三次元運動解析および SEM による触覚感覚子の分布パターンの観察~ ○吉光 俊輔, 山脇 兆史 (九州大学・院システム生命科学・システム生命科学専攻)	1C0900 ほ乳類 生理 マウス中枢への LPS 投与は、全身性サイトカインを上昇させるが、敗血症様低体温の誘導には至らない ○蓮池 秀斗, 宮田 清司, 吉村 亮一 (京都工芸繊維大学大学院応用生物学専攻 生体機能学研究室)	1D0900 尾索動物 生理 マボヤ幼生神経系の SBF-SEM 解析 ○西野 敦雄, 大石 竜誠, 西野 純子, 岡村 康司, 大野 伸彦, 岩崎 広英 (弘前大学・農学生命・生物)	1E0900 ほ乳類 内分泌 インスリン欠乏下における視床下部分泌性小タンパク質 NPGI の肥満促進作用の解明 ○成松 勇樹, 岩越 栄子, 岡田 俊介, 谷津田 千理, 古満 芽久美, 浮穴 和義 (広島大・院統合生命)	1F0900 その他 形態 酸処理による共生性無腸動物の部分白化現象の解析 ○三好 由珠, 中村 結菜, 坂上 登亮, 安藤 元紀 (岡山大学・院教育・細胞生理)
9:15	1A0915 ほ乳類 行動 全個体自動追跡で解き明かす真社会性ハダカデバネズミの社会構造 ○山川 真徳, 江崎 貴裕, 度会 晃行, 香掛 展之, 三浦 恭子, 奥山 輝大 (九州大学・院医, 熊本大学・院生命)	1B0915 甲殻類 行動 エビヤドリムシ類による宿主甲殻類の浸透圧調整を介した行動操作 ○山田 賢治 (広島大学・統合生命, 神奈川大学・総研研, 東京理科大学・先進理工)	1C0915 ほ乳類 生理 哺乳類メラノプシンを用いた、光と化学物質で活性制御ができる操作ツールの開発 ○加藤 佑理, 尾林 虹兵, 塚本 寿夫 (神戸大学・院理・生物)	1D0915 尾索動物 生理 カタウレイボヤ芳香族炭化水素受容体における分子機能と発現局在の解析 坂井 孝嘉, 矢澤 隆志, 今道 力敬, 生田 統悟, 藤原 遥香, 川守田 博基, 笹倉 靖徳, 和田 修一, 小笠原 道生, 関口 俊男 (金沢大・環日・臨海)	1E0915 ほ乳類 内分泌 RUNX2 は E2/ERα シグナリング下で Caspase 発現を制御しマウス濾胞閉鎖抑制に関与する ○川森 駿弥, 荻原 克益 (北海道大学・院生命)	1F0915 その他 形態 無腸動物 <i>Praesagittifera naikaiensis</i> を用いた ASD 関連転写調節因子の解析に依存するその変化 ○藤田 愛衣, 中村 結菜, 坂上 登亮, 安藤 元紀 (岡山大学・院教育・細胞生理)
9:30	1A0930 鳥類 行動 自発行動と性ホルモンの共相互作用による学習臨界期制御の神経分子基盤の解明 ○張 恒, 田路 矩之, 和多 和宏 (北海道大学・Graduate School of Life Science)	1B0930 甲殻類 行動 寄生性フジツボ類フサフクロムシにおける性特異的な宿主定着機構 ○梶本 麻未, 豊田 賢治, 大平 剛 (神奈川大学・理, 広島大学・統合生命)	1C0930 ほ乳類 生理 マウス脳室周囲器官における LPS 誘発 IL-1β 応答の時空間的動態および細胞多様性 ○妹尾 諒馬, 榮村 はる香, 宮田 清司, 吉村 亮一 (京都工芸繊維大学大学院・応用生物学専攻・生体機能学研究室)	1D0930 尾索動物 生理 ホヤ幼生のアンテナ細胞は重力応答の遊泳方向づけに必要である ○一寸木 明日香, 谷本 昌志, 東島 真一, 笹倉 靖徳, 森田 俊平, 日下部 岳広, 堀江 健生, 佐藤 ゆたか (大阪大学・院・生命機能)	1E0930 ほ乳類 内分泌 IDENTIFICATION OF KEY OVULATION ENZYMES AND THEIR REGULATION DURING OVULATION IN MOUSE OVARY ○Khanhvan VO, Katsueki OGIWARA (Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ)	1F0930 その他 形態 共生性無腸動物における陰イオン輸送体の発現と光共生に依存するその変化 ○中村 結菜, 池田 理佐, 坂上 登亮, 安藤 元紀 (岡山大学・院教育・細胞生理)
9:45	1A0945 鳥類 行動 行動文脈の違いによるジュウシマツ成鳥のさえずりの調整と聴覚フィードバック ○渡辺 愛子, 百元 伶, 佐藤 亮平, 宮本 武典, 藤原 宏子 (日本女子大学・理・化学生命)	1B0945 甲殻類 行動 スマエビの逃避行動のハイスピード撮影とトラッキング ○前田 彩花, 加賀谷 勝史 (北見工業大学・院工・機械電気工学)	1C0945 ほ乳類 生理 有袋類に着目した哺乳類における非視覚オプシン Opn3 の分子特性の多様性に関する解析 ○中村 未南, 高草 大悟, 佐藤 龍, 杉原 智博, 寺北 明久, 小柳 光正 (大阪公立大学・院理・生物学)	1D0945 棘皮動物 生理 イトマキヒトデの体腔細胞は腸断片の形成を通じて分散型情報処理ネットワークを構築する ○南方 宏太, 亀谷 匠都, 田口 瑞姫, 古川 亮平 (慶應義塾大学大学院・理工学研究科)	1E0945 ほ乳類 内分泌 スクンス小腸運動におけるセロトニン (5-HT) の役割 ○下沢 萌月, 坂田 一郎 (埼玉大学・院理工・生命科学)	1F0945 その他 形態 クシクラゲの表皮微細構造と光学特性 ○広瀬 裕一, 酒井 大輔, 垣内田 洋, 池田 周平, 奥泉 和也, 西川 淳 (琉球大学・理・海自)
10:00	1A1000 鳥類 行動 キンカチョウの「夜明けのコース」様行動の社会的文脈による違い ○小島 哲, Sanker Remya, Ednei dos Santos, 森 千紘, Yunbok Kim (韓国脳研究科・感覚運動システム)	1B1000 甲殻類 行動 東シナ海における深海性スカベンジャー・オオグソクムシのプラスチック誤食 ○和泉 匠真, 田中 章吾, 八木 光晴 (長崎大学大学院・総合生産科学研究科・総合生産科学専攻・共生システム科学コース・水産生物資源分野)	1C1000 ほ乳類 生理 老化耐性細菌類ハダカデバネズミにおける皮膚色変化を規定する要因と白色化メカニズムの解析 ○中本 万貴, 山川 真徳, 山崎 理子, 河村 佳見, 鄒 兆南, 沖 真弥, 岡 香織, 三浦 恭子 (九州大学・院医・長寿幹細胞)	1D1000 昆虫類 生理 視覚刺激の消失はアリにどう知覚されるか:トレッドミルと実環境の比較 ○崎山 朋子, 高原 明博, 橋本 竜馬 (創価大学・理工・情報システム工)	1E1000 ほ乳類 内分泌 ERβKO マウス卵巣における卵母細胞一細胞膜細胞間構造の解析 ○寺岡 志保, 武田 博香, 中島 忠章, 佐藤 友美 (横浜市立大学大学院・生命ナノシステム科学研究科・生命環境システム科学専攻)	1F1000 原生動物 形態 有糸分裂阻害剤が太陽虫 <i>Actinophrys sol</i> の生存率および代謝活性に与える影響 ○近石 優樹, 中川 葉萌, 中村 結菜, 池田 理佐, 坂上 登亮, 安藤 元紀 (岡山大学・院教育・細胞生理)
10:15	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間
10:30						

G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
1G0900 ほ乳類 発生 ヒト PRSS 遺伝子座における精巢特異的な新規長鎖非コード RNA の同定 ○飯島 弘太、柴山 竜三郎、藤森 千加、木村 敦 (北大・院生命科学・生命システム科学)	1H0900 ほ乳類 遺伝 群馬県に生息するニホンジカの mtDNA d-loop 領域を用いた遺伝的多型解析 ○平井 はるな、松本 菜月、田中 和明、姉崎 智子 (麻布大学・獣医学研究科・動物応用科学専攻・動物工学)	1I0900 その他 細胞 種を超えて OGR1 の微量金属感知を担うヒスチジン残基の同定 ○立原 瞭、小池 莉緒、太刀野 愛実、荒瀬 礼奈、戸村 秀明 (明治大学・院農・生命科学)	1J0900 刺胞動物 生態 短期間に繰り返される白化がミドリイシ属サンゴの生殖発達に及ぼす影響 ○廣瀬 慎美子、高無 健人、畑中 恭士郎、村上 智一、中村 雅子 (国立科学博物館・動物、東海大・ORRC)	1K0900 刺胞動物 発生 ミズクラゲにおいて性特異的に発現する遺伝子の同定 ○池原 正恒、植木 龍也、高村 克美 (福山大学・院・工学研究・生命工学)	1L0900 ほ乳類 発生 マウス精子のアクロゾーム領域に局在する TSPAN13 の解析 ○政 智寿、金子 たかね (九州産業大学・生命科学・生命科学)
1G0915 ほ乳類 発生 Sall1/4 はマウス洞房結節形成に関与する ○小杉 俊介、片野 亘、小柴 和子 (東洋大学・院・生命科学)	1H0915 ほ乳類 遺伝 ネコ PKD1 遺伝子の多様な転写産物の機能と多発性嚢胞腎発症機序の解明に向けて ○田中 眼磨、坂本 尚昭、栗津 咲紀 (広島大学・院統合生命・数理生命科学)	1I0915 その他 細胞 運動性繊維内部タンパク質「MIA 複合体」の機能解明 ○根本 さくら、山本 遼介、昆 隆英 (大阪大学・院理・生物学)	1J0915 刺胞動物 生態 フクロクジュクラゲ <i>Alatina alata</i> (刺胞動物門・箱虫綱・アンドンクラゲ目) のポリプの日本発記録、ならびに世界初の成長記録の報告 ○泉 貴人、佛門 あや、戸篠 祥、池田 周平、野添 裕一、今村 七海、山本 岳、水上 雅晴 (福山大学・生命工・海洋)	1K0915 刺胞動物 発生 陸奥清産ミサキコモチエダクラゲ (<i>Proboscicactyla ornata</i>) の温度上昇による無性生殖から有性生殖への転換機構 ○宮澤 由真、福森 啓昌、森田 俊平、熊野 岳 (東北大学大学院生命科学研究所 附属浅虫海洋生物学教育研究センター、東北大学変動海洋エコシステム高等研究 (WPI-AIMEC))	1L0915 ほ乳類 発生 齧歯類精子における4回膜貫通型タンパク質 MS4A5 の解析 ○矢津田 双葉、岩森 巨樹、古島 波音、佐伯 美幸、金子 たかね (九州産業大学・生命科学・生命科学)
1G0930 ほ乳類 発生 着床期以降のマウス初期胚発生における4型コラーゲンの機能解析 ○東 加奈子、上田 陽子、持田 京子、ギャルソン 淳子、松野 千浩、別所 康全、木村 吉田 千春、松尾 勲 (大阪母子医療センター、奈良先端科学技術大学院大学)	1H0930 ほ乳類 遺伝 ニホンカモシカのミトコンドリア DNA 型の全国調査 ○田中 和明、安藤 正規、佐藤 礼一郎、姉崎 智子、北村 淳一、中村 圭太 (麻布大学・獣医)	1I0930 その他 細胞 クライオ電顕データを利用したクシクラゲ櫛板繊維軸系の3次元構造予測 ○岩本 裕之、横屋 稜、大岩 和弘、稲葉 一男 (大阪大・蛋白質)	1J0930 軟体動物 生態 海洋酸性化による二枚貝幼生の原殻形成への影響 ○清水 啓介、木元 克典、脇田 昌英 (海洋研究開発機構)	1K0930 扁形動物 発生 プラナリア <i>Dugesia</i> 属の実験的有性化における共通性と独自性 ○片山 禪明、近藤 恵都、木村 明日香、熊谷 信是、古川 亮平、小林 一也 (弘前大学・農学生命科学部)	1L0930 ほ乳類 発生 心筋特異的 Baf60c 過剰発現がマウス心筋に及ぼす影響 ○中山 留菜、佐々木 駿、水野 ありさ、小柴 和子 (東洋大学・院・生命科学)
1G0945 ほ乳類 発生 Prom1 による成体マウス脊髄損傷後の上気細胞増殖制御 ○篠塚 琢磨、笹井 紀明 (奈良先端大学院大学・バイオサイエンス)	1H0945 鳥類 遺伝 異種間 F1 及び、戻し交配及び混合交雑系ハイブリッド・ソングバードが生成する歌時間的特性 ○佐野 綾香、田路 矩之、西村 和紗、和多 和宏 (北海道大学・生命科学)	1I0945 原生動物 細胞 新規クラミドモナス遊泳軌跡異常株の解析 佐伯 泰知、千葉 星弥、斎藤 玲奈、岩本 宏太、○八木 俊樹 (県立広島大・生物資源・生命環境)	1J0945 軟体動物 生態 深海化学合成性二枚貝シロウリガイ類の殻から、その生活を復元する ○渡部 裕美、山本 志乃、西田 梢、安田 仁奈、スピサラー ビビクン、長岡 圭、サンゲカー メフル (海洋研究開発機構)	1K0945 軟体動物 発生 細胞質分裂阻害実験による腹足類の初期発生における細胞運命決定特異化メカニズムの研究 ○久保 凜子、守野 孔明、和田 洋 (筑波大学・生物学学位プログラム)	1L0945 ほ乳類 発生 新規卵子成熟培養液及び胚培養液を用いた高性能ウシ胚培養システムの開発 ○荻野 悠太、高倉 啓、坂原 聖士、星 翼、黒谷 玲子、星 宏良、阿部 宏之 (山形大学・院理工・化学・バイオ工学)
1G1000 ほ乳類 発生 心臓の性差に関わる CRMPs の機能解析 ○門脇 伊吹、片野 亘、金子 (大谷) 律子、井関 祥子、竹内 純、小柴 和子 (東洋大学大学院・生命科学研究所)	1H1000 両生類 遺伝 絶滅危惧種ハナサキガエルの集団構造と遺伝的多様性の時空間的ダイナミクス ○中野 楓香、大海 昌平、岩井 紀子、休場 聖美、住田 正幸、荻野 肇、井川 武 (広島大学理学部生物科学科、広島大学両生類研究センター)	1I1000 原生動物 細胞 有殻アメーバ <i>Arcella</i> sp. のアメーバ運動における仮足形成と牽引応力の定量解析 松本 紘汰、○西上 幸範 (北海道大学・電子科学研究所、北海道大学・生命科学・ソフトマター)	1J1000 軟体動物 生態 マダコ属 (<i>Octopus</i>) の全球的な分子生物地理学と多様性:生態的ニッチの枠組み ○Abhijeet Purkayastha、古星 秀隆 (大阪大学・院理・生物学)	1K1000 軟体動物 発生 頭足類の腕のパターン形成、及び機能分化における Wnt シグナルの関与 ○金原 僚亮、Sanchez Gustavo, Zhang Lin, Rokhsar Daniel (沖縄科学技術大学院大学・分子遺伝学ユニット)	1L1000 鳥類 発生 鳥類における前肢爪消失機構の多様性 ○安永 響、竹田 山原泰、米井 小百合、上坂 将弘、田村 宏治 (東北大学・生命科学研究所)
休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間

一般口演発表◇第1日目 9月3日(木)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
10:30	1A1030 鳥類 行動 ソングバードにおける日内の歌発声行動量に影響を及ぼす要因の行動学的検証 ○大黒 由香梨, 田路 矩之, 飯塚 博幸, 和多 和宏 (北海道大学・生命科学)	1B1030 甲殻類 行動 チゴガニの同期的ウェーピングの行動解析: カニ 1 匹とロボット 2 体の時間的関係 山口 美希, ○岡田 二郎 (長崎大・環境)	1C1030 ほ乳類 生理 LPS 誘発炎症時のマウス脳室周囲器官における IL-6 陽性 GFAP 細胞の領域特異性 ○依田 瑞希, 吉村 亮一 (京都工芸繊維大学大学院応用生物学専攻 生体機能学研究室)	1D1030 昆虫類 生理 ショウジョウバエ飼育容器の簡便かつ低コストなリサイクル法の開発 ○安部 かずは, 河野 元春, 木原 加寸美, 岡田 守弘 (県立広島大学・生物資源科学)	1E1030 ほ乳類 内分泌 ラット下垂体隆起部の光周期応答に伴うタニサイトの形態変化と下垂体前葉ホルモンへの影響 ○竹内 優羽, 松田 唯花, 森元 彩貴, 竹内 栄, 相澤 清香 (岡山大・院・環境生命自然科学)	1F1030 刺胞動物 形態 海面に浮かぶ群体の成長: キンカクラゲにおける個虫の配置、浮きの拡大、そして数年にわたる漂流 ○小口 晃平, 脇田 大輝 (東京大学・院理・附属臨海)
10:45	1A1045 両生類 行動 アフリカツメガエル幼生における群れ行動の確立とバルプロ酸に対する段階特異的な脆弱性 ○石原 顕紀, 山下 桃佳, 堀江 隼世 (静岡大学・理・生物)	1B1045 甲殻類 行動 チゴガニの社会行動 (闘争およびウェーピング) における心拍の個体間関係 ○高橋 萌々, 岡田 二郎 (長崎大院・総合生産科学)	1C1045 ほ乳類 生理 出生初期ナノプラスチック曝露: 多階層イメージングによるマウス脳内取り込みの解析と長期行動影響 ○米 楊, 伊藤 智彦, 田中 厚資, 前川 文彦 (国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康領域)	1D1045 昆虫類 生理 昆虫 (蚊とナナフシ) の卵におけるトレハロースの分析 ○十亀 陽一郎, 尾形 慎, 和田 佑斗, 箱崎 惇太郎, 橘 真由美, 渡辺 幸三, 鈴木 康嗣 (福島工業高等専門学校)	1E1045 ほ乳類 内分泌 アセチルコリンによるモチリン分泌を介した胃強収縮運動の検討 ○小林 祐希, 下沢 萌月, 坂田 一郎 (埼玉大学・院理工・生命科学)	1F1045 軟体動物 形態 チゴイソアワモチ (軟体動物門、腹足綱) の胚発生・後胚発生・再生 ○黒田 春也 (岡山大学・附属臨海)
11:00	1A1100 両生類 行動 イペリクトゲイモリにおける発生・成長段階に伴う暗周期依存的活動性の行動解析 ○大林 徹也, 鏡山 虹介, 松原 遼, 才木 直史, 林 利憲 (鳥取大学・研推・動物実験)	1B1100 線形動物 行動 眼を持たない線虫 <i>Pristionchus pacificus</i> における強度依存的な光受容伝達 ○黄 佳銘, 中山 賢一, 真鍋 礼, 千原 崇裕, 奥村 美紗子 (広島大学・統合生命科学研究所)	1C1100 ほ乳類 生理 TRPM8 刺激は LPS 誘発炎症時のマウス脳室周囲器官におけるグリ応答を抑制する ○森下 友貴, 吉村 亮一 (京都工芸繊維大学大学院応用生物学専攻 生体機能学研究室)	1D1100 昆虫類 生理 ホソヘリカメムシで日長応答性を示す時計遺伝子 <i>timeless</i> の光周性における重要性 ○長谷部 政治 (東京大学・院総合文化・広域科学)	1E1100 鳥類 内分泌 メラノコルチン系インバースアゴニスト ASIP の分泌性について ○福地 響紀, 相澤 清香, 竹内 栄 (岡山大・院環自科)	1F1100 緩歩動物 形態 南極産クマデオニクマムシの性的二型 ○杉浦 健太, 和田 智竹, 高平 夏芽, 江口 克之 (東京都立大・理・生命科学)
11:15	1A1115 両生類 行動 カエルにおける加速度に対する眼球沈降 ○亀ヶ谷 悠斗, 嵯峨山 功幸, 田中 伸明, 東島 真一, 内山 英徳 (総研大・基礎生物, 基礎生物学研究所)	1B1115 線形動物 行動 核内受容体 NHR-76 による加齢依存的な化学走性低下の制御 ○横澤 陸王, 服部 颯太, 加納 圭子, 佐藤 伸哉, 三城 恵美, 野間 健太郎 (名古屋大学・院理・生命理学)	1C1115 ほ乳類 生理 哺乳類メラノプシンとシャットオフタンパク質 β アレスチンとの動的な相互作用 ○高野 健人, 塚本 寿夫 (神戸大学・院理・生物学)	1D1115 昆虫類 生理 シジミタテハの長波長光感受性視覚オプシンの波長制御メカニズム ○貞保 大輝, 山下 高廣, 須藤 雄気, 小島 慧一 (岡山大・院医歯薬(薬学系))	1E1115 両生類 内分泌 低温曝露によるアフリカツメガエル脳における糖新生関連遺伝子の発現誘導 ○島ノ江 規智, 古満 芽久美, 鈴木 誠, 成松 勇樹, 浮穴 和義, 荻野 肇, 岩越 栄子 (広島大学・院統合生命科学)	1F1115 線形動物 形態 コケ食性ダニ類における口器の機能形態: 連続切片 SEM 法による究明 ○池田 颯希, 勝野 達也, 中野 隆文 (京都大学・院理・生物科学)
11:30	1A1130 両生類 行動 無尾両生類における高温センサー TRPA1 の環境適応における役割解析: ネットイソメガエル遺伝子破壊個体を用いた検証 ○沖田 桜羅, 齋藤 くれあ, 齋藤 茂 (長浜バイオ大学・大学院・バイオサイエンス)	1B1130 線形動物 行動 線虫 <i>C. elegans</i> における温度情報と匂い情報の統合に寄与する新規遺伝子の探索 ○入江 健心, 張 雁書, 武石 明佳 (神戸大学・院理・生物)	1C1130 ほ乳類 生理 マウス精子における non-canonical TCA cycle/Nox1 による活性酸素種産生 ○竹井 元, 林 啓太郎, 藤田 朋恵, Pablo Visconti (獨協医科大学・薬理)	1D1130 昆虫類 生理 暗黒ショウジョウバエの飢餓耐性を強化する生理応答とその分子基盤の研究 ○山島 菜月美, 布施 直之, 富田 淳, 長田 直樹, 山下 高廣, 桑 和彦, 重信 秀治, 阿形 清和, 田中 暢明 (北海道大学・生命科学部・生命システム)	1E1130 両生類 内分泌 アイフィンガーガエルの陸上胚発生における早期アンモニア解毒機構の分子生理学的解析 ○中山 聡, 中町 智哉, 松田 恒平, 今野 紀文 (富山大・院理工・地球生命)	1F1130 甲殻類 形態 テッポウエビ鋏脚皮殻の輪郭形状解析: ランドマーク法から構内フリー法への展開 ○川端 桃果, 加賀谷 勝史 (北見工業大学・大学院・工学研究科・工学専攻・機械電気工学プログラム・極限環境サイバネティクス研究室)
11:45	1A1145 両生類 行動 雄イモリが求愛行動を誘起するために必要な雌由来の嗅覚刺激 ○中田 友明, 横須賀 誠 (日獣大・獣医・比較動物)	1B1145 線形動物 行動 線虫の行動戦略の評価システムの開発 ○向家 慶一朗, 山本 麻琴, 武石 明佳 (神戸大学大学院・理学研究科・生物学専攻)	1C1145 ほ乳類 生理 オプシンによる G タンパク質の速い解離反応の解析 ○初谷 優成, 川口 倫輝, 松本 怜之, 木村 哲就, 塚本 寿夫 (神戸大学・院理・生物)	1D1145 昆虫類 生理 音から読み解く翅ばたきの力学: スズメバチの飛翔音と非定常空力機構の解明 ○森元 伊織, 加藤 貴範, 堀井 和広, 中田 敏是, 横山 博史, 佐賀 達矢, 土田 浩治, 岡本 朋子, 任 書晃 (岐阜大学・院医・生理学)	1E1145 両生類 内分泌 ネットイソメガエル幼生尾部脊索の器官培養系開発 ○中島 圭介, 久保江 雄大, 中西 健介, 田澤 一郎 (広島大学・両生研, 広島大学・院統合・基礎生)	1F1145 昆虫類 形態 クチブトソウムシ鱗片細胞における小胞体形態制御を基盤としたフォトニック結晶形成 ○奥出 結太, 荒木 祥文, 林 茂生, 稲垣 幸, 中津 史, ○安藤 俊哉 (京都大学・院農・応用生物科学, 京都大学・白眉センター, 東北大学・院生命・生態発生適応科学)
12:00						

10:30~12:00

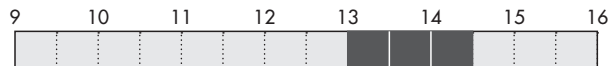


G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
1G1030 鳥類 発生 鳥類類原生細胞は異なる物理刺激を共通のプレブ型移動へ変換する ○森本 愛深, 亀井 保博, 池ノ内 順一, 齋藤 大介 (九州大学大学院・システム生命科学府)	1H1030 魚類 遺伝 ジャワメダカオスの分化における Dmrt1 の役割 ○金村 圭悟, 竹花 佑介 (熊本大学大学院・自然科学教育部・生物科学コース)	1I1030 原生動物 細胞 単細胞緑藻クラミドモナスのマスコネマおよび PKD2 チャネルの負の重力走性との関わり ○伊藤 快哉, 鹿毛 あずさ (室蘭工業大学・共創情報)	1J1030 甲殻類 生態 深海生ミズムシ類の MIG-seq を用いた集団遺伝学的解析 ○太田 瑞希, 亀井 遥香, 角井 敬知, 小島 茂明 (北海道大学・大学院理学研究院・生物科学部門)	1K1030 軟体動物 発生 アンモナイト化石の内部に記録されている後部外套膜の発生記録 ○井上 新哉 (北里大学・理・生物科学, 北大シユマ)	1L1030 鳥類 発生 環境化学物質の卵黄内投与がウズラ初期胚の生殖腺・生殖細胞の発達に与える影響 ○永井 琴菜, 水島 秀成 (北海道大学・理・生物)
1G1045 鳥類 発生 FGF シグナルによる接着性制御は胎原生細胞の移動と運命維持を制御する ○飯川 寛子, 木下 涼平, 林 良樹, 齋藤 大介 (九州大学大学院・理学研究院)	1H1045 魚類 遺伝 スタウナギ類における嗅覚関連受容体遺伝子の種間多様性 ○飯屋山 博文, ○鈴木 大地 (筑波大学・生命環境系)	1I1045 刺胞動物 細胞 単離ヒドラ神経突起の動態における細胞骨格の役割 ○則松 百乃佳, 中川 裕之 (福岡大学・理学研究科・地球圏科学)	1J1045 甲殻類 生態 ミドリソギンチャクとケンミジンコの共生メカニズム ○浦 翼空, 栗田 喜久 (九州大学・院生資源)	1K1045 昆虫類 発生 昆虫体表の多彩な機能の基盤となるクチクラ層構造の形成機構の解明 ○長尾 櫻香, 下山 紘也, 田尻 怜子 (千葉大学・融理府)	1L1045 鳥類 発生 鳥類が風切り羽を獲得した進化の分子機構の解明 ○久新 桃子, 木下 圭司, 鈴木 孝幸 (大阪公立大学・院理・生物)
1G1100 鳥類 発生 ニワトリ胚の体壁は2段階の組織置換を通じて形成される ○武馬 健悟, 稲葉 真史, 高橋 淑子 (京都大学・院理・生物科学)	1H1100 魚類 遺伝 大陸断層年代を用いた種分岐年代の推定 ○大村 奎仁, 渡邊 日出海 (北海道大学・大学院情報科学部・生体情報科学コース)	1I1100 刺胞動物 細胞 エダアシクラゲにおける加齢依存的な組織恒常性低下と再生芽形成不全の解析 ○金久 礼武, 中谷 容子, 高島 翔, 富田 泰輔, 三浦 正幸, 中嶋 悠一郎 (東京大学大学院 薬学系研究科 遺伝学教室)	1J1100 甲殻類 生態 伊豆大島沿岸におけるトゲヒラオオナナフシ Idarcoturus trispinosus (等脚目: オオナナフシ科) の発育ステージと季節性 ○太田 悠造, 星野 修 (鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館)	1K1100 昆虫類 発生 マダガスカルを用いた卵休眠の分子機構解明と遺伝学的解析基盤の構築 ○片岡 孝介, 清水 悠太, 三野 流斗, 奥石 雄一, 内藤 健, 由良 敬, 朝日 透, 後藤 慎介 (東京農工大学・院工・生命工学, 早稲田大学・総合研究機構)	1L1100 は虫類 発生 四肢動物における後肢の形成位置の種間多様性を生み出す Gdf11 遺伝子のエンハンサーの進化 ○松山 容平, 鈴木 孝幸 (大阪公立大学・大学院理学研究科・生物学専攻)
1G1115 両生類 発生 イヘリアトゲイモリ原腸胚期における骨形成因子 (BMP) の発現と機能解析 ○藤井 咲希, 戸澤 紗代, 福井 彰雅 (中央大・院理・生命・組織構築)	1H1115 魚類 遺伝 盗タンパク質生物発光をおこなうキンメドモキの全ゲノム解読によるルシフェラーゼ不在の証明 ○別所-上原 学, 山口 勝司, 小枝 圭太, 松崎 章平, 前田 太郎, 重信 秀治 (東北大・学際科学フロンティア研究所, 東北大・院生命科学)	1I1115 刺胞動物 細胞 ミズクラゲ・メソグリア細胞の存在意義解明 ○田中 啓之, 遠島 佳子 (北海道大学・院水・海洋生物工学)	1J1115 昆虫類 生態 蟄居型コロナー創設期のクロオオアリ女王は老齢幼虫へ優先的に吐き戻し給餌を行う ○居橋 勇祐, 宮崎 智史 (玉川大学・院農・資源生物学)	1K1115 昆虫類 発生 ハチ目昆虫におけるキノコ体サブタイプ数増加の分子基盤の解析 ○鎌田 周一, 畠山 正統, 久保 健雄, 河野 大輝 (東京大学・院理・生物科学)	1L1115 両生類 発生 アフリカツメガエルにおける全ゲノム重複に由来する重複遺伝子への有害アミノ酸置換の蓄積 ○中崎 真利, 國重 成恵, 井川 武, 萩野 肇, 鈴木 誠 (広島大学・院統合生命・生命医科, 広島大学・両生類研)
1G1130 両生類 発生 ネツタイツメガエルにおける csf1r 陽性腹腔細胞の選別条件の検討 ○眞下 鈴平, 戸澤 紗代, 福井 彰雅 (中央大・院・理工・生命・組織構築)	1H1130 棘皮動物 遺伝 バフンウニの全ゲノムシーケンスと RNA シーケンスによる性決定関連領域の探索 ○中村 寧音, 後藤 梨久都, 坂本 尚昭, 栗津 暁紀 (広島大学・院統合生命科学・数理生命科学)	1I1130 扁形動物 細胞 scRNA-seq をもっと身近に: 再利用・自家調製によりライブラリー調製 3 万円から可能にする TAS-Seq2 eco 法の開発 ○天海 花菜, 鹿島 誠 (東邦大学・院理・生物分子科学)	1J1130 昆虫類 生態 日本に生息するタロイモシヨウジョウバエ属 2 種の集団遺伝構造 ○裕間 太雅, 佐藤 終介, 高野 (竹中) 宏平, 酒井 章子, Peter, J. Matthews, 三宅 崇, 加藤 徹 (北大・院理)	1K1130 昆虫類 発生 コオロギ科頭部における祖先的形態から派生的形態への変形過程の測定 ○大出 高弘, 米田 瑞穂, 片岡 孝介, 森本 直記, 森田 慎一 (京都大学・院農)	1L1130 両生類 発生 ロングリード RNA シーケンスによる腎再生時の新規アイソフォーム同定と選択的スプライシング解析 ○スタンチュレスク マリウス, Kirill Kryukov, 野口 英樹, 井上 邦夫, 越智 陽城 (神戸大学・理学研究科・生物学専攻)
1G1145 両生類 発生 ネツタイツメガエル肝臓における複数の造血幹細胞候補の比較解析 ○横山 莉那, 小池 嘉乃, 塩川 雅貴, 野村 一騎, 谷崎 祐太, 加藤 尚志 (早稲田大学・教育・理・生物)	1H1145 昆虫類 遺伝 種間雑種に着目したトンボの体色形成と種分化 ○二橋 亮 (産総研・生命工学)	1I1145 軟体動物 細胞 多様な共生様式の起点は同じか? シンカイヒバリガイ類 3 種における共生細菌取り込み過程の 3 次元解析 ○湯浅 彩優, 生田 哲朗 (東京海洋大学・院海洋科学技術・応用生命科学, 海洋研究開発機構・地球生命科学研究部門・海洋生命圏研究プログラム)	1J1145 昆虫類 生態 内部寄生性昆虫ネジレバネにおける、頭胸部が交尾によって形態化する現象の発見 ○菅藤 隼人, 越川 滋行 (北海道大学・院環境科学)	1K1145 昆虫類 発生 コクワガタメス成虫共生器官「菌嚢」における組織学的・微細構造学的観察 ○斎藤 頼貴, 千頭 康彦, 後藤 寛貴 (静大院・総科技・理)	1L1145 両生類 発生 イヘリアトゲイモリ皮膚再生の組織学的観察と CSF1R 阻害剤の影響 ○齊藤 亜美, 戸澤 紗代, 福井 彰雅 (中央大学・院理・生命科学)

一般口演発表◇第1日目 9月3日(木)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
13:00	1A1300 魚類 行動 片眼視覚阻害による鱗食魚 <i>Perissodus microlepis</i> における捕食行動の左右性の変化 ○伊藤 鼓明, 竹内 勇一 (北海道大学・院生命・生命システム科学)	1B1300 軟体動物 行動 ソデフリダコの同種他個体への社会的探索と既知・新奇個体選好 ○博多屋 沙美, 川島 董, 池田 譲 (琉球大学・理・海洋自然科学)	1C1300 ほ乳類 生理 脊髄損傷後の筋萎縮および筋機能回復過程における筋原線維構成タンパク質の発現変化 ○大橋 怜奈, 土岐 航生, 大石 大, 武内 恒成, 佐藤 成樹 (千葉大学大学院・融合理工・先進理化学・生物)	1D1300 昆虫類 生理 行動様式の異なるハナバチ類におけるキノコ体構成細胞種の比較解析 ○河野 大輝, 桑原 嵩佳, 田川 裕貴, 清水 歩昂, 久保 健雄 (東京大学・院理・生物科学, 基礎生物学研究所・超階層生物学センター)	1E1300 両生類 内分泌 食卵性両生類アイフィンガーガエル幼生の早期の糖新生およびケトン体代謝の活性化: 飢餓リスクを伴う閉鎖的環境への適応 ○宇津木 奏那, 中町 智哉, 今野 紀文, 松田 恒平 (富山大・院理工・地球生命)	1F1300 昆虫類 形態 クチクラ多様化の理解に向けたハムシ科昆虫の電子顕微鏡観察と比較ゲノム解析 ○井上 慎太郎, 野間 健吾, 近藤 真紀, 真野 昌二, 野地 澄晴, 渡邊 崇人, 三戸 太郎 (徳島大・BIRC)
13:15	1A1315 魚類 行動 メダカにおけるコントラリアン個体の行動影響とその分子神経基盤 ○横井 佐織 (北大・院薬)	1B1315 軟体動物 行動 淡水産巻貝 <i>Biomphalaria glabrata</i> における神経行動学研究基盤の構築 ○アントワヌ 輪ニコラ, 大沼 耕平 (島根大学・生物資源・生命科学)	1C1315 ほ乳類 生理 マウス結腸における能動的イオン分泌に及ぼすバラ香気成分ゲラニオールの影響 工藤 龍河, 十日市 舞, ○小酒井 貴晴 (山形大学・理・生物, 山形大学・地域教育文化・文化創生, 山形大学・院理工・生物)	1D1315 昆虫類 生理 栄養状態依存的な痛覚応答の制御機構 ○久保 綜司, 石井 健一, 榎本 和生 (東京大学・院理・生物科学)	1E1315 魚類 内分泌 消化管ホルモン“モチリン”が誘導するメダカの嚥下とアドレナリンβ受容体情報伝達との関連 ○東 森生, 今野 紀文, 坂田 一郎, 奥水 崇範, 海谷 啓之 (自治医大・医・分子薬理)	1F1315 昆虫類 形態 ネバダオオシロアリの二次生殖の分化に伴う生殖腺発達調節のしくみ ○水上 葉, 藤原 克斗, 前川 清人 (富山大学・院理工)
13:30	1A1330 魚類 行動 メダカのはから放たれる嗅覚刺激物質によって求愛行動を起こす ○古屋 康則, 仁尾 陸人, 近藤 湧生 (岐阜大学・教育・生物)	1B1330 刺胞動物 行動 刺胞動物ヒドラにおいて独自に進化したと考えられる脳の機能 ○清水 裕, 野呂 行彦, 峯田 克彦, 五條堀 孝 (国立遺伝学研究所・分析)	1C1330 鳥類 生理 鳴禽類の聴覚皮質ニューロンにおける時間窓感受性の種差 ○柴田 ゆき野, 柳原 真, 岡ノ谷 一夫 (北海道大学・院理・生物科学, 帝京大学先端総合研究機構・複雑系認知研究部門)	1D1330 昆虫類 生理 オキナワアギタリの大顎の超高速運動時に見られる頭部外骨格の弾性変形の3次元解析 ○菊池 匠十, 青沼 仁志 (神戸大学・院理・生物)	1E1330 魚類 内分泌 トラザメの卵胞における排卵の違ひはcAMPへの反応性の違いに起因する ○井上 遼太郎, 衣笠 孝規, 長坂 桂吾, 徳永 幸太郎, 井尻 成保, 兵藤 晋 (東京大学・大気海洋研究所・生理学)	1F1330 昆虫類 形態 無翅昆虫マダラシミでの翅相同領域探索から迫る翅形成分子機構 ○谷重 和来, 大出 高弘 (京都大学・院農)
13:45	1A1345 魚類 行動 セレベスメダカの種内コミュニケーションにおける急速な体色変化の役割 ○上田 龍太郎, 安齋 賢, 竹内 秀明 (東北大・院生命)	1B1345 刺胞動物 行動 ミドリイシサンゴ幼生の着生前行動における負の光走性 ○石川 舞結, 服田 昌之 (お茶大・院・ライフサイエンス)	1C1345 鳥類 生理 磁気受容候補分子ニフトリクリプトクロム4の分子内光情報伝達 ○岡野 恵子, 大塚 浩晨, 岡野 俊行 (早稲田大学・先進理工学部・電気情報生命工学科)	1D1345 昆虫類 生理 脂質による血液脳関門を介した睡眠制御機構 ○久保 匡衛, 榎本 和生 (東京大学・院理・生命科学)	1E1345 魚類 内分泌 キンギョとトラフグの摂食行動と選好性行動に及ぼすα-黒色素細胞刺激ホルモン(α-MSH) 腹腔内投与の影響と脳活性化部位の同定 足立 優樹, 大谷 拓也, 牧田 大輝, 渡邊 桂祐, 松原 創, 今野 紀文, 中町 智哉, ○松田 恒平 (富山大学・学術研究・理学)	1F1345 昆虫類 形態 宿主外見のみに基づく内部寄生者ネジレバネの寄生判別モデルの構築 ○柄澤 匠, 菅藤 隼人, 越川 滋行 (北海道大学・院環境科学)
14:00	1A1400 魚類 行動 メダカのリスク行動に伴う脳内チロシン水酸化酵素およびμオピオイド受容体発現 ○柳田 海尋, 河本 純花, 加川 尚 (近畿大学・院総理・理学)	1B1400 刺胞動物 行動 刺胞動物-褐虫藻共生における取り込み過程の可視化と動態解析 ○村山 昌, 丸山 真一郎 (東京大学・新領域・先端生命科学・統合生命科学)	1C1400 鳥類 生理 鳴禽類ソングバードの種特異的な発声学習に関わる神経分子基盤 ○真殿 梨友, 庄 梓函, 田路 矩之, 和多 和宏 (北海道大学・院生命科学・生命科学)	1D1400 昆虫類 生理 ホソヘリカメムシの光周性におけるNa ⁺ /Ca ²⁺ 交換輸送体およびカルモジュリンの機能解析 ○森杉 直翔, 志賀 向子, 長谷部 政治 (大阪大学・院理・生物科学)	1E1400 魚類 内分泌 メダカにおいてAgRPニューロンは成長関連ホルモンの受容体を発現する ○藤井 駿, アドリアン, 池上 花奈, 三浦 豊, 馬谷 千恵 (東京農工大学・農学部・応用生命化学)	1F1400 昆虫類 形態 ウメツアリ女王分化と形態形成における幼若ホルモン作用の解明 ○南齋 乃愛, 宮川 美里, 宮川 一志 (宇都宮大学・バイオ)
14:15	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間
14:30						

13:00~14:30

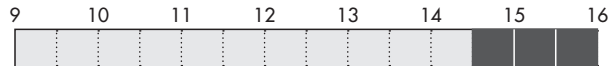


G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
1G1300 両生類 発生 オタマジャクシ尾部のアジャイル型成長 ○加藤 壮一郎, 中根 彩巴, 太田 天晴 (大阪大学・院理・生物学)	1H1300 魚類 分類・系統 多様な生体試料の凍結サンプルからISH解析を行うための氷点下固定法 ○藤原 遥香, 志知 優磨, 川守田 博基, 関口 俊男, 小笠原 道生 (千葉大・院理・生物)	1I1300 棘皮動物 その他 無脊椎動物の個体飼育経験における命名行動と動物認知の分化—バファンニ継続飼育における文脈依存的認識形成— ○小川 博久 (武蔵野大学・工学・サステナビリティ研究所)	1J1300 その他 生化学 無核および有核赤血球におけるポリユビキチン化活性の比較解析: マウスとアフリカツメガエルを用いた検討 ○高田 耕司, 千葉 瀬菜, 長佐 和海, 土井 優美, 横山 陽香, 吉田 瑞穂, 加藤 尚志 (早稲田大学・院先進理工・生命理工, 慈恵医大)	1K1300 昆虫類 発生 昆虫尾角形成における付属肢形成 GRN の関与と独自発生機構の解析 ○蔵藤 丈瑠, 大出 高弘 (京都大・院農・昆虫生理学)	1L1300 両生類 発生 イモリの四肢発生と四肢再生における Tbx3 の機能的差異 ○松原 遼, 岡田 小代子, 西平 歩乃花, 阿部 玄武, 竹内 隆 (鳥取大学・医・生命科学)
1G1315 両生類 発生 ツメガエル成体における筋肉形成を伴わない不完全な四肢再生の分子基盤の解析 ○原 悠大, 外館 桃子, 成澤 勇斗, 小針 すす, 西出 浩世, 杉浦 宏樹, 山口 勝司, 川越 智貴, 樋口 晃尋, 重信 秀治, 内山 郁夫, 横山 仁 (弘前大学・院農学生命・分子生命)	1H1315 尾索動物 分類・系統 組織学および CT・MRI 解析によるカタマリムラボヤ(マボヤ目: シロボヤ科)の群体構造と出芽様式の解明 ○長谷川 尚弘 (広島修道大学・人間環境学部)	1I1315 棘皮動物 その他 モバイル顕微鏡とタブレットを用いた簡易観察の実践 ○細谷 夏実 (大妻女子大学・社会情報・環境情報)	1J1315 原生動物 生化学 微小管内部タンパク質 Rib43a の分子機能解析 ○柳瀬 蒼悟, 丹羽 蘭丸, 山本 遼介, 今井 洋, 昆 隆英, 八木 俊樹, 稲葉 一男, 柴 小菊, 山下 隼人 (大阪大学 理学研究科 生物科学専攻)	1K1315 棘皮動物 発生 トゲモミジガイの発生と幼生期に切断された個体の再生能 ○北沢 千里, 金子 修大, 森本 悠成, 藤田 貴志, 小林 稔, 井上 理恵, 田川 訓史, 山中 明 (山口大学・教・理科教育, 山口大学・院東アジア)	1L1315 両生類 発生 Runx2 がネッタイツメガエル骨形成に担う役割の解明 ○雪田 聡, 村松 俊汰 (静岡大学 教育学部 理科教育専修, 静岡大学大学院 総合科学技術研究科 理学専攻 生物科学コース)
1G1330 両生類 発生 一細胞シグネチャーから紐解くツメガエル脊索の前後軸多様性と初期形態形成におけるその役割 ○佐藤 美結, 佐野 ひとみ, 黒田 裕樹 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科)	1H1330 尾索動物 分類・系統 カタウレイボヤ Nkx2-1-KO・FoxE-KO 幼若体の異所性膨出構造の進化的洞察 ○川守田 博基, 伊東 みずき, 笹倉 靖徳, 小笠原 道生 (千葉大・院理・生物)	1I1330 棘皮動物 その他 山梨県におけるウニの五放射相称を題材とした動物科学教育 ○埴 宗継 (山梨大学・医・解剖)	1J1330 軟体動物 生化学 頭足類の青い血の比較生化学: 酸素運搬タンパク質ヘモシアニンの分子構造および酸素結合能比較 ○迫田 一輝, 榊原 里奈, ○加藤 早苗 (鹿児島大学・院農水・食品生命科学)	1K1330 棘皮動物 発生 ヒトデ類の発生において独立に起こる五放射相称形成とその発生機構について ○服部 瑛心, 山川 隼平, 守野 孔明, 和田 洋 (筑波大学・理工情報生命学院・生命地球科学)	1L1330 両生類 発生 全ゲノム重複後のシス制御進化による重複遺伝子の発現分化メカニズム ○廣田 雅哉, 越智 陽城, 鈴木 菜花, 井川 武, 鈴木 誠, 萩野 肇 (広島大学・院統合生命, 広島大学・両生類研)
1G1345 両生類 発生 アカハライモリ精子において calpain は calmodulin を代替して受精を成立させるか ○寺岡 怜司, 渡辺 絵理子, 渡邊 明彦 (山形大学・院理工・理)	1H1345 棘皮動物 分類・系統 古生代の初期棘皮動物から探る歩帯の起源 ○吉田 恩, 重田 康成, 三上 智之 (筑波大学・院理工情報生命・地球生命科学)	1I1345 昆虫類 その他 昆虫の端栄養型卵巣における飢餓応答性細胞死のメカニズム解明 ○遠藤 楓, 垣本 涼花, 砂田 泰輝, 小谷 英治, 高木 圭子 (京都工芸繊維大学・院・応用生物)	1J1345 線形動物 生化学 C. elegans においてアクアポリンチャネルは低温耐性を負に制御する ○坂山 ほのか, 森 雪永, 三浦 徹, 太田 西, 久原 篤 (甲南大学理工学部, 甲南大学自然科学研究科, 甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所)	1K1345 棘皮動物 発生 有柄ウミユリ類の茎を構成する茎板 2 種の形成過程 ○井原 榛香, 雨宮 昭南, 清本 正人 (お茶の水女子大学・院・ライフ, お茶の水女子大学・湾岸)	1L1345 両生類 発生 ツメガエル胚形態形成における卵膜膨張の意義 ○宇藤 寛人, 福田 悠真, 松下 幸平, 加藤 壮一郎 (大阪大学・院理・生物科学)
1G1400 魚類 発生 メダカ網膜運動反応の調節に関わる分子・細胞機構の探索 ○細田 福音, 上原 未克, 野口 大樹, 行者 蒔, 川上 泰治, 大道 裕, 日下部 岳広 (甲南大学・院自然科学・統合ニューロ)	1H1400 棘皮動物 分類・系統 MIG-seq を用いたクモヒトデ類の集団遺伝学的研究: 浅海種ニホンクモヒトデ Ophioplocus japonicus とクマナクモヒトデ Macrophioplocus longipeda の比較を中心に ○岡西 政典, 岡山 佳久, Ying-Hong He, Cai Meng-Ying, 幸塚 久典, 藤田 敏彦, 田村 瑠亜, 野口 理基世, 藤川 遥, 近藤 倫生 (広島修大・人間環境)	1I1400 緩歩動物 その他 ドワイエールとデュジャルダン: 19 世紀フランス微小動物学における科学的友情 ○鈴木 忠 (慶應大学・自然セ)	1J1400 線形動物 生化学 線虫の温度順化に関わる新規介在ニューロンの神経活動とその下流に位置する遺伝子の解析 ○米澤 生来, 神野 靖也, 三浦 徹, 太田 西, 久原 篤 (甲南大学・理工学部, 甲南大学・統合ニューロバイオロジー研究所)	1K1400 尾索動物 発生 ホヤ幼生の重力感知細胞における行動変化に伴う神経接続の変化解析 ○板倉 麻尋, 大沼 耕平 (鳥根大学・生物資源・生命科学)	1L1400 両生類 発生 成体ツメガエルの不完全な四肢再生に特異的な軟骨分化亢進の実証 ○北川 菜名, 小針 すす, 横山 響, 加藤 輝, 佐藤 里菜, 坂本 丞, 亀井 保博, 横山 仁 (弘前大学・院農学生命・分子生命科学)
休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間

一般口演発表◇第1日目 9月3日(木)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
14:30	1A1430 魚類 行動 鏡像と他個体を長期提示したメダカの行動と脳内グルタミン酸脱炭酸酵素遺伝子の発現相違 ○福田 帆華, 加川 尚 (近畿大学・院総理・理学)	1B1430 両生類 発生 アフリカツメガエル初期発生におけるcxcr7同祖遺伝子の機能解析 ○平田 凜, 戸澤 紗代, 福井 彰雅 (中央大・院・理工・生命・組織構築)	1C1430 鳥類 生理 鳥類の定位行動を担う磁気受容の分子メカニズムにおけるクリプトクロム4と赤錐体視物質の相互作用の解析 ○木股 直規, 岡野 恵子, 岡野 俊行 (早大・先進理工・電生)	1D1430 昆虫類 生理 In situ hybridizationによるオオクログガネ時計遺伝子の視葉内発現動態の解析 ○濱内 航, 志賀 向子 (大阪大学・大学院理学研究科・生物科学専攻)	1E1430 魚類 内分泌 ゼブラフィッシュにおける排卵誘導遺伝子候補 ptgs2a ノックアウト系統の樹立と表現型解析 ○上原 優那, 毛利 匠, 大森 優樹, Md. Akib Ferdous, 堤 瑛誠, Md. Ekramul Hasan, Md. Almamun Farid, 徳元 俊伸 (静岡大学・総合科学技術研究科)	1F1430 昆虫類 形態 オオオサムシ亜属の交尾器形態の多様化に関わる発生過程の進化 ○古本 知奈美, 寺田 夏蓮, 高見 泰興 (神戸大学)
14:45	1A1445 魚類 行動 ストレスがメダカの空間学習記憶と脳内NMDA型グルタミン酸受容体1発現に及ぼす影響 ○波床 桃百香, 花田 美優, 加川 尚 (近畿大学・院総理・理学)	1B1445 両生類 発生 アフリカツメガエル原腸胚におけるbrachyuryの発現からみた予定脊索領域形成過程の解析 ○高橋 諒丞, 戸澤 紗代, 福井 彰雅 (中央大・院・理工・生命・組織構築)	1C1445 両生類 生理 アフリカツメガエル栓球造血における巨核球分化の解析 ○横山 陽香, 佐久間 瑞穂, 青山 姫香, 小池 嘉乃, 谷崎 祐太, 高田 耕司, 加藤 尚志 (早稲田大学・院先進理工・生命理工)	1D1445 昆虫類 生理 不完全変態昆虫コオロギにおける3つのBTB転写因子およびRNA結合タンパク質Impの変態時期制御における役割 ○古川 龍之介, 門嶋 真奈, 大門 高明, 大出 高弘 (京大農学研究科・応用生物科学専攻・昆虫生理学)	1E1445 魚類 内分泌 プロゲステロン膜受容体γ(pagr5b)は、ゼブラフィッシュの嗅覚ロゼットにおけるニューロンの形成に必須である ○徳元 俊伸, ムスクリー ウンメ ハビバ, ジョハーン モハメド ソハヌール ラハマン, ハサン エムディー エクラムール, 上原 優那 (静岡大学・創造科学技術大学院)	1F1445 昆虫類 形態 ニホンホホビロコメツキモドキの前蛹期における大顎原基で生じる左右非対称な形態変化の解析 ○小田 丈喜, 中村 太郎, 森田 慎一, 土岐 和多瑠, 新美 輝幸 (基礎生物学研究所・進化発生・総研大・先端学術院・基礎生物学)
15:00	1A1500 魚類 行動 ゼブラフィッシュ仔魚における経験依存的な姿勢の可塑性 ○谷本 昌志, 永岡 良太 (基礎生物学研究所・神経行動・自然科学研究機構・生命創成探究センター)	1B1500 両生類 発生 ツメガエル幼生抗原Ouro1とOuro2の共発現による細胞内局在の変化は変態期の幼生尾退縮に関与するか ○小林 遥香, 井筒 ゆみ (新潟大学・理学部・生物)	1C1500 魚類 生理 塩塩性魚類のメダカは浸透圧ではなく環境中のイオンを嗅覚で感知し行動を変化させる ○仲澤 優尚, 中町 智哉, 松田 恒平, 今野 紀文 (富山大学・院理工・地球生命)	1D1500 昆虫類 生理 ベニシジミ幼虫とある寄生バエとの寄生関係について ○嶋村 紗奈, 古谷 和久, 北沢 千里, 山中 明 (山口大学・院創成・生物)	1E1500 魚類 内分泌 一年魚であるマハゼのライフサイクルを通じた繁殖関連因子の動態 ○落合 航平, 石原 光, 鈴木 偉久, 加用 大地, 神田 真司 (東京大学・大気海洋研究所)	1F1500 昆虫類 形態 ショウジョウバエの蛹化位置はどのように決定されるのか? ○木原 加寸美, 竹土井 琉生, 安部 かずは, 岡田 守弘 (県立広島大学・生物資源科学)
15:15	1A1515 魚類 行動 ゼブラフィッシュを用いた社会的隔離ストレスにおけるOGR1の役割 ○二重 友香, 東 森生, 戸村 秀明 (明治大学大学院農学研究科生命科学専攻細胞情報制御学研究室)	1B1515 両生類 発生 ツメガエル胚におけるYAPタンパク質の細胞内局在と外胚芽パターンニングとの関係 ○吉崎 絢香, 福井 彰雅, 道上 達男 (東京大学・総合文化研究科・広域科学専攻, 中央大学・理工)	1C1515 魚類 生理 魚骨由来のカルシウム粉末を用いたウナギの腸からのカルシウム吸収機構の解析 ○瀧野 晴美, 黒田 康平, 木谷 洋一郎, 遠藤 雅人, 松原 創, 本田 匡人, 田淵 圭章, 平山 順, 服部 淳彦, Soottawat Benjakul, 鈴木 信雄 (金沢大学)	1D1515 昆虫類 生理 神経ペプチドコラゾニンとソレヒカメシの心拍活動の光周性に関与する ○西 吉利 (大阪公立大学・院理・生物学, 大阪公立大学・理学国際教育研究センター)	1E1515 魚類 内分泌 父親が口内保育するクロホシイシモチにおける、配偶相手のメスの排卵に依存した保育へ向けた行動変化 ○石原 光, 神田 真司 (東京大学・大気海洋研究所 生理学)	1F1515 昆虫類 形態 個体生存を規定する温度応答性代謝機構の解析 木原 加寸美, 西村 隆史, 岡田 守弘 (県立広島大学・生物資源科学)
15:30	1A1530 昆虫類 行動 保存された初期応答遺伝子Hr38/Nr4aはショウジョウバエのドーパミン神経において求愛長期記憶を制御する ○木矢 星歌, 西川 亜矢, 木矢 剛智 (金沢大学・理工・生命理工, 金沢大学・ナノ生命科学研究所)	1B1530 両生類 発生 機械的刺激の距離や方向の違いによって神経堤分化はどう変化するか ○浅沼 大樹, 山本 実季, 渋谷 直輝, 岡嶋 孝治, 道上 達男 (東京大学・院総文・広域科学専攻)	1C1530 魚類 生理 松果体に存在するインドール化合物のキニンゴのウロコ骨芽細胞及び破骨細胞に対する作用 ○廣瀬 匡, 丸山 雄介, 五十嵐-右高 潤子, 上條池森 敦子, 田淵 圭章, 瀧野 晴美, 黒田 康平, 瑞野 開都, 遠藤 雅人, 松原 創, 本田 匡人, 酒徳 昭宏, 平山 順, 服部 淳彦, 鈴木 信雄 (金沢大学)	1D1530 昆虫類 生理 カラスアゲハにおける蛹休眠率に及ぼす湿度の影響 ○山中 明, 河村 泰希, 井上 智見, 北沢 千里 (山口大学・院創成科学・生物)	1E1530 魚類 内分泌 クサフグにおける水温上昇に対する生殖調節神経ホルモンの遺伝子発現変化の季節間比較 ○小和田 颯汰, 安東 宏徳 (新潟大学・佐渡自然共生科学セ・臨海)	1F1530 棘皮動物 形態 クモヒトデ類腕骨の成長輪は年齢推定の指標となり得るのか? ○宮崎 勝己, 田辺 彩水, 茂木 隆伸, 白井 厚太郎 (新潟大学・理・自然環境)
15:45	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間
16:00						

14:30~16:00

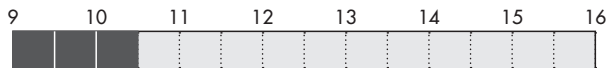


G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
1G1430 魚類 発生 メダカ単数体由来の生殖細胞は幹細胞型の分裂の時期にゲノムの倍加を生じる ○竹内 萌, 藤本 貴史, 西村 俊哉 (北海道大学・院水・応用生命)	1H1430 昆虫類 分類・系統 滋賀県北部山門湿原に生息するトビムシの種の多様性 ○奈良 篤樹, 堀 翔吾 (長浜バイオ大学・バイオサイエンス学部)	1I1430 線形動物 その他 線虫カプセルの開発とその応用 ○鈴木 芳代 (量子科学技術研究開発機構・高崎研・量子バイオ基盤)	1J1430 線形動物 生化学 線虫 <i>C. elegans</i> の温度順化における金属依存性ペプチダーゼと GPCR の働き ○曾 華琳, 手束 萌, 三浦 徹, 太田 茜, 久原 篤 (甲南大学・理工学部, 甲南大学・大学院・自然科学研究科, 甲南大学・統合ニューロバイオロジー研究所)	1K1430 尾索動物 発生 ワカレオタマボヤのハウスの三次元形状イメージング法の確立と内部の繊維構造の記録 ○小沼 健, 森川 健太郎, 古賀 流生, 池田 真一郎, 足立 晴彦, 三輪 真紀子, 上村 美穂, 野 恭子, 富安 拓真, 池水 隆雄, 山崎 慎太郎, 秋山 正和, 近藤 滋, 井上 康博, 船山 典子, 西田 宏記 (鹿児島大学・院理工・生物, 大阪大学・院理・生物科学)	1L1430 魚類 発生 網膜特異的転写因子 Nr1 欠損メダカの網膜構造、遺伝子発現および視覚行動の解析 ○加藤 禎大, 谷本 渉, 蛇江 貴裕, 飯島 将吾, 川本 菜々子, 高橋 里緒, 小林 恵里佳, 大道 裕, 日下部 岳広 (甲南大学・院自然科学・統合ニューロ)
1G1445 魚類 発生 ゼブラフィッシュの腹鰭原基形成過程における Wnt/ β -catenin 経路の機能解析 ○中村 遊作, 湯 玲子, 河西 通, 田中 幹子 (東京科学大学 生命理工学院)	1H1445 昆虫類 分類・系統 タイコウチ下目およびクビナガカメムシ下目の比較発生学的研究 (昆虫綱・カメムシ目・異翅亜目) ○西本 晃, 武藤 将道 (名城大学・院農・農学)	1I1445 刺胞動物 その他 ミズクラゲエフィラ幼生の創傷修復過程に対する海水中の単糖類の影響 今 彩音, 今野 柚月, 成田 絢, 市川 雄貴, 中内 祐二 (山形大学・理学部・生物学分野)	1J1445 棘角類 生化学 カブトガニ <i>Tachypleus tridentatus</i> の外骨格形成に関わるクチラタンパク質の同定と機能解析 ○室田 和真, 東川 洗二郎, 二宮 颯人, 森信 敏, 近藤 裕介, 豊田 賢治, 大平 剛 (神奈川大学・理)	1K1445 尾索動物 発生 ホヤ胚の神経板境界から探る脊椎動物の頭部および正中鰭の進化的起源 ○石田 祐, 佐藤 ゆたか (京都大学・院理・生物科学, 岡山大学・理・臨海)	1L1445 魚類 発生 ゼブラフィッシュ尾ヒレの局所再生系を用いた、鰭条の極性逆転が起こる範囲と要する時間の解析 ○中村 匠, 山田 陸, 坂下 美咲, 和田 直之 (東京理科大学・院創域理工・生命生物学)
1G1500 魚類 発生 力学的負荷による滑膜関節形成の制御 ○佐藤 拓哉, 平沢 将大, 岩重 日奈子, 上原 克也, 河西 通, 湯 玲子, 田中 幹子 (東京科学大学・生命理工学院)	1H1500 昆虫類 分類・系統 鱗翅目タテハチョウ科の種分化過程の解明 ○櫻井 和生, 渡邊 日出海, 井上 望太郎 (北海道大学・大学院情報科学院・情報科学)	1I1500 その他 その他 ちいさなものの硬さをはかる ○田中 正太郎, 中村 史雄 (東女医大・医・生化学)	1J1500 半索動物 生化学 半索動物のワダツミギボシムシ (<i>Balanoglossus carnosus</i>) の発光反応は発光タンパク質型である ○矢野 大地, 玉置 瞭, 中野 智之 (和歌山高専・生物応用化学科)	1K1500 尾索動物 発生 ホヤ幼生中樞神経系の神経回路形成に関する細胞間シグナルの探索 ○龍山 佑生, 圓尾 綾葉, 佐藤 由奈, Amarilli Revello, 上石 佳代, 玉井 雅大, 常深 秀人, 曾谷 実玖, 大川 奈菜子, 日下部 岳広 (甲南大学・院自然科学・統合ニューロ)	1L1500 魚類 発生 ゼブラフィッシュの胚成長における tfcp2l1 遺伝子の役割 ○成出 裕昌, 深山 沙希, 早坂 央希, 鈴木 悠太, 鹿島 誠, 亀井 宏泰 (金沢大学・自然科学研究科・生命理工学専攻)
1G1515 魚類 発生 Sik1 は卵母細胞内のアクチンフィラメント形成に関与しており、その不活性化は卵母細胞内部構成要素の異常な配置を引き起こし、発生異常を引き起こす ○ハサン ムハンマドエクラムル, ソハン モハメド ソハヌール ラハマン, ホセイン ジャカワツ, ラフマン ムド・サイドゥル, 徳元 俊伸 (SHIZUOKA UNIVERSITY)	1H1515 昆虫類 分類・系統 吸血性の多系統獲得機構の解明 ○福田 暉, 渡邊 日出海 (北海道大学情報科学院ゲノム情報科学研究室)	1I1515 その他 その他 瀬戸内海産の無腸類 <i>Sym-sagittifera</i> sp. の共生藻選択と生活史 ○彦坂 暁, 長野 政嗣, 竹田 典代, 彦坂 片山 智恵 (広島大学・院統合生命・生命環境, 広島大学・総合科学)	1J1515 尾索動物 生化学 カタユウレイボヤ被囊構成タンパク質の同定と解析 ○早川 舞香, 齋藤 貴子 (静岡大学・院総合科学技術・農)	1K1515 尾索動物 発生 カタユウレイボヤの神経系における Piwi の役割 ○横川 祐直, 島井 光太郎, 日下部 岳広 (甲南大学・院自然科学・統合ニューロ)	1L1515 魚類 発生 グーデア科胎生魚の妊娠を制御する分子シグナルの役割の探索 ○近藤 明永, 本道 栄一, 飯田 敦夫 (名古屋大学・院農・生命農)
1G1530 魚類 発生 真骨魚類の耳石形成における pks1 の繰り返し発現とその制御機構 ○楠原 佳和, 武田 洋幸, 池田 貴史 (京都産業大学・生命科学部)	1H1530 甲殻類 分類・系統 シダムシ類末記載種における大胆な寄生部位転換と体形態の可塑性な左右非対称性 ○自見 直人, 小林 格, 露木 葵唯, 木村 妙子 (名古屋大学・院理・菅島臨海)		1J1530 尾索動物 生化学 脊索動物ハウススキッピング酵素 AK1 の至適温度は疎水性相互作用数が決定する 山本 竜也, 白石 慧, 酒井 翼, 和田 明澄, 〇佐竹 炎 (サントリー生科財団)	1K1530 尾索動物 発生 オタマボヤのハウス原基と展開後のハウスの対応関係を調べる試み ○池田 真一郎, 西田 宏記, 富安 拓真, 三輪 真紀子, 小沼 健 (鹿児島大学・院理工・総合理工学専攻)	1L1530 魚類 発生 低温環境はゼブラフィッシュ初期胚の細胞接着性に影響を与えることで発生異常を引き起こす ○森田 仁, 原田 結真, 樋口 麻衣子 (立教大学・理・生命理)
休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間

一般口演発表◇第3日目 9月5日(土)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
9:00	3A0900 両生類 行動 夜間照明がクロサンショウウオ幼生の行動と変態に及ぼす影響 赤間 健介, 高瀬 清美, ○角田 出 (石巻専修大学)	3B0900 両生類 発生 光質の違いがヤマアカガエル (<i>Rana ornativentris</i> Werner) の変態と骨形成に及ぼす影響 ○高瀬 清美, 高瀬 馨 (東北生活文化短大・生活文化)	3C0900 両生類 生理 捕食ストレスは、エゾアカガエル脈絡叢におけるレドックス依存的代謝プログラミングとミトコンドリア脱分極を誘導する ○森 司, 北見 楓, 井上 菜穂子, 柏木 昭彦, 柏木 啓子 (日本大学・生物・海洋生物)	3D0900 甲殻類 生理 十脚類のカニ化による心臓と巨大弾性蛋白質コネクチンの再構築 ○花鳥 章, 木元 弥咲, 大平 桃子, 斎藤 優気, 橋本 謙, 毛利 聡 (川崎医大・生理 1)	3E0900 魚類 内分泌 メダカ卵巣において時計遺伝子はステロイドホルモン代謝関連酵素の発現制御に関与する 岸井 萌香, 岡野 壮一郎, ○荻原 克益 (北大・院理・生物)	3F0900 棘皮動物 形態 カワラキンコ <i>Hemiodon tegulatus</i> の発生過程および稚ナマコの成長 ○柴田 大輔, 滝口 智也, 二村 龍太郎, 幸塚 久典 (神奈川工科大学・工・応用化学生物)
9:15	3A0915 魚類 行動 日本メダカの系統間比較による配偶行動に関わる遺伝子基盤の探索 ○増井 愛佑子, 梶山(平木) 十和子, 竹内 秀明 (東北大学・院生命・分子行動)	3B0915 魚類 発生 サンマの初期発生と発生制御遺伝子の発現解析 ○日下部 りえ, 木下 諒, 土田 萌瑛, 山内 里紗, 山内 信弥, 工業 樹洋 (関西大・化学生命工・生命生物)	3C0915 両生類 生理 アフリカツメガエル血管内皮細胞の温度依存的な分子応答の解析 ○西尾 活誠, 飯塚 えり, 土井 優美, 長佐 和海, 加藤 尚志 (早稲田大学・教育・生物)	3D0915 甲殻類 生理 アフリカツメガエル 2 つの Opn5 サブグループは異なる波長感受性と G タンパク質選択性を示す ○高橋 空翔, 佐藤 恵太, 貞保 大輝, 尾林 虹兵, 塚本 寿夫, 大内 淑代, 山下 高廣, 須藤 雄気, 小島 慧一 (岡山山・院医歯薬(薬学系))	3E0915 魚類 内分泌 アカエイ NR5A ファミリーによるステロイド合成酵素の転写制御機構の解明 ○今道 力敬, 岡安 諒真, 関口 俊男, 矢澤 隆志 (福井県立大・海洋生物資源)	3F0915 尾索動物 形態 ワカレオタマボヤ “ <i>Oikopleura dioica</i> ” ハウスにおけるタンパク質局在の免疫組織化学的な調査の試み ○古賀 洗圭, 三輪 真紀子, 小沼 健 (鹿児島大学・理工学研究科・理学専攻・生物学プログラム)
9:30	3A0930 魚類 行動 ドジョウの明暗選択行動がもつ光順応依存性への数理モデル適応 ○古川 雄基, 岡野 恵子, 岡野 俊行 (早稲田大学・先進理工・電気・情報生命)	3B0930 魚類 発生 サンマの青色体色の発現機構 ○合田 真, 太田 勲, 山内 信弥, 福田 和也, 日下部 りえ (浜松医大・光医学)	3C0930 魚類 生理 ミドリフグ嗅上皮における TTX アナログ受容体の探索 ○阿部 秀樹, 安立 正篤, 西川 俊夫 (名古屋大・院生命農・水圏動物学)	3D0930 甲殻類 生理 エビやカニなどの十脚類の卵黄タンパク質前駆体 (Vitellogenin, Vg) を認識する抗体の作製 ○久慈 奏子, 上杉 侑希乃, 市川 卓, 若林 香織, 豊田 賢治, 赤司 侑香里, 藤原 研, 大平 剛 (神奈川大・理)	3E0930 両生類 内分泌 アフリカツメガエルの変態期小腸における幹細胞ニッチ形成に関与する間質細胞 (テロサイト) の探索と局在解析 ○大塚 櫻子, 柴田 侑毅, 藤本 健太, 町田 郁子, 長谷部 孝 (日本医科大学・医・生物学)	3F0930 尾索動物 形態 ワカレオタマボヤの表皮上にみられる形成過程のハウス原基の走査型電子顕微鏡観察 ○松元 凛, 三輪 真紀子, 小沼 健, 森田 龍 (鹿児島大学・院理・生物学プログラム, 鹿児島大学・理・生物学プログラム)
9:45	3A0945 魚類 行動 キンギョによるニコチンの薬物弁別 ○渡辺 茂 (慶應義塾大学)	3B0945 魚類 発生 メダカを用いた肢体型筋ジストロフィーの表現型解析 ○赤穂 聡志, 中川 尚輝, 成瀬 清, 日下部 りえ (関西大・化学生命工・生命生物)	3C0945 魚類 生理 メダカ体色の濃淡を制御する遺伝子の探索 ○鈴木 偉久, 佐野 香織, 橋本 寿史, 合田 真, 富原 壮真, 池田 威秀, 山本 裕紹, 神田 真司 (東京大学・大海研・生理学)	3D0945 甲殻類 生理 広塩性のヤマトオサガニ体液調節における二価陽イオンの役割 ○山口 雅裕, 松岡 未空, 井垣 菜巴 (鈴鹿高専・生物応用化学科)	3E0945 魚類 内分泌 トラザメにおける人為的な貯精の誘導と貯精管で観察される変化 ○長坂 桂吾, 下山 紘也, 井上 遼太郎, 徳永 幸太郎, 兵藤 晋 (東京大学・大気海洋研究所)	3F0945 魚類 形態 ドジョウ (<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>) の触鬚とそれを支配する神経系に関する発生的研究 ○水國 夏希, 堀井 強吾, 中川 亮大, 佐藤 優奈, 隈元 拓真, 小牧 裕司, 齋藤 卓, 福井 真生子, 村上 安則 (愛媛大学大学院理工学研究科)
10:00	3A1000 昆虫類 行動 木本性植物の葉のショウジョウバエ種への誘因効果 椿井 龍三, 澤 正実, ○初見 真知子 (東京都立大学・理・生命科学)	3B1000 魚類 発生 タツノオトシゴで見つかった新規 ZP 遺伝子 ○山下 直和輝, 湯川 智史, 川口 眞理 (上智大・院理工・生物)	3C1000 魚類 生理 脳下垂体 Opn3 発現細胞から紐解く光内分泌メカニズム ○福田 彩華, 佐藤 恵太, 渡我部 育子, 内海 秀子, 東島 真一 (自然科学研究機構 基礎生物学研究所)	3D1000 甲殻類 生理 底生甲殻類とオオグソクムシ属 <i>Bathynomus</i> の代謝速度と体組成の比較 ○田中 章吾, 和泉 匠真, 霜島 湖音, 杉村 誠, 西川 湧馬, 森滝 丈也, 八巻 鮎太, 八木 光晴 (長崎大学・総合生産科学研究科)	3E1000 魚類 内分泌 甲状腺ホルモン受容体全サブタイプ欠損メダカにおける妊性への影響 ○明正 大純, 杉島 友美, 小林 亨 (静県大・食品・環境)	3F1000 魚類 形態 魚脳の 3D カタログ作成と魚種間脳形態比較 ○八城 和輝, 吉田 将之 (広島大学・院統合生命科学)
10:15	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間
10:30						

9:00~10:30

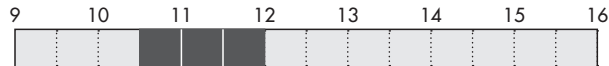


G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
3G0900 魚類 発生 コリドラスの独特な繁殖様式 Sperm drinking を可能にする精囊タンパク質 CA12 の合成過程解析 ○増戸 桂太, 森野 那々実, 山本 真穂, 近藤 朗水, 桜川 朋哉, 紙谷 惇樹, 佐藤 伴, 河野 菜摘子 (明治大学・農・生命科学)	3H0900 魚類 遺伝 無顎類と有顎類の間で起きた DNA トランスポゾン の水平伝播 ○飯田 敦夫, (名古屋大学大学院生命農学研究科)	3I0900 軟体動物 細胞 ムカデミノウミウシにおける柔軟な細胞内共生を司る遺伝的基盤 ○溝端 秀彬, 下村 美秀, 高橋 健太, スミス 梨花, 山田 優佳, 米澤 遼, 栗原 慧太, 名塚 誠也, 木下 滋晴, 浅川 修一 (東京大学・院農・水圏生物科学)	3J0900 昆虫類 生態 ルイスツノヒョウタンクワガタにおける世代重複が次世代の適応度に与える影響 ○山元 陽介, 千頭 康彦, 後藤 寛貴 (静岡大学・院理・総科技)	3K0900 魚類 発生 ゼブラフィッシュ胚において PI3K シグナルは Hif1α を介して造血幹/前駆細胞形成を促進する ○武田 隆志, 原田 周, 平川 悠斗, 小林 功 (金大院・自然科学・生命理工)	3L0900 魚類 発生 脊椎動物の正中骨格構造は「稜鱗」から段階的な進化を経て「鰭骨格」へと進化した ○宮本 知英, 三上 智之, 黒田 純平, 富田 武照, 金子 篤史, 本田 祐基, 服部 ヒカルド 修平, 工樂 樹洋, 安齋 賢, 田村 宏治, 上坂 将弘 (東北大学・生命科学研究科)
3G0915 尾索動物 発生 ホヤ胚の体軸回転における尾部ねじれは幼生期にかけて減少するが、キラルな筋原線維の構造により残存ねじれとして維持される ○小暮 悠暉, 西尾 美咲, 奥田 寛, 岡 浩太郎, 堀田 耕司 (金沢大学・ナノ生命科学研究所, 慶應義塾大学・理工学部・生命情報学科)	3H0915 昆虫類 遺伝 クワガタムシ科における大顎の性的二型喪失と性決定遺伝子発現との関連 ○箕田 悠里, 近藤 颯人, 大津 樹, 千頭 康彦, 後藤 寛貴 (静大院・総科技・理)	3I0915 緩歩動物 細胞 クマムシにおける細菌 KatG 様カタラーゼの細胞質局在 ○田中 苅, 荒川 和晴 (慶應・IAB)	3J0915 棘皮動物 生態 北海道近海のサメガレイ Clidoderma asperrimum (Temminck & Schlegel, 1846) が捕食するクモヒトデ ○酒井 彩衣, 岡西 政典, 手良村 知功 (東海大)	3K0915 魚類 発生 真骨魚類ヒレ配置進化と HoxC 遺伝子群シス/トランス制御変化の関わり ○田中 祥貴, 本田 祐基, 山本 洋嗣, 安齋 賢 (岡山大学・臨海実験所)	3L0915 尾索動物 発生 ホヤ幼生グリア細胞の多様性と多機能性の解析 ○大川 奈菜子, 小林 健司, 一寸木 明日香, レグー アレクサンドル, 宮奥 香理, 佐藤 ゆたか (京都大・院理・生物科学)
3G0930 尾索動物 発生 ホヤ精子誘引物質 SAAF の合成経路の探索 ○吉田 学, 吉田 薫, 神保 充 (北里大学・一般教育部)	3H0930 昆虫類 遺伝 タケウチトゲアワフキ (半翅目) における立体構造形成に関与する遺伝子の探索 ○杉浦 幹太, 大津 樹, 千頭 康彦, 道羅 英夫, 後藤 寛貴 (静岡大・院創造・バイオサイエンス)	3I0930 昆虫類 細胞 フタホシコオロギ全脳の一細胞トランスクリプトーム解析による細胞型アトラス ○宮本 竜也, 寺尾 勘太, 松本 幸久, 朝日 透, 片岡 孝介 (早稲田大学 先進理工学研究科)	3J0930 棘皮動物 生態 佐渡島におけるウミシダ類の共生生物相 ○飛田 峻馬, 大森 紹仁 (新潟大学・院・自然科学)	3K0930 魚類 発生 魚類の孵化腺細胞の集団移動を制御する分子メカニズム ○山中 朔人, 池田 貴史, 菊地 和, 安藤 康史, 武田 洋幸 (京都産業大学・生命科学)	3L0930 尾索動物 発生 Cdkn2 遺伝子を喪失したマボヤは、外来性の Cdkn2 に対する未だ反応性を保持している ○金野 玲南, 結城 栞, 荒木 功人 (岩手大学大学院理工学研究科自然・応用科学専攻生命科学分野)
3G0945 尾索動物 発生 シingleセル RNA シーケンスを用いたカタウレイボヤ 64 細胞期における遺伝子調節の解析 ○青山 佳史, 天海 花菜, 鹿島 誠, 佐藤 ゆたか (京都大学・大学院理学研究科・生物科学専攻)	3H0945 昆虫類 遺伝 スギオシロアリにおける doublesex の同定と発現解析 ○古成 悠, 藤原 克斗, 林 良信, 梅 浩平, 坊農 秀雅, 前川 清人 (富山大・院理工)	3I0945 昆虫類 細胞 昆虫および近縁節足動物における上皮膚ヘリンの接着特異性の進化と構造的特徴: 網羅的変異解析とクライオ EM 解析に基づく研究 ○藤城 耕陽, 後藤 開, 岡本 萌, 山平 寿智, 宮西 弘 (宮崎大学・農工院)	3J0945 魚類 生態 隣接河川に生息するスラウェシ島メダカ 2 種の種分化と海水順応性との考察 ○藤城 耕陽, 後藤 開, 岡本 萌, 山平 寿智, 宮西 弘 (宮崎大学・農工院)	3K0945 魚類 発生 トラフグ属仔魚における新規テトロドトキシン高蓄積細胞の超微形態解析 ○福崎 京史郎, 富田 憲司, 米澤 遼, 渡邊 壮一, 溝端 秀彬, 高橋 健太, 井原 一生, 金子 結唯, 渡邊 衣乃莉, 白取 那帆, 田中 梨咲, 塚原 玲奈, 岡崎 玲, 吉武 和哉, 木下 淑晴, 岡部 泰基, Rafuodin, Ahya Muhammad, 永見 新, 松原 創, 鈴木 信雄, 浅川 修一, 糸井 史朗 (東大院農)	3L0945 尾索動物 発生 ワカレオタマボヤの表皮上におけるセルロース形成過程を明らかにする試み ○武富 祐己 (鹿児島大学大学院 理工学研究科 理学専攻 生物学プログラム 小沼研究室)
3G1000 尾索動物 発生 カタウレイボヤの 16 細胞期における割球特異的遺伝子発現制御の研究 ○境野 千里, 小田(石井) いずみ, 佐藤 ゆたか (京都大学・院理・生物科学)	3H1000 昆虫類 遺伝 クワガタムシ科におけるメス化遺伝子 transformer パログのオス分化への関与 ○大津 樹, 増田 弘夢, 千頭 康彦, 道羅 英夫, 後藤 寛貴 (静大院・創造・バイオサイエンス)	3I1000 昆虫類 細胞 ショウジョウバエ感覚ニューロンにおける外因性シグナルによる樹状突起再編成メカニズムの解明 ○三原 圭貴, 古澤 孝太郎, E Seon Kim, 榎本 和生 (東京大学・院理・生物科学)	3J1000 魚類 生態 アカマンボウ目深海魚における脳神経系の解剖学的解析 ○長尾 直樹, 小出 哲也 (帝京科学大学・生命環境学部・感覚生態学研究室, 茅ヶ崎市博物館・学芸専門員)	3K1000 魚類 発生 メダカ仔魚の背側咽頭領域における一過性 cavity system の再編成: 迷宮器官進化への示唆 ○尾内 隆行, 成瀬 清, 甲本 真也, Mate Verga, Peter Fabian (福井大学・医学部・解剖学)	3L1000 尾索動物 発生 ワカレオタマボヤ表皮におけるセルロース合成酵素 CesA2 の遺伝子発現の変化を読みとる試み ○諏訪 伸太郎, 渡部 夏菜子, 三輪 真紀子, 小沼 健 (鹿児島大学・院理工・総合理工)
休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間

一般口演発表◇第3日目 9月5日(土)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
10:30	3A1030 昆虫類 行動 ウキクサミズウゾウムシが示す水上歩行と陸上歩行の運動学的比較 ○左倉 和喜, 仲田 資季, 谷野 宏樹, 千頭 康彦, 村中 智明 (産業技術総合研究所・バイオものづくり研究センター)	3B1030 昆虫類 発生 ショウジョウバエにおける卵巣/腸組織間相互作用を介した腸管の高温ストレス耐性獲得の仕組み ○菊岡 勇人, 松本 奈美佳, 田中 彩葉, 表田 花菜子, 吉田 直矢, 渡辺 純貴, 向 正則 (甲南大学院・自然科学・生物学専攻)	3C1030 魚類 生理 トラザメの胚発生環境を支える抗菌分子群: マルチオキスによる同定と機能解析 ○高木 互, 多形 恵美, 廣木 結, 青山 華子, 下山 紘也, 徳永 幸太郎, 高木 俊幸, 兵藤 晋, 石田 真巳, 岡井 公彦 (東京大学・大海研)	3D1030 環形動物 生理 環形動物ミドリシリスのストロナイゼーションに伴う周期的な性分化機構 本藤 あゆみ, 佐藤 大介, 小口 晃平, ○三浦 徹 (東京大学・院理・臨海)	3E1030 棘皮動物 内分泌 ヒトデ (<i>Asterias rubens</i>) のインスリン様ペプチド7 ○三田 雅敏, 片山 秀和, Escudero Castelañ Nayeli, 清本 正人, Maurice, R Elphick (お茶の水女子大学・湾岸生物教育研究所)	3F1030 魚類 形態 メダカ卵膜上の付着毛形成に関わる zp 遺伝子の機能解析 ○横尾 基成, 平田 実奈, 市原 知哉, 松本 有樹修, José Carranza, 菊地 真理子, 田中 実, 安齋 賢 (岡山大学 臨海実験所, 名古屋大 院理 生命理学)
10:45	3A1045 昆虫類 行動 昆虫用仮想現実の枠組みを用いた複雑環境下における昆虫の適応行動メカニズム ○関和 諒子, 大橋 ひろ乃, 志垣 俊介 (総合研究大学院大学・先端学術院・先端学術専攻, 国立情報学研究所)	3B1045 昆虫類 発生 キイロショウジョウバエ卵巣における熱ストレス誘導性の卵細胞の品質変化とその次世代に与える影響 ○辻 秀平, 菊岡 勇人, 向 正則 (甲南大学・院自然科学・生物学)	3C1045 魚類 生理 メダカ脳の短時間生体外維持法の確立と薬理学的評価 ○三谷 太暉, 福岡 伸之, 加川 尚 (近畿大学・院総理・理学)	3D1045 環形動物 生理 ミズ逃避行動に関わる神経活動におけるグルタミン酸の効果 ○押久保 友菜, 北村 美一郎 (関東学院大・理工・生命)	3E1045 棘皮動物 内分泌 ウニ綱における多様な生殖系列形成様式の比較解析 ○森田 俊平, 清本 正人, 熊野 岳 (東北大学大学院生命科学研究所附属浅虫海洋生物学教育研究センター, 東北大学変動海洋エコシステム高等研究所 (WPI-AIMEC), お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所)	3F1045 魚類 形態 アカムツはドコサヘキサエン酸により構成されるリポイド型網膜タペータムを持つ ○六車 香織, 佐久川 カミラ, 横井 綺梨, 田口 智也, 紺野 在, 石垣 幸二, 鈴木 香里武, 三宅 裕志, 武井 史郎 (中部大学・応用生物・環境生物科学)
11:00	3A1100 昆虫類 行動 ショウジョウバエの楽観を創る報酬系と罰系ドーパミン神経群の機能接続 ○山方 恒宏, 高橋 伸碩, 片山 統裕, 谷本 拓 (秋田大学・院理工・生命科学)	3B1100 昆虫類 発生 ショウジョウバエ卵巣の生殖幹細胞中の p53 陽性の核内構造の性質 ○今安 天音, 川崎 柚依, 向 正則 (甲南大学・院自然科学・生物学)	3C1100 魚類 生理 ゼブラフィッシュ仔魚の体色変化パターンの光依存的転換メカニズムの探索 ○小島 大輔, 張 家潤, 竹前 和彦, 浅野 吉政 (東京大学・院理・生物科学)	3D1100 環形動物 生理 無脊椎動物繊毛型オプシンの G タンパク質共役特異性の多様化 ○大道 一輝, 川口 倫輝, 大内 淑代, 佐藤 恵太, 塚本 寿夫 (神戸大学・院理・生物)	3E1100 昆虫類 内分泌 不完全変態昆虫と完全変態昆虫の胚発生における幼若ホルモン応答性のシフト ○乾 智洋, 高橋 悠太, 外川 徹 (日大・文理・生命科学, 日大・院総合基・相関理)	3F1100 魚類 形態 グラスキャットフィッシュ後脳における複数の電気感覚地図 ○神原 慧, 福田 和也, 小川 宏人, 福富 又三郎 (北海道大学・院生命・生命システム科学)
11:15	3A1115 昆虫類 行動 ミツバチの尻振ダンス振動に対する触角定位は日齢と巣内役割に依存する 田中 花菜, 一木 輝久, 高橋 伸碩, Walter Farina, ○藍 浩之 (福岡大学・理・地球圏科学)	3B1115 甲殻類 発生 オオミジンコにおいて同定された筋組織内の新規造血ニッチ ○八田 桃子, 宮川 一志, 竹内 裕, 小林 功 (金大院・自然科学・生命理工)	3C1115 魚類 生理 ヤツメウナギ幼生の遊泳行動に関わる光入力系の探索 ○土井 茉史, 保 智己, 川野 絵美 (奈良女子大学・院人間文化総合・化学生物環境)	3D1115 環形動物 生理 チスイビル類 <i>Hirudo ver-bana</i> の染色体レベル参照ゲノムと神経節単位トランスクリプトーム解析 ○富菜 雄介, 渡邊 崇之, 山口 勝司, 三上 秀治, 重信 秀治 (北海道大学・電子科学研究)	3E1115 昆虫類 内分泌 カイコガ翅原基における脱皮ホルモン活性化酵素 shade による蛹コミットメントの制御メカニズム ○大倉 裕生, 外川 徹, 乾 智洋 (日大・院総合基・相関理)	3F1115 魚類 形態 タイリクバラタナゴの産卵管を駆動する骨格筋系を支配する特別な脊髄神経系 ○田口 智也, 中川 涼介, 紺野 在, 萩尾 華子, 山本 直之, 武井 史郎 (中部大学・院応用生物・応用生物)
11:30	3A1130 昆虫類 行動 帯電水に対する昆虫の行動反応実験系の構築 ○土原 和子, 高梨 琢磨, 向井 裕美, 平栗 健史, 清水 博幸 (東北学院大学・情報)	3B1130 鉅角類 発生 オオヒメグモ胚において細胞除去操作により体軸形成の方向を変更できる ○藤原 基洋, 秋山-小田 康子, 小田 広樹 (JT 生命誌研究館, 理研・BDR)	3C1130 魚類 生理 ヤツメウナギ果実体におけるメラノプシン発現細胞の組織学的特徴 ○藤原 優里, 保 智己, 小柳 光正, 寺北 明久, 川野 絵美 (奈良女子大学・院人間文化総合・化学生物環境)	3D1130 軟体動物 生理 チャコウラナメクジ嗅覚中枢ニューロンでの膜電位イメーシング ○小林 卓, 吉川 諒一, 香川 將真, 池田 有那, 定本 久世 (徳島文理大学・神経研, 徳島文理大学・香川薬)	3E1130 昆虫類 内分泌 カイコガ PTPMT1 突然変異体における幼若ホルモンシグナルの減衰 小南 佑輔, 本間 悠里, 黄 嵐郁, 乾 智洋, ○外川 徹 (日大・文理・生命科学)	3F1130 魚類 形態 ゼブラフィッシュ椎骨の形態の発達における骨芽細胞と破骨細胞の役割 ○各務 遼, 永井 優汰, 和田 直之, 坂下 美咲 (東京理科大学・創域理工・生命生物科学)
11:45	3A1145 昆虫類 行動 クロマルハナバチの室内人工通路での採餌における選択行動とリクルート効果の解析 ○高森 羽響, 佐伯 光陽, 光畑 雅宏, 藍 浩之 (福岡大学・院理・地球圏科学)		3C1145 魚類 生理 サケ科のゲノム重複に起因した浸透圧・温度受容体候補遺伝子 TRPV4 における機能とその進化過程の解明 ○小西 吟知, 齋藤 くれあ, 齋藤 茂 (長浜バイオ大・院・バイオサイエンス)	3D1145 軟体動物 生理 回路可塑性はオペラント条件づけにおける行動選択と実行時間圧縮を協調的に制御する ○桃原 悠人, パー ジョン (テキサス大学, 神経生物・解剖学, 神戸大学大学院医学研究科 神経生理学分野)		3F1145 魚類 形態 メダカ卵巣における排卵後の卵巣開口部の修復への細胞分裂と細胞接着の関与 ○近藤 祥子, 荻原 克益 (北海道大学・院生命・生命科学)
12:00						

10:30~12:00

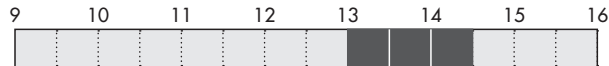


G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
3G1030 尾索動物 発生 ワカレオタマボヤ表皮におけるセルロース分解酵素 GH6 の発現細胞のマッピング ○西村 穂乃央, 近間 由宇, 諏訪 伸太郎, 三輪 真紀子, 小沼 健 (鹿児島大学・理学部・理学科・生物学プログラム, 鹿児島大学大学院・理工学研究科・理学専攻・生物学プログラム)	3H1030 昆虫類 遺伝 QTL 解析による海浜性ゾウムシ <i>Scepicus tigrinus</i> における体色制御の遺伝的基盤の探索 ○荒木 祥文, 松林 圭, 安藤 俊哉 (北海道大学・地球環境科学研究所・環境生物科学部門)	3I1030 昆虫類 細胞 昆虫クチクラの機能的ナノ構造を構築するしくみ ○林 茂生, 稲垣 幸, 板倉 由希, 和田 宝成 (理化学研究所生命機能科学研究センター, 神戸大学医学研究科)	3J1030 魚類 生態 スラウェシ島の古代湖における共存性メダカ類の交雑における空間的異質性 ○ノフリアント アンディ ブディ, 柿 岡諒, 山平 寿智 (Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus)	3K1030 魚類 発生 魚類受精現象の動画記録～精子の卵への進入と表層反応～ ○春見 達郎, 柳町 隆造, 永見 新, 松原 創 (旭川医科大学・解剖学)	3L1030 尾索動物 発生 ホヤ精子走化性における倍数変化感知モデルの実験的検証 ○柴 小菊, 稲葉 一男, 吉田 学, 中垣 俊之, 飯間 信 (お茶大・湾岸研究所)
3G1045 尾索動物 発生 ワカレオタマボヤの表皮における収縮弛緩運動 (CRE) の方向性を明らかにする試み ○谷口 陽亮, 佐々木 けいと, 坂本 百音, 三輪 真紀子, 小沼 健 (鹿児島大学・院理・理工学研究科・理学専攻・生物学プログラム)	3H1045 昆虫類 遺伝 アブラムシの虫こぶ形成に関わる分子基盤の解明 ○香掛 磨也子, 森山 実, 植松 圭吾, 重信 秀治, 頼本 隼汰 (産総研)	3I1045 昆虫類 細胞 乾燥ユスリカのメス因子の機能解析 ○吉田 祐貴, Gregorius Altius Pratama, 大串 紫穂, 堀田 真彦, 中西 瑛太, Richard Cornette, Oleg Gusev, 黄川田 隆洋 (農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門)	3J1045 魚類 生態 円口類ヌタウナギの成長に関する研究: 飼育室とフィールドからの知見 ○山口 陽子, 吉田 真明, 小野 廣記 (鳥根大学・生資・生命科学)	3K1045 両生類 発生 アフリカツメガエル <i>gsx1</i> 同祖遺伝子対における発現および機能の非対称性 ○井口 和香, 味噌井 智哉, 戸澤 紗代, 福井 彰雅 (中央大・院・理工・生命・組織構築)	3L1045 尾索動物 発生 ワカレオタマボヤの形態形成の完了時にみられる形態変化 (tail shift) と運動変化のタイムラプス記録 ○石津 拓海, 三輪 真紀子, 小沼 健 (鹿児島大学・大学院・理工学研究科・理学専攻・生物学プログラム)
3G1100 棘皮動物 発生 バワンウニのブルテウス幼生に見られる迅速な骨折修復 ○宇田川 澄生, 清本 正人 (お茶大・湾岸)	3H1100 昆虫類 遺伝 CPR クチクラタンパク質の遺伝子クラスターにおける同調的な遺伝子発現 ○高橋 悠太, 乾 智洋, 外川 徹 (日大・院総合基・相関理)	3I1100 昆虫類 細胞 アブラムシ共生系における細菌伝達の多様性と保存性 ○野崎 友成, 重信 秀治 (基礎生物学研究所 進化ゲノミクス研究室, 総合研究大学院大学先端学術院 基礎生物学コース)	3J1100 魚類 生態 テッポウエビとハゼ類の共生について ○玉城 翔太郎, 豊田 賢治, 大平 剛 (神奈川大学 大学院 理学研究科 理学専攻 生物科学領域)	3K1100 両生類 発生 顎口類における <i>sox9</i> 顎エノンサーの同定とゲノム編集による機能解析、および円口類との比較 ○鈴木 崇生, Nusrat Hossain, 井川 武, 鈴木 誠, 鈴木 菜花, 日下部 りえ, 萩野 肇 (広島大学・院統合生命, 広島大学・両生類研究センター)	3L1100 棘皮動物 発生 分裂する6腕種チビクモヒトデの再生過程と生活史 ○坂田 美樹, 脇田 大輝, 大友 洋平, 千代田 創真, 三浦 徹 (東京大学・院理・臨海)
3G1115 棘皮動物 発生 イトマキヒトデ卵母細胞における減数分裂再開機構の解析 ○山崎 結那, 佐々木 雄彦, 佐々木 純子, 千葉 和義 (お茶の水女子大学・院ライフ・生命科学)	3H1115 昆虫類 遺伝 二重共生系において共生器官に高発現する新規分泌タンパク質遺伝子の探索 ○頼本 隼汰, 重信 秀治 (筑波大学・TARA)	3I1115 昆虫類 細胞 CMT 関連 dynamin 変異による Patronin/CAMSAP 依存的微小管安定化機構の解析 ○濱生 こずえ, 三木 悠輝, 井上 岳信, 奥村 美紗子, 千原 崇裕 (広島大・院統合生命・基礎生物学 P, 広島大・院統合生命・生命医科学 P)	3J1115 魚類 生態 景観生態学的手法を用いた水田生態系における淡水魚類の生息適地探索 ○山崎 裕治, 西尾 正輝 (富山大学・理)	3K1115 両生類 発生 原腸形成期におけるアフリカツメガエル同祖遺伝子対の網羅的発現量解析 ○綿井 美歩, 奥村 晃成, 鹿島 誠, 原本 悦和, 戸澤 紗代, 鈴木 賢一, 福井 彰雅 (中央大学・院・理工・生命)	3L1115 棘皮動物 発生 イトマキヒトデ内因性アポトーシスにおける caspase-9 失活機構の解明 ○山科 知子, 千葉 和義 (お茶の水女子大学・院ライフ・生命科学)
3G1130 棘皮動物 発生 ウニ幼生の食道を巻く筋肉形成にインテグリンが機能する ○鈴木 智佳, Nathalie Oulhen, Gary Wessel (Brown University, Department of Molecular Biology, Cell Biology and Biochemistry)	3H1130 昆虫類 遺伝 紅型ナミメントウの黒点サイズの温度可塑性の遺伝的基盤から斑紋の多様化を考える ○家本 壮一, 加藤 輝, 松岡 佑児, 新美 輝幸, 大門 高明, 安藤 俊哉 (京都大学・院農, 東北大学・生命科学)	3I1130 昆虫類 細胞 コクヌストモドキの端栄養型卵巣における前濾胞細胞および egg chamber 形成の制御機構の解明 ○西 諭仁郎, 前野 佑花, 矢崎 真唯子, 小谷 英治, 高木 圭子 (京都工芸繊維大学大学院・工芸科学研究科・応用生物学専攻・昆虫学研究室)	3J1130 魚類 生態 ハブスメダカとジャワメダカにおける塩分環境と生殖隔離機構の関係 ○Patrick Aime, Hasan Veryl, 山平 寿智, 竹花 佑介 (長浜バイオ大学大学院・バイオサイエンス研究科・バイオサイエンス専攻)	3K1130 両生類 発生 アホロートルにおける FGF2 による脱神経誘発性筋萎縮の抑制 ○中山 晴貴, 佐藤 伸 (岡山大学・環境生命自然科学研究科)	3L1130 棘皮動物 発生 イトマキヒトデ卵における精子星状体の回転運動機構解析 ○松本 貴子, 田中 奈穂美, 佐久間 海帆, 千葉 和義 (お茶の水女子大学・院ライフ・生命科学)
3G1145 昆虫類 発生 玉虫色を呈するヒロズキンバエ (<i>Lucilia sericata</i>) のクチクラにおける構造色発現機構の解析 ○下山 結也, 小川 展弘, 田尻 怜子 (千葉大学・IAAR, 千葉大学・院理)	3H1145 甲殻類 遺伝 ミジンコの新規幼若ホルモン誘導遺伝子 headcase の機能解析 ○高畑 佑伍, 草島 萌, 阿部 潮音, 宮川 美里, 鈴木 智大, 道羅 英夫, 宮川 一志 (宇都宮大学・バイオサイエンス教育研究センター)	3I1145 棘皮動物 細胞 バワンウニ初期胚の間期核における染色体配置のイメージング解析 ○井口 大雅, 杉山 文香, 栗津 暁紀, 山本 卓, 坂本 高昭 (広島大学・院・統合生命科学)	3J1145 両生類 生態 日本産イモリ属 (<i>Cynops</i>) の繁殖戦略と適応進化 ○秋山 繁治 (山脇有尾類緩急所)	3K1145 両生類 発生 ツメガエル外胚葉ターニングにおける機械的刺激の重要性 ○道上 達男, 高橋 亮丞, 吉崎 純香, 浅沼 大樹, 佐藤 尊彦, 福井 彰雅, 岡嶋 孝治 (東京大学・院総文・広域科学)	3L1145 昆虫類 発生 コクワガタにおけるインスリン様ペプチドの機能阻害による肌臓耐性と栄養蓄積への影響 ○中田 大輝, 北村 明浩, 村上 博紀, 千頭 康彦, 後藤 寛貴 (静大院・総科技・理)

一般口演発表◇第3日目 9月5日(土)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
13:00	3A1300 昆虫類 行動 タイリクヒメハナカメムシにおける性フェロモンの探索 ○大橋 ひろ乃, 藤井 毅, 岡村 鮎, 日本 典秀, 櫻井 健志 (東農大・農・デザイン農)		3C1300 魚類 生理 硬骨魚類メダカにおける新規脳深部光受容器官の同定 ○花里 実優, 川野 絵美 (奈良女子大学・院人間文化総合科学・自然科学)	3D1300 軟体動物 生理 温度変化に対するイソアワモチの神経細胞の応答 ○西 孝子 (専修大学・自然科学)	3E1300 甲殻類 分類・系統 スナウミナナフシ属甲殻類の分子系統解析と小笠原諸島産の淡水性未記載種 ○白木 祥貴, 富川 光, 佐々木 哲朗, 館田 洋祐, 高橋 千佳子, 布村 昇 (北海道大学・大学院理学研究科・自然史科学専攻)	3F1300 両生類 形態 ツメガエル血管内に生成されるマイクロパーティクル様小胞の由来と形成機序 ○青山 姫香, 西尾 活誠, 田代 明花音, 蛭尾 はるか, 加藤 尚志 (早稲田大学・教育・生物)
13:15	3A1315 昆虫類 行動 深層学習に基づくコオロギ闘争行動解析基盤の構築 Deepak Ishwara Shivaprakash, ○渡邊 崇之 (総研大・統合進化)	3B1315 多足類 発生 ヤスデの増節変態に伴う脱皮関連遺伝子の時空間的発現動態 ○千代田 創真, 八尾 晃史, 小口 見平, 三浦 徹 (東大・院理・臨海)	3C1315 魚類 生理 ゼブラフィッシュにおける不安静動の惹起と順化に対する背景色の効果 ○嶋野 頌子, 吉田 将之, 曾 智 (広島大学・院・統合生命科学)	3D1315 軟体動物 生理 ヨーロッパモノアラガイのカノピー細胞は光周期依存的にタンパク質の発達/成熟を制御する 福本 その子, 志賀 向子, ○浜中 良隆 (大阪大学・院理・生物)	3E1315 演題取消	3F1315 両生類 形態 有尾両生類の体内受精特異的な精子運動に対する頭部形態の適応に関する研究 寺岡 怜司, 佐古田 優里, 池田 幸正, 渡辺 絵理子, ○渡邊 明彦 (山形大学・理・生物)
13:30	3A1330 昆虫類 行動 シュモクバエ2種の栄養環境変化による個体間競争シナリオの正直さと投資戦略の可塑性 ○土屋 昌也, Chow-Yang Lee, 安達 卓 (学習院大学・院自然科学・生命科学)	3B1330 線形動物 発生 線虫類におけるエクダイン受容体の複数回喪失: 脱皮制御の進化シナリオの再考 ○山川 隼平, Barf Lisa-Marie, Hejnol Andreas (Friedrich Schiller University Jena, Institute of Zoology and Evolutionary Research)	3C1330 魚類 生理 ヤツメウナギ中脳の脳深部光受容器官に発現する神経伝達物質の組織学的解析 ○笹田 悠加, 保 智己, 川野 絵美 (奈良女子大学・院人間文化総合・自然科学)	3D1330 刺胞動物 生理 双安定性オプシンがレチナール希薄条件で結合する異性体型の解析 ○岩下 敬司, 塚本 寿夫 (神戸大学・院理・生物)	3E1330 多足類 分類・系統 東アジアと北米に分布するアカムカデ属の歴史生物地理学的研究 (ムカデ綱: オオムカデ目: アカムカデ科) ○上西 太郎, Chi-Woo Lee, Wanggyu Kim, Taeseo Park, 中野 隆文 (京都大学・院理・動物系統)	3F1330 両生類 形態 イベリアトゲイモリの尾部再生における細胞増殖とミトコンドリアの局在について ○千郷 由依, 西松 伸一郎, 清藤 恵美 (川崎医科大学・院・医療技術)
13:45	3A1345 昆虫類 行動 ショウジョウバエ属における逃避行動の種差を生み出す神経基盤の解明 ○井上 健彰, 辻 真人, 榎本 和生 (東京大学・院理・生物科学)	3B1345 環形動物 発生 環形動物ミドリシリスのストロナイゼーション: 二次頭部/二次尾部形成における前後軸パターン ○佐藤 大介, 小口 見平, 三浦 徹 (東京大学・院理・臨海)	3C1345 魚類 生理 インテグリン結合分子 itgb1bp2 の欠損はゼブラフィッシュにおいて骨格筋形成異常を引き起こす ○竹澤 涼, 木村 丈一, 和田 清二, 平田 晋三 (青山学院大学・院理工学・生命科学)	3D1345 刺胞動物 生理 造礁サンゴウスエダミドリイシ由来オプシンの新奇分子特性の生成機構の解析 ○懸山 裕希矢, 酒井 祐輔, 杉原 智博, 小柳 光正, 寺北 明久 (大阪公立大学 大学院理学研究科 生物学専攻)	3E1345 緩歩動物 分類・系統 相模湾沿岸域に生息する海産クマムシの分布および分類学的検討 ○吉村 玖桃, 黒田 裕樹 (慶應義塾大学大学院・政策メディア研究科)	3F1345 ほ乳類 形態 マウス子宮頸部内部構造における間質の分化と性ホルモン応答性 ○石田 妃花, 鶴見 優梨花, 中島 忠章, 佐藤 友美 (横浜国立大学・院生命ナノシステム科学研究科・生命環境システム科学専攻)
14:00	3A1400 昆虫類 行動 カイコガの交配試行を解発する因子とその受容器の特定 ○櫻井 健志, 大西 洸太, 佐藤 涼一, 中 秀司, 藤井 毅 (東農大・農)	3B1400 昆虫類 新興・複合領域 昆虫嗅覚受容体を発現させたセンサ細胞によるジェオスミン簡易検査技術の開発 ○光野 秀文, 祐川 侑司, 黒田 枝里, 二本 佐和子, 山平 真也, 山口 哲志, 櫻井 健志, 小原 久美子, 神崎 亮平 (東京大学・先端研)	3C1400 魚類 生理 ゼブラフィッシュ $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体パラログの発現分布とチャネル機能の比較解析 ○善方 文太郎, 中條 浩一 (自治医大・医・統合生理学)	3D1400 刺胞動物 生理 造礁サンゴ由来の新規青色光感受性オプシンにおける分光学的特性と細胞内シグナルの解析 ○酒井 祐輔, 今元 泰, 大飼 紫乃, 富永 祐利, 杉原 智博, 山下 高廣, 片山 耕大, 懸山 裕希矢, 岡 利々歌, 奥野 永莉香, 岩崎 誠, 神取 秀樹, 小柳 光正, 寺北 明久 (大阪公立大学・院理・生物学専攻)	3E1400 環形動物 分類・系統 ミノイソメ属多毛類の多様性と寄生性進化 ○波々伯部 夏美, 山守 瑞奈, 小川 晟人, 幸塚 久典, 福岡 雅史, 森滝 文也, Greg W. Rouse, 自見 直人 (海洋研究開発機構・生命地球科学)	3F1400 ほ乳類 形態 高解像度 MRI を活用したバーチャル解剖によるコアラの成体筋骨格形態と育児嚢内形態形成過程の解析 ○東島 沙弥佳, 伊達 聖将, 寺田 康彦 (京都工芸繊維大学・応用生物)
14:15	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間	休憩・座長交代・演者試写の時間
14:30						

13:00~14:30

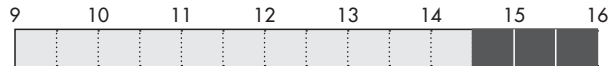


G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
3G1300 昆虫類 発生 エンマコオロギ属における 内因性卵休眠の分子基盤 と進化 ○長濱 良門, 村田 光陽, 平田 和也, 三野 流斗, 里村 和浩, 鈴木 丈詞, 田中 剛, 片岡 孝介 (東京農工大・院工・生命 工学)	3H1300 線形動物 遺伝 食餌は TGF- β 経路を介し て線虫の嗅覚機能老化を 制御する 曾根 琉生, 服部 颯太, ○関口 心愛, 野間 健太郎 (名古屋大学・理)	3I1300 魚類 細胞 メダカ鰭・頭腎培養で出現 する未知の急速増殖細胞 集団 ○吉田 瑞穂, 横山 莉那, 加藤 尚志 (早稲田大学・院先進理 工・生命理工)	3J1300 演題取消	3K1300 両生類 発生 両生類における四肢形成 開始タイミングの多様性理 解に向けた発生プログラムの 探索 ○戸澤 紗代, 松原 遼, 阿部 玄武, 竹内 隆, 福井 彰雅 (中央大学・理工・生命科 学)	3L1300 昆虫類 発生 代理宿主を用いて Aso- bara 属寄生蜂の宿主発生 操作の多様性に迫る ○近藤 颯人, Anastasiia Staroverova, 森 一葉, 上山 拓己, 頼本 隼汰, 重信 秀治, 島田-丹羽 裕子, 丹羽 隆介 (筑波大院・生命)
3G1315 昆虫類 発生 ウミスリカにおける潮間 帯適応に関連した成虫形 質の異時的発生調節 ○重谷 進乃介, 小口 晃平, 三浦 徹 (東大・院理・臨海)	3H1315 軟体動物 遺伝 コウモリダコの低酸素適応 に関わるタンパク質遺伝子 の進化 ○古山 圭吾 (島根大学・自然科学研究 科・農生命科学専攻)	3I1315 演題取消	3J1315 は乳類 生態 糞サンプルを用いた DNA メ タバーコーディング法による イノシシの季節的食性変化 の解析 ○更谷 有哉, 金子 洋平, 須田 隆一, 石間 妙子, 平川 周作 (福岡県保健環境研究所)	3K1315 両生類 発生 カエル系統で新奇に獲得 された指の骨格要素の形成 過程における gdf5 の空間 的発現パターンの解析 ○中西 健介, 中島 圭介, 古野 伸明, 田澤 一朗 (広島大・院・統合生命, 広島大・両生研)	3L1315 昆虫類 発生 ショウジョウバエ生殖系列 のメス化経路における ZC3H18 の役割 ○印南 花奈, 小林 悟, 太田 龍馬 (帝京大学・院理工・総合 理工学)
3G1330 昆虫類 発生 ショウジョウバエ核膜孔複 合体構成因子の RNAi を用 いた表現型解析 ○杉山 翔太, Hwiky Hwang, 栗原 優介, 石川 裕之 (千葉大学・融合理工学 府・生物)	3H1330 軟体動物 遺伝 シングルセル RNA-seq による アコヤガイ貝殻形成細胞 の同定 ○竹内 猛, 橋本 直樹, 樋口 恵太, 永井 清仁, 渡部 終五 (日本真珠振興会)	3I1330 魚類 細胞 メダカ排卵後濾胞組織分解 における Caspase 発現とそ の役割 ○岡野 壮一郎, 近藤 祥子, 荻原 克益 (北大・院生命科学・生 命システム科学)	3J1330 魚類 生化学 Neurocalcin が神経 特異 的応答に与える影響の解 析 ○齊藤 恭助, 岸野 桃子, 橋本 修志 (大阪大学・院理・生物科 学)	3K1330 両生類 発生 尾の根元と尾端で異なる再 生機構を解明する: Hox13 変異イモリを用いた解析 ○唐川 丈里, 添田 麗生, 坂本 歩, 松原 遼, 阿部 玄武, 竹内 隆 (鳥取大学・院医・医科学)	3L1330 昆虫類 発生 コクワガタ大頭における鋭 い構造形成過程の観察と 細胞外基質関連因子の発 現解析 ○畑田 桃花, 野澤 怜温, 吉野 彰勝, 萩原 仁, 千頭 康彦, 後藤 寛貴 (静岡大学・院総科技・理)
3G1345 昆虫類 発生 ショウジョウバエ卵巣にお ける生殖幹細胞形成に必要 な新規間質細胞集団の同 定 ○浅岡 美穂, 林 良樹, 小林 悟, 重信 秀治, 広海 健 (基礎生物学研究所・進化 ゲノミクス)	3H1345 軟体動物 遺伝 コウモリダコの Hox 遺伝子 から頭足類の新奇性を探る ○辰巳 偉大 (島根大学・大学院・自然 科学研究科・農生命科学 専攻・生命科学コース)	3I1345 鳥類 細胞 ニワトリ astrocyte における actin および actin 系細胞骨 格結合タンパク質の機能解析 ○竹本 百花, 井上 幸大, 生駒 千枝子, 笠井 虹汰, 佃 聡子, 田村 安樹子, 中田 志保子, 高野 和儀, 中山 綾子, 中川 裕之, 繁富 英治, 寺崎 朝子 (千葉大学)	3J1345 両生類 生化学 温泉ガエル (リュウキュウカ ジガエル) の高温適応に 関わる有酸素代謝関連タン パク質の機能解析 ○浅枝 優花, 萩野 肇, 三本木 至宏, 藤井 創太郎, 井川 武 (広島大学 両生類研究セ ンター)	3K1345 は虫類 発生 ヘビの体軸が長くなった進 化的に獲得された分子機構 の解明 ○佐藤 晋, 鈴木 孝幸, 重信 秀治 (大阪公立大学・理学研究 科・生物学専攻・発生生 物学研究室)	3L1345 昆虫類 発生 ヒストンラクチル化と減数分 裂期染色体の構造維持に 関する dCBP の機能 ○中山 敬介, 齋藤 大介, 林 良樹 (九州大学・院システム生 命科学・システム生命科 学)
3G1400 昆虫類 発生 加齢に伴うショウジョウバエ 卵巣構造の変化と Dcp-1 カスパーゼ ○永井 雄斗, 向 正則 (甲南大学・大学院・自然 科学科・生物学専攻・分 子遺伝学研究室)	3H1400 軟体動物 遺伝 メタゲノム解析からウミウシ 類と胃内マイコプラズマの 関係性を探る ○山田 優佳, 五條堀 淳, 寺井 洋平 (総研大・先導科学)	3I1400 は乳類 細胞 マウスにおける末梢神経再 生のためのパイオマテリア ルを用いた架橋法 ○A Zamani, L Kubicková, A Rábová, I Pračková, K Kocourková, M Kadlečková, R Minaříková, F Mikulka, M Minařík, A Minařík, M Joukal (Department of Anatomy, Masaryk University, Brno, Czech Republic)	3J1400 鳥類 生化学 インスリン依存性 GLUT の 種間比較に基づく糖結合ホ ケットの構造予測 ○牧原 菜々子, 岩澤 淳 (岐阜大学・院連農・生物 生産科学)	3K1400 鳥類 発生 心臓神経堤細胞の移動初 期における CXCR4/SDF1 シグナリングの役割の解明 ○卯田 優実, 井上 邦夫, 松花(谷) 沙織 (神戸大学・院理・生物)	3L1400 昆虫類 発生 ショウジョウバエ生殖系列 の品質管理機構における オートファジーの関与 ○関本 瑞穂, 太田 龍馬 (帝京大学・院理工・総合 理工学)
休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間	休憩・座長交代・ 演者試写の時間

一般口演発表◇第3日目 9月5日(土)

	A 会場 (N1)	B 会場 (N2)	C 会場 (E201)	D 会場 (E301)	E 会場 (E302)	F 会場 (E308)
14:30	3A1430 昆虫類 行動 異なる仕事に従事するセイヨウミツバチワーカー間の栄養交換行動の解析 ○原田 泰良, 灰塚 陸斗, 藍 浩之, 末次 翔太 (福岡大学・院理・地球圏科学科)	3B1430 昆虫類 新興・複合領域 ラクトルホウセキカミキリの鱗片におけるF-RD型フォトリック結晶の同定 ○大貫 良輔, 北川 達也, 吉岡 伸也 (東京理科大学・創域理工・先端物理)	3C1430 魚類 生理 メダカ属魚類の比較解析による低温適応の分子機構の探索 ○野村 春奈, 鹿島 誠, 安齋 賢, 工樂 樹洋, 成瀬 清, 吉村 崇, 中山 友哉 (名古屋大学・生命農学研究科・動物科学専攻)	3D1430 原生動物 生理 原生生物アプソモナス類の新奇紫外吸収型ロドプシンの分光学的特性 ○永田 崇, Luis Javier Galindo, 寶本 俊輝, Andrey Rozenberg, 高橋 大翔, Oded Béjà, 井上 圭一 (東京大学・物性研)	3E1430 刺胞動物 分類・系統 東北地方に生息する4タイプのエダアシクラゲの形質比較 ○酒井 実夢, 菊池 さくら, 竹田 典代, 出口 竜作 (宮城教育大・院教・理科)	3F1430 刺胞動物 分類・系統 マミスクラゲの国内伝搬経路 ○田中 秀規, 久山 尚紀, 小林 千余子 (大阪大学・院理・生物科学)
14:45	3A1445 昆虫類 行動 ショウジョウバエにおいて過去の経験と現在の選択肢が意思決定に統合される仕組み ○Maia Lisandra M Wang, Michael Schleyer (北海道大学・生命科学院)	3B1445 昆虫類 新興・複合領域 乾燥ホントダワラを用いたミルワーム飼育の可能性 ○木寺 啓太, 小林 透, 荒井 研一, 宮島 洋文, 高橋 秀幸, 今井 哲郎, 深江 一輝, 服部 充 (長崎大学大学院・総合生産科学)	3C1445 魚類 生理 ゼブラフィッシュ変異体を用いた網羅的な松果体光応答の解析 ○和田 清二, 沈 宝國, 小柳 光正, 平田 普三, 寺北 明久 (青山学院大学・理工・化学生命科学, 大阪公立大学・院理・生物)	3D1445 原生動物 生理 ソウリムシのgraded regenerative potentialの再構成: Hodgkin-Huxley型解析による膜電流動態の定式化 ○富永 貴志, 富永 洋子 (徳島文理大学神経科学研究科, 徳島文理大学香川薬学部)	3E1445 刺胞動物 分類・系統 多型性ヒドロ虫 Stylactaria misakiensis における他種ヒドロ虫 Leuckartiara sp. との群集接触で誘発される群集構成員の形態的变化 ○並河 洋, 小口 晃平 (国立科博・動物)	3F1445 その他 分類・系統 ニハイチュウにおける細胞外マトリックス遺伝子と極端な体制単純化 ○コウ シン, 古屋 秀隆 (大阪大学・院理・生物科学専攻)
15:00	3A1500 昆虫類 行動 ショウジョウバエ幼虫において報酬の再提示は報酬記憶の持続性を増長させる ○利嶋 奈緒子, 福島 彩夏, シュライアー ミハエル (北海道大学・教育イノベーション機構)	3B1500 昆虫類 新興・複合領域 昆虫触角を活用した小型匂いセンサシステムの基盤構築とその応用 ○祐川 侑司, 李 庭ミン, Stephan, S. Haupt, 中條 秀也, 神崎 亮平, 光野 秀文 (東京大学・先端研)	3C1500 魚類 生理 メダカを用いた視床下部CCKニューロンを介した栄養依存的生殖機構の探索 ○上原 峻, 神田 真司, 加用 大地 (東京大学・大気海洋研究所・海洋生命科学)	3D1500 原生動物 生理 有孔虫 Ammonia beccarii における電位依存性プロトンチャネル (Hv1) の電気生理学的および分子生物学的解析 ○Adisorn RATANAYOTHA, 大河内 善史, 長井 裕季子, 豊福 高志, 岡村 康司 (Laboratory of Integrative Physiology, Department of Physiology, Graduate School of Medicine, The University of Osaka, Laboratory of Neuroscience, Department of Anatomy, Faculty of Medicine, Srinakharinwirot Hospital, Mahidol University)	3E1500 刺胞動物 分類・系統 大東諸島周辺海域における深海性イシサンコ類の多様性 ○白水 菜南子, 千徳 明日香, 石原 優和, 伊藤 昌平, 土田 真二, 藤原 義弘 (琉球大学・院理・物質地球科学)	3F1500 その他 分類・系統 後生動物が有する細胞運動機構の進化的起源の推定 ○長谷川 湧太, 渡邊 日出海 (北海道大学大学院情報科学 院生体情報工学コース ゲノム情報科学研究室)
15:15	3A1515 昆虫類 行動 キイロショウジョウバエ幼虫における相対的価値学習 Sadniman Rahman, ○Michael Schleyer (北海道大学・教育イノベーション機構)	3B1515 昆虫類 新興・複合領域 ネムリユスリカの睡眠誘導における遺伝子発現の組織共通性と特異性 ○大神 紫穂, 吉田 祐貴, コルネット リシャール, 黄川田 隆洋 (東京大・院・新領域・先端生命)	3C1515 尾索動物 生理 ハイバースペクトルイメージングと大規模トランスクリプトーム解析により示された被覆類の透明卵の多系統性 ○紫藤 拓巳, 長谷川 尚弘, 泉水 奏, 宮坂 駿佑, 戸塚 望, 日下部 岳広, 植木 龍也, 小沼 健, 岡 浩太郎, 広瀬 裕一, 堀田 耕司 (慶應義塾大学大学院理工学研究科, 琉球大学理学部)	3D1515 その他 生理 クシクラゲにおける重力感知繊維の光依存的調節 ○城倉 圭, Juliana Lenz, 小野 陽介, Sanja Jasek, Gaspar Jekely (基生研)		3F1515 その他 分類・系統 平板動物 16S 新規系統とそのミトコンドリアゲノムに関する報告 ○宮澤 秀幸, 中野 裕昭, 小田 賢幸 (山梨大学・医・解剖構造)
15:30	3A1530 昆虫類 行動 共生状態に依存したマルカメムシ初齢幼虫の行動変容と適応的意義 ○高田 悠太, 森山 実, 深津 武馬 (産総研・MolBis)	3B1530 原生動物 新興・複合領域 襟 鞭 毛 虫 Choanoeca flexa における多細胞形態制御メカニズム ○保呂 有珠暉, Magdalena, G Taran, Mariette Matondo, Thibaut Brunet (パスツール研究所・パリシテ大学)				3F1530 その他 分類・系統 無腸動物とその共生藻の分子系統学的多様性 ○高 立容, 坂上 登亮, ウェイクマン ケビン, 駱 乙君 (Biodiversity Research Center, Academia Sinica, Taipei, Taiwan)
15:45	3A1545 昆虫類 行動 ショウジョウバエ幼虫において嫌悪学習後の経験が記憶能力に与える影響 ○アラダワニ ファンナ, Michael Schleyer (北海道大学)	3B1545 その他 新興・複合領域 EC-isHCR: 迅速な in situ hybridization chain reaction 法 ○小園 康広, 三上 恭平, 頼本 隼汰, 林 泰成, 岡村 響, Qingyin Qian, 星野 涼, 上山 拓己, 佐奈喜 祐哉, 浅岡 美穂, 大澤 園子, 東 将太, 岩崎 由香, 林 誠, 林 悠, 重信 秀治, 丹羽 隆介, 小林 悟 (筑波大学・生存ダイナミクス研究センター)				3F1545 その他 分類・系統 フィリピン海深海域における浮遊性クラゲ類・クダクラゲ類・クシクラゲ類の種目録の更新 ○バーグマン リア, リンズイー ドゥーグル, 藤原 義弘, 土田 真二 (海洋研究開発機構)
16:00						

14:30~16:00



G 会場 (E310)	H 会場 (E311)	I 会場 (E319)	J 会場 (E315)	K 会場 (S1)	L 会場 (S2)
3G1430 軟体動物 発生 マガキガイの異型精子特異的タンパク質 PARAS1 による正型精子の凝集 ○横屋 稜, 柴 小菊, 稲葉 一男 (筑波大学・下田臨海)	3H1430 軟体動物 遺伝 モノアラガイにおけるオレキシン分子および受容体の学習への役割 ○加藤 望佑, 並木 健悟, 畑下 直樹, 谷 元, 伊藤 悦朗 (早稲田大学・院理・生命理工)	3I1430 ほ乳類 細胞 神経膠芽腫由来の U87MG 細胞における lasp-2 の細胞密度依存的な運動性制御機構 ○廣田 時雅, 中島 春香, 市毛 鈴乃, 米本 秋, 佃 聡子, 田村 安樹子, 中山 綾子, 高野 和儀, 吉井 幸恵, 中川 裕之, 寺崎 朝子 (千葉大学)	3J1430 ほ乳類 生化学 ASD 患者で見られた CRMP4 の点変異が CRMP4 の凝集性やチュープリン重合に与える影響の解析 ○田中 昌佳, 中野 結, 中條 さくら, 亀井 七星, 堺澤 聡子, 加藤 悦子, 金子・大谷 律子 (東洋大学・院・生命科学)	3K1430 鳥類 発生 脳の進化と環境適応を支えるアストロサイトの比較解析 ○隈元 拓馬 (都医学研・脳神経回路形成)	3L1430 軟体動物 発生 腹足類における貝殻領域細胞集団の形成機構の解明 ○館林 融, 守野 孔明, 和田 洋 (筑波大学・院理工情報生命・生物学)
3G1445 軟体動物 発生 汎有肺類における潮間帯適応: チコイソアワモシの肺および粘液腺の発達過程 ○繁田 航洋, 大友 洋平, 三浦 徹 (東京大学・院理・臨海)	3H1445 軟体動物 遺伝 淡水産巻貝 Biomphalaria glabrata におけるオプシン遺伝子の同定と発現解析 ○大沼 耕平 (島根大・生物資源・生命科学, 島根大・院自然科学)	3I1445 ほ乳類 細胞 酸性環境下における RAW264.7 の貪食能の変化 ○荒瀬 礼奈, 戸村 秀明 (明治大学農学研究科)	3J1445 ほ乳類 生化学 CRMP4-RhoA-β-actin 相互作用解析と自閉スペクトラム症関連変異の影響 ○亀井 七星, 中野 結, 田中 昌佳, 中條 さくら, 加藤 悦子, 金子・大谷 律子 (東洋大学・院・生命科学)	3K1445 鳥類 発生 MafB が制御する心臓神経堤細胞の形成メカニズム ○松花(谷) 沙織, 卯図 優実, 川田 結雅, 井上 邦夫 (神戸大学・院理・生物)	3L1445 軟体動物 発生 軟体動物の動物-植物極軸に沿った割球運動特異化における Wnt/β-カテニン経路の役割 ○津久井 莉子, 和田 洋, 守野 孔明 (筑波大学・理工情報生命科学・院地球科学研究群)
3G1500 扁形動物 発生 プラナリアの有性化に必須な新たなギャップ結合タンパク質イネキシンについて ○高田 壮一郎, 藤田 昌希, 田畑 由衣, 横山 萌, 熊谷 信是, 小林 一也 (弘前大学大学院農学生命科学研究科)	3H1500 扁形動物 遺伝 ナノボアシーケンサーを用いたプラナリア 1 個体長鎖ゲノム解析に向けた高純度 DNA 抽出法の改良 ○宇部 颯悟, 鹿島 誠, 佐藤 大悟 (東邦大学大学院・理学研究科・生物分子科学専攻)	3I1500 ほ乳類 細胞 RAW264.7 細胞における細胞外 pH 低下による NO 産生の調節機構 ○山本 景士, 戸村 秀明 (明治大学農学研究科)	3J1500 ほ乳類 生化学 自閉症患者で見つかった CRMP4 点変異が CRMP4 のリン酸化、細胞骨格タンパク質との結合や重合に及ぼす影響 ○中野 結, 亀井 七星, 田中 昌佳, 堺澤 聡子, 土屋 貴大, 三浦 ゆり, 金子・大谷 律子 (東洋大学・院・生命科学)	3K1500 ほ乳類 発生 キリンの頸椎を伸長させる遺伝子の探索と機能解析 ○高田 侃汰 (大阪公立大学大学院 理学研究科 生物学専攻 発生生物学研究室)	3L1500 軟体動物 発生 比較トランスクリプトームから探る頭足類のボディプラン進化における発生過程の変化 ○岩田 悠佑, 関澤 彩真, 守野 孔明, 和田 洋 (筑波大学・院・生物学)
3G1515 刺胞動物 発生 Nematostella vectensis における神経ペプチドを介した再生制御の解明 ○富士田 杜佑, Lysander Blankenborg, Justine Thomas, Levin Reidel, Aissam Ikmi (EMBL Heidelberg, Developmental biology Unit)	3H1515 刺胞動物 遺伝 エダアシクラゲ Cladonema 属における種認識とアロ認証 ○立花 和則, Zuyu Han, 小早川 健太, Crystal Tang (東京科学大学・生命理工)	3I1515 ほ乳類 細胞 マウス由来の培養筋細胞の成熟および細胞融合の観察 ○長田 洋輔, 飯塚 大翔, 上野 琴未 (岡山理科大学・生命科学・生物科学, 岡山理科大学・院理工・自然科学)	3J1515 ほ乳類 生化学 Thy1-YFP マウスを用いたドレブリン欠失が樹状突起スパイン形態に及ぼす影響の評価 ○兼田 雄蔵, 金子(大谷) 律子, 児島 伸彦 (東洋大学・院・生命科学)	3K1515 ほ乳類 発生 マウス精子における膜貫通型タンパク質 MS4A14 の局在解析 ○郎 健シェン, 満生 慎二, 金子 たかね (九州産業大学・工学・産業技術デザイン)	3L1515 扁形動物 発生 プラナリア個体を用いた分化抑制化合物スクリーニングでは何を評価すべきか ○藤田 あかり, 佐藤 綾人, 鹿島 誠 (東邦大学・院理・生物分子科学)
3G1530 刺胞動物 発生 ミズクラゲの生殖細胞は間葉性ではなく上皮性である ○高村 克美, 池原 正恒, 植木 龍也 (福山大学・生命工・海洋生物学)	3H1530 その他 遺伝 ハリガネムシ類における宿主からの大規模な遺伝子水平伝播は普遍的か ○三品 達平, 谷 聖太郎, 飯田 聡子, 邱 名鍾, 猪塚 彬士, 門田 満隆, 工業 樹洋, 佐藤 拓哉 (九州大学・院農)	3I1530 ほ乳類 細胞 低酸素環境下における RAW264.7 細胞の pH 感知性 GPCR の発現とシグナル応答の解析 ○太刀野 愛実, 戸村 秀明 (明治大学・農学研究科・生命科学専攻)	3J1530 ほ乳類 生化学 マウス精巣における CRMP4 欠損の影響 ○大原 颯真, 吉田 薫, 吉田 学, 金子(大谷) 律子 (東洋大学・院・生命科学)	3K1530 ほ乳類 発生 有羊膜類大脳における Tbr2 発現中間増殖細胞の進化起源の解明 ○辻野 大翔, Bradley Colquitt, Maria Fernanda Viveros, 東島 沙弥佳, 野村 真 (京都工芸繊維大学大学院・応用生物学専攻)	3L1530 刺胞動物 発生 サンゴの卵と精子から探るピテロジェニンの新たな役割 ○阿部 友子, 吉川 真央, 伊野波 佳介, Tarigan Ariyo, Ee Suan Tan, 守田 昌哉 (琉球大学・院理・海洋環境)
3G1545 その他 発生 左右に分裂する珍無腸動物 Convolutriloba longifissura の体軸再生過程 ○三井 健世, 大友 洋平, 三浦 徹 (東大・院理・臨海)	3H1545 その他 遺伝 無腸動物の単一細胞アトラスから探る動物-藻類の光共生の進化-内胚系細胞プログラムの流用- ○坂上 登亮, 高 立容, 蘇 家陽, 温 士瀚, 吳 明諒, 邱 顕陵, 有本 飛鳥, 田川 訓史, 呂 在明, 駱 乙君 (Biodiversity Research Center, Academia Sinica)	3I1545 ほ乳類 細胞 上皮折り目の不可逆性を決定する適応的な材料特性とその制御機構 ○寺西 亜生, 奥田 寛 (金沢大学・新学術創成研究科・ナノ生命科学専攻)		3K1545 ほ乳類 発生 子宮腺形成過程における上皮細胞陥入に対する上皮にかかる圧力と Sox9 発現の影響の解明 ○中島 忠章, 新貝 夏音, 佐藤 友美 (横浜市立大学 大学院・生命ナノシステム科学研究科・生命環境システム科学専攻)	3L1545 海綿動物 発生 カイメン動物における遺伝子機能解析の試み ○太田 長社, 三宮 隼人, 石橋 亮平, 船山 典子 (京都大学・院理・生物科学専攻)

特別企画

特別企画

1) 一般公開シンポジウム「ドウなる！ドウする！ほっかいドウ！～20年後のドウぶつたち～」

日時：9月5日（土）14：30～17：00（大会3日目）

会場：北海道大学 学術交流会館 小講堂

講演1 大館智志（北海道大学低温科学研究所）

「雪と寒さのなかで生きる北海道の哺乳類たち：とくにトガリネズミ類の生態と進化」

講演2 岸田治（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）

「世界に誇る北海道の両生類に何が起こっているのか～拡大する国内外来種アズマヒキガエルの影響～」

講演3 笠井亮秀（北海道大学水産科学研究院）

「20年後の魚はドウなる？」

講演4 小林万里（東京農業大学生物産業学部）

「暑いとドウなる？ドウする？ほっかいドウのアザラシたち」

講演5 越川滋行（北海道大学地球環境科学研究院）

「地下に生息する昆虫の話」

各講演の要旨は大会ホームページ上に掲載しています。

北海道は、日本最北の地であると同時に、海に囲まれ、二千メートル級の山々を有する、日本有数の自然豊かな地域です。しかし近年、地球温暖化による気温上昇や海水の減少、土地開発による生息環境の変化、人口減少や過疎化に伴う森林管理の変化、さらには外来生物の分布拡大などにより、北海道の動物たちを取り巻く環境は大きく変わりつつあります。本シンポジウムでは、北海道のさまざまな動物を研究している5名の研究者が、それぞれの研究成果をわかりやすく紹介するとともに、「20年後、北海道の動物たちはどのように変化しているのか」を展望します。20年後の未来を正確に予測することは誰にもできません。しかし、長年にわたり動物と向き合ってきた研究者だからこそ見えてくる“北海道の動物たちの未来像”を、ぜひ皆さまと一緒に考えたいと思います。

2) 動物学ひろば

日時：9月5日（土）10：00～16：00（大会3日目）

会場：北海道大学 学術交流会館 ホール

日本動物学会の年次大会では、子どもから大人まで幅広い世代に動物学の面白さや楽しさと、その重要性を直接伝える展示イベント「動物学ひろば」を開催しています。様々な動物の標本・模型や動物を紹介したポスターはもちろん、生きた実物を見ることもできます。「動物学ひろば」は研究者自身が動物達の魅力を「未来の動物学者」に語る機会でもあります。気軽になんでも質問してください。研究者の方にも楽しんでいただける内容を多数ご用意しております。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

3) 高校生によるポスター発表

日時：9月5日（土）10：00～12：00 ポスター発表

12：00～13：00 ポスター撤収

13：00～14：00 表彰式

会場：ポスター発表 北海道大学 学術交流会館 ホール

表彰式 北海道大学 学術交流会館 小講堂

公益社団法人日本動物学会では、全国から集まった動物に興味をもつ高校生の皆さんに日頃の探究活動を通して得られた研究成果を発表して頂き、動物学研究のプロである学会員と自由に語り合う場を設けています。日ごろ接する機会がない研究者と対面で行う意見交換は、高校生の皆さんにとって自身の探究活動に新たな発展性を見出す貴重な機会です。研究者にとっても、動物学の入り口に立つ高校生の、研究に対する熱意を感じ取れる新鮮な場となるのではないのでしょうか。今後の日本の動物学を担う若い学会員にもぜひ積極的なご参加をいただきますようお願いいたします。多くの方のご来場をお待ちしています。

第 97 回大会協賛団体ご芳名

公益社団法人日本動物学会第 97 回札幌大会の開催にあたり、下記の企業団体より多大なご援助を賜りました。ここにご芳名を記し、厚くお礼を申し上げます。

(順不同・2026 年 8 月 1 日現在)

【展 示】

株式会社中山書店
株式会社プロテインテック・ジャパン
株式会社イワキ
ノボジーン株式会社
バイオツールズ株式会社
ネッパジーン株式会社
株式会社ダナフォーム
株式会社生物技研
株式会社成茂科学器械研究所
NDE 株式会社
ゼオンバイオソリューションズ株式会社
特定非営利活動法人 ScholAgora
国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター細胞材料開発室

【広告掲載】

株式会社成茂科学器械研究所
株式会社中山書店
株式会社イワキ
レタープレス株式会社
株式会社池田理化

【賛助金】

有限会社アチックラボ

【共催セミナー】

中山人間科学振興財団/株式会社中山書店

【その他ご支援】

株式会社ダイナックス
株式会社成茂科学器械研究所 (本部企画シンポジウム支援)

本大会の開催にあたり、下記の公的機関よりご支援を賜りました。厚くお礼を申し上げます。

札幌市

日本動物学会第97回大会実行委員会

実行委員会メンバー (50音順)

小川 宏人 (北海道大学)
荻原 克益 (北海道大学)
角井 敬知 (北海道大学)
柁原 宏 (北海道大学)
勝 義直 (北海道大学)
加藤 徹 (北海道大学)
川本 思心 (北海道大学)
木村 敦 (北海道大学)
黒岩 麻里 (北海道大学)
越川 滋行 (北海道大学)
小谷 友也 (北海道大学)
近藤 朋子 (北海道医療大学)
柴田ゆき野 (北海道大学)
相馬 雅代 (北海道大学)
竹内 勇一 (北海道大学)
田中 暢明 (北海道大学)
千頭 康彦 (北海道大学)
常松 友美 (北海道大学)
田路 矩之 (北海道大学)
富菜 雄介 (北海道大学)
春見 達郎 (旭川医科大学)
福富又三郎 (北海道大学)
藤森 千加 (北海道大学)
増田 隆一 (北海道大学)
水島 秀成 (北海道大学)
矢澤 隆志 (旭川医科大学)
和多 和宏 (北海道大学)

表紙デザイン

竹内 颯 (北海道大学大学院環境科学院)

公益社団法人日本動物学会
第 97 回大会プログラム集

発 行 日：令和 8 年 8 月 5 日

発行責任者：勝 義直

公益社団法人日本動物学会 第 97 回大会実行委員長

出 版：株式会社 杏林舎 <https://www.kyorin.co.jp>

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL：03-3910-4311 FAX：03-3949-0230